

ブラジルより輸入せられ其の使用する砂糖はジャバより煙草はマリイランド又はビルヂニアより來るものなるが如きは人類間に行はるる交易關係の複雑にして相互共助的な實例なり。交易は又交易を發達せしむ人類間の自然的能力の差異は忽ちにして新奇特殊の職業を創設し環境教育遺傳に影響を及し自然的能力の種を益發達せしむるものとす。

交易の種類——交易の方法は極めて多し生産物と生産物とを交換することを得べし例へば鹽一斤或は砂糖二斤と小麥或は裸麥の一斤二斤四斤と交換するが如し生産物と勞力との交換例へば獵獸肉四分の一或は魚一籠と狩獵用弓矢の修繕魚網の修繕漁舟の修繕とを交換するが如し生産物と勤勞との交換とは種族の首長又は其中の富者が貧者に對し一定の衣食を給することを保障し貧者は其命を受け之に従ふ場合に於て見る文化の進歩は多種新奇の交換を生ぜしむ。

交易は所有權の存在を假定す交換は平等關係を有せざるべからざるなり詐欺壓制或は盲從輕卒を伴はざる正確なる交易に於ては交易者双方は利益を得交易したる以前に比し満足なる状態にあらざるべからざるものとす小麥を鹽又は砂糖と交換したる者は小麥は自己の必要とする以上有し鹽或は砂糖には缺乏せしものなれば交易の事實を喜ぶべく他方に於て小麥を求むるため鹽或は砂糖を拋棄したる者は砂糖鹽よりも小麥に不足せしものなれば亦等しく交易による利益を得べし前例と同じく漁獵器具の修繕をなして獵獸肉を得たる者は獲物を得ることよりも器具の修繕に精通せるを以て其交易を喜ぶべく他の者は自己にとり必要缺くべからざる利器の修

理せられ獲物を得ること容易となりたれば満足するものとす。

自己が最も自然的才能を有する貨物の生産に従事し自己の必要とする貨物を交易の方法により得ることは各人をして其消費方法を益々増加せしむるものと云ふべし。

價値の觀念——交易の正當なることと其效用とは確認せられたるが各種の交換につきこれが指針となる法則は如何なるものなるかこの法則は價値の觀念にして人類の精神に存在し其の始めは混沌たるものなりしが漸次正確にして明晰なる觀念となれり。

價値とは交換せらるる貨物が他の貨物に對して有する特質なり例へば小麥一ヘクトリットルは通常大の羔一頭又は羊毛十キログラム或は砂糖二十キログラムに相當すと云ふが如し價値は常に絶對的同一なるものにあらず外界の情況人心の作用に従ひて變動するものとす時と所により小麥一ヘクトリットルは肥滿せる羔の半分羊毛五キログラム砂糖十キログラム乃至十二キログラムに相當せざることあり同様に他の時又は場所にては小麥一ヘクトリットルは前記各貨物の三四倍以上に相當することあるべし價値は交換力なり。

以上述べたる如く變動常ならず然も社會に於て重要な地位を占むる價値を決定する原因如何。

物が價値を有するためには必須の三條件を要す第一物は人類の欲望に適應するものならざるべからず次に其の獲得に努力を要するものならざるべからず最後に物の所有は甲より乙に移轉

することを得るものならざるべからず。

物が價值を有するがためには總ての人が其の所有を欲するものたることを必要とするにはあらずある種の人が其物に對し趣味を有すれば足る有用なるがため欲するものあり例へばパン牛肉衣服の如し單に趣味を有し出來心と虛榮心を喜ばしむるため欲せらるるものあり例へばグイアモンド、レース、テーブル、珍品の如し又特殊の感情を満足せしむるがため欲せらるる物あり例へば紀念品の如し。

されば人類の欲望に合致するものなることは價值の第一要件をなすものなり欲せらるる物が甲より乙に移轉し得べきものなることは價值の第二の基本的條件をなすものとす健康は大なる富にして富の第一位に置かるべきものと云ふべく之を有する個人にとりては多くの效用と享樂源泉をなすものなれ共健康を享樂せる人が之を他人に移轉するに能はざるものなれば交換の目的物となす可らざるを以て健康は嚴格なる經濟的意味に於ては何等價值を有せざるものとす。獲得に困難なることは價值の第三要件なり如何に人類の欲する所大なるものなりと雖も各人の隨意に委せられ自然が豊富に供給するものは其價值を有せず例へば呼吸に適する空氣、日光の如し。

學者効用なる語に欲望の意味を與へ價值を效用、稀少性、事物に化體せられたる勞力の三者に基くものなりと説くものありこの説明は一部分の眞理を包含するものなれ共未だ以て完全な

るものなりと言ひ難し。

價值は欲望の強さ、事物の獲得又は生産の困難より成るものとす。

人類社會に於ける價值の順位——價值の順位とは人類の精神に存する選擇の順位なり大なる富者は十萬法を以て購ひ得る各種の物よりは十萬法の價格を有する、ルーバンの繪畫を選ぶべしこの好事者は他の富豪にして同じく繪畫に興味を有しこの繪畫につきこれと競争するため亦十萬法を支拂ふに同意するものあるを發見すべし。

一の文化社會に於ける價值の順位は最も通俗的の語たる效用の順位には毫も一致せざることあるなりされば婦女の裝飾品たるに止るグイアモンド美麗なるレースは防寒用の暖きマントよりは遙に價值あるものとせられ松露は滋養分に缺け之を用ひて健康に害あるものなれ共人類に對し最も滋養分に富めるものとせらるる馬鈴薯よりは其價遙に高しされば價值の順位は往々通常效用の反對順位を採ることあるものなりと言ひ得るなり。

學者は以上の如き順位を以て變態的にして馬鹿らしく罵すべき事柄なりと論ずれ共全く然らず以上の不秩序あるがため寧ろ調和を生ずるものなりと言はざるべからず。

生活の維持に最も重要な貨物が最も高價なるに於ては人類は其生活に對し多大の弊害に苦み大なる不平を唱ふるに至るべし之に反して生理學上より見て贅澤なるものが最も高價なるがため人類の多數は不安なきを得るものとす。

羊毛製の衣服を着用する一般住民の妻女はこれを衣服の點より觀るときは一メートル一千法の高價なる、アランソン産のレースを有する富豪の妻女に比し生理上決して劣等の状態にあるものなりと言ふべからず、一リットル三四十法の普通酒を飲用する給金衣食者は一瓩十法乃至十五法のシャトーラフィット産の赤葡萄酒を飲用する富者に比し生理上劣等の地位にあるものにあらず、清潔にして暖き草屋に住む農夫は巨大なる邸宅を構へ内に珍品を藏する百萬長者に比し生理上毫も其健康を害せらる所なきなり。

平均僅に一二法にして得らるべき傑作の通俗版を讀むとそれの百倍以上の價ある該書の第一版を讀むと其間人類に對し重大なる差異ありや。

贅澤なるものとせらるる貨物が最も高價なることは又文明進歩の一證左なり、こは人類欲望の一般的にして最も重要なものが僅少の費用を以て満足せらるること同一社會に於ける人間境遇の差異は實際外見よりも深からざること、實際的效用は享樂的價値より大ならざること、證明するものなり。

又かくあるべきは自然なり何となれば通常人類が其生存に必要缺くべからざる物、例へば一方に於ては共通にして對價を要せざる空氣、水の如きものが他方に於ては比較的獲得に容易なるパン普通の衣服の如きものが全世界に播布せられざるに於ては人類は繁殖すること能はざるなり。

價値の變動を決定する原因——物の價値は欲望の程度に對する各人心理の判斷によるとは言へ、價値は消失的にして變動的のものなれば人類に對し有用なる大部分の物は一定の時及び國に於ては極めて狹隘なる限度に於て確定せられんとする傾向を有するものとす。

物の實際的價値は二個の意思の競争によりて得らる即ち物を所有し之を讓渡することに同意する人の意思と其物を所有せざるがため之を得んとする人の意思とによるものとす、更に之を概括するときは價値を決定するものは供給及び需要なりとの命題に達することを得べし、供給とは物を所有すれども他人に之を手放さんと欲するものを表し、需要とは物を所有せずしてこれを獲得せんとするものを表す、供給が需要に超過するときは例へば小麥を手放さんと欲する者が小麥を求むる者より多きとき其物の價値即ち此場合に於ては小麥は下落せんとする傾向を有す、降騰の變動は需要供給を平均せしむる價値の程度に至りて止む。

汎く世に撒布せられ短日月にして容易に其生産を増加することを得る貨物例へば普通製造品の大部分殊に製造品にして農産物の生産と趣を異にするものにおいて、價値降騰の動搖は制限的條件を有するものとす、價値は前述の如く物を獲得せんとする欲望の強度と物を獲得する困難の程度との結合により一定せらる然るに物を得ることの困難は通常生産費即ち物を生産するに要する努力と犠牲及び物を求めんとする人の市場又は住所に運搬するに要する費用により確定せらるゝものなり、小麥衣服家具の生産者は自己が消費する部分に超過する貨物の一部分につき

てはこれに對し貨物の生産に要したる費用と其危険に對する輕き利子を出すものあるに於てはこれを手放すに至るべしされば極めて廣く規制的に生産し得らるゝ普通貨物を獲得する困難は世人の元價と稱する製造費によりて測定せられんとする傾向あるものとす元價は凡ての生産者に對し絶對的同一なるものにあらざる生産者中のあるものは他の生産者に比し技巧を有すること大に又は有利なる自然的條件を具備することあればなり然れ共多くの場合に於て價値を決定せんとするものは需要者又は需要市場に至るまでに必要な全生産量に要する普通元價なり。

普通の貨物が廣く恒久的に生産せられ得るに至れば價値の一要素たる貨物獲得の困難は元價により測定せられ又其の貨物獲得の欲望の限度も亦元價によりて量定せらる實に何人と雖も欲望の緊急なる場合を除きては再び生産せらるゝこと容易なる貨物に對し其が要したる實際生産費の二倍三倍の對價を支拂ふことを承諾せざるべく他の供給者の現るゝまで一時待つことを欲すべしかくして時を経るに従ひ普通の貨物にありては生産費が事物價値の變動を徐々に遠からしめんとするなり。

生産を容易に増加すること能はざる貨物例へば第一流の美術品又は一般的貨物なるも其大量の再生産は比較的短日月を以てしては困難なるか又は費用の増加をなすに非れば不可能なるものにありては大に趣を異にす。

競争——經濟界の重要な一大勢力は今述べたる二三の例外を除けば凡ての貨物の價値を生

産費又は製造品に表さるゝものに導かんとする傾向を有す生産費又は製造費とは其中に原料及び手間を包含するに止らず前章に述べたる如く使用せられたる資本償却の利子企業者の利益をも含むものなり經濟作用最高の調節者たる一大勢力は競争なり。

競争とは其名の示すが如く産物の報償的條件を前提とし貨物を手放さんとする各生産者間に行はるゝ鬭争なり各生産者が其貨物を倉庫内に保管することは時及び利子を損失し又は貨物を毀損するものなれば之を賣捌かんとし各生産者は生産費又は製造費の全體を表す價値に至るまで其要求を低下せんとするものとす生産が需要より豊富なるときは價値は往々生産費以下に下ることすらあるなり然れ共一部の生産者はこれがため意氣阻喪し生産を中止するに至り供給は減退すれ共需要は依然同一なるを以て價値上騰すれば以上の現象は永續せられざるものとす他方に於て長く價値は生産費に對し遙に大なること能はざるものとすかくの如き場合に於ては異常の利益に刺戟せられ生産を増加し底止する所なきを以て新なる生産者現れ來り同一の生産に従事すべければなり。

競争に對する例外、專賣——以上述べたる所は競争の利益ある結果なり即ち頻繁に行はるる價値の動搖に因り生産の得る報償を其の生産に要したる努力の總額に比例せしめんとするものは競争なり競争の存在せざる貨物あり自然又は法律による專賣これなり專賣なる語は賣手の唯一なることを意味す往々にして法律が專賣を創設することあり例へば佛國に於ける煙草マツチ

の專賣の如し時に自然がこれを創設することあり例へば名酒としてシャトーラフィット産の赤葡萄を生ずるが如し專賣は時に永久的なることあり例へば最後に引用せる實例につきて見るが如く往々偶然的の場合なることあり例へば遠足者が思ひ掛けなくある土地に於て唯一臺の俵又は一隻の小舟のみを見出したるときに如し。

專賣の場合に於ては專賣者は少く共ある程度まで市場の支配者にして其貨物の占有者はそれが生産費又は製造費の如何に關せず需要者欲求の最高程度に一致するまで其價格を引き上げることを得べし然れ共立法者が競争を禁止又は制限して專賣を營むにつき過誤ある場合は兎も角然らざるに於ては專賣は全く例外的に屬するものなり。

立法者が專賣を創設する場合には專賣者の勢力を制限するため普通物價表を確定するものとす。

競争の結果——されば競争は價值全般に影響を及す大法則なり科學的發明又は技術の進歩により生産に影響を受ける貨物に對しては競争は漸次其の價值を低下せしめんとする傾向ありこれ衣服多くの家具一般的方法により製造せらるる貨物等につき見る所なり人口の増加餘裕の増大により貨物の需要が其供給より速かに増進せざるものは殆んどなし此場合ある種の農産物につき舊國は其市場に新しき小麥牛肉バタを提供しこれと競争を試みんとする新興國を見ることあり。

價值の低下は單に商工業の不景氣又は需要に對する強制的制限に基かざる生産費低減の場合にありては決して人類にとり不幸なるものと言ふべからず貨物獲得の困難は價值の一要素をなすものなれば人類全體に對し多くの困難減少せられ人類は其意の儘に満足を享樂する方法を有するに至ることはこれ却て幸福なりと言はざるべからざるなり。

然れ共價值の漸落が幸福なるがためには消費者より欲望及び貨物獲得の方法を奪取し生産者は落膽の餘り貨物を損失しこれを手放すが如き恐慌の状態より生じたるものにあらずして普通生産費の減少より來れるものならざるべからず。

價格——吾人は茲に價值及び交換につき論じたるも價格につきては述ぶる所なかりしなり簡單にして原始的の形式を有する交換を物々交換と名く物々交換は餘分に有する貨物と其必要とする貨物とを直接交換するを云ふ例へば小麥を鹽砂糖靴衣服と交換するが如し。

然れ共この單純にして簡單なる形を有する交換は原始的社會に行はるるものにして發達せる社會に於ては例外的にこれを見得るに過ぎざるものとす發達せる社會に於ては交換の媒介物が介入し價值は貨幣により評定せらるるものなるを以て特殊の名稱を有す價格これなり。

第二章 貨 幣

物々交換の不便——貨幣其の二大作用——良貨たる必須條件——金屬貨幣は特に文化國に適應す——貨幣の種類——名目、合金、銅貨——單本位制度と複本位制度——貴金屬價値の變動と貨幣

物々交換の不便——物々交換即ち自己が餘分に有する貨物と其欲する貨物とを單純に交換することは實際上の困難極めて大なるを以てこれが用法は局限せらるるものとす自己が求めんとする貨物を明に所有し而も自己の提供せんとする貨物を受くべき人を見出さざるべからず更に二種貨物の量が其價値に於て一致せざるべからざるなりこれ往々實行する能はざる場合を生ずることありされば鹽を求むる人あるも其者は羊肉又は牛肉にあらざれば鹽との交換に提供すべきものを有せざることあり鹽を讓渡せんとする人を見出すことを得るも其人は羊肉又は牛肉を必要とせざることあり肉と鹽とを交換せんとする人を見出したるも一頭の羊肉はこれを有するも恰も鹽の價に相當する羊肉を有せざることあり交換の稀に行はるる原始的社會に於ては羊肉一頭の四分の一を讓渡するときは其四分の三を以てしては羊肉所有者の欲する他の貨物と物々交換をなすに極めて困難を感ずることあり物々交換の他の弊害は一の貨物と他の貨物とを交換するは偶然的にして其の性質上各貨物の價値を自由に決定すること困難なるにあり凡ての貨物例へば鹽小麦織物毛皮衣服羊肉勤勞等を互に交換することは確定せられたる物に比較するにあらざるを以て各貨物の近似價値を自由に定めてこれを記憶する方法に缺くる所あり確定的比較

標準なきを以て人類は其相互關係を忘却するに至る。

貨幣其の二大作用——以上の弊害は人類をして本能的に物々交換を一見複雑なるが如きも取引を極めて容易にし遙に鞏固なる智能的基礎を有する作用に變形せしめたり物々交換は二の作用に分解せらるる賣買これなり賣買は人類の自由なる同意の下に價値の比較方法支拂の手段に用ゐらるる媒介的貨物の恩惠によりて行はるるものとす。

交換の媒介たる貨物を貨幣と名づく貨幣は人類に對し等しく有用なる二の作用を充たす二の作用は共に交換なる經濟的大現象に對し安全と廣濶とを與ふるに寄與するものなり。

貨幣は第一比較評價及び計算の方法となる即ち共通分母となるなり之を世人が價値の量價計又は價値の測定物なりと言ひしは寔に理ありと謂ふべし羊一頭は鹽百キログラム、砂糖二十キログラム、織物二尺、牛一頭の十分の一牡牛一頭の八分の一鐵八十キログラム、五日半の勞力等なりと唱ふるときは總ての他の貨物の價値の觀念を必要とし混沌たる印象を生ずるものなれども貨幣によるるときは吾人は羊一頭は金何程に相當し鐵につきては金幾何なりと言へば足るなり觀念を明確にする利益たるや測り知るべからず各貨物を總ての他の貨物に比較することは極めて錯雜なれども貨物を單一の物に比較することは極めて簡單なり。

貨幣の第一の用途はメートルを以て長さを計りグラムを以て重さを量ると等しく價値の測定にありて人類に大なる進歩を與へたるものなりメートル、キログラムなくば吾人は共通的程度

を有せざるを以て異種の物の容積又は異種の物體の重量を粗雑に比較せざるべからざることとなる若し計算貨幣即ち價値の比較條件をなす量價計を有せずとせば吾人は解き難き障得に遭遇するならん。

かくの如きは貨幣第一の職能なりある種の人民はこの第一職能を維持するに止まるものなりと信する者あるは理由なきにあらずこの種の人民の間には謂はば計算貨幣の一種を有するに過ぎずされば旅行家の言によれば中央アフリカに於けるある種の土民は貝殻の貨幣を有す然れ共この貨幣は實際の取引に用ゐられずして價値の計算及び測定の方法として使用せらるるに止る尙ハンブルグ銀行に於ては數世紀前北歐の名目貨幣マルクバンコと稱し鑄造貨幣として實際存在するものに毫も一致せざる純銀の棒を貯藏したりしことあり。

然れ共名目貨幣は不完全貨幣なり眞の貨幣即ち完全なる現實の貨幣は他の一の要素を假定す換言すれば交換の媒介物にしてそれ自身價値を有し交換せらるるものに對し財貨として同額の効用を有するものならざるべからざるなりされば貨幣を以て尺度たると同時に等値のものなりとなすは至當なりと言ふべし。

貨幣はそれ自體價値を有するものなりと認めざるべからず即ち貨幣は人類の趣味に適合し獲得すること困難にしてこれが生産には費用を要するものならざるべからずこれ世人が貨幣を以て財貨なりとなす所以なり貨幣にしてそれ自身價値を有せず獲得に困難ならず生産に費用を要

せざるものなりとせば公權を以て自由に其量を増加することを得べく茲に至れば取引は最早や鞏固なる基礎を有せざることとなる。

良貨たる必須條件——原始的文明に於ても貨幣は一般に有用なるものとせられ普遍的に使用せられたり往々貨幣は牛或は羊なりしことありさればベキュニア *Beckunia* なる名稱は家畜より來りラテン語に於て貨幣を意味するものとす希臘及び羅馬の初期に於て牛羊を貨幣として使用せしがこはある國に於て見る市町村共有土地例へばスウイスのアルプ地方に存するが如き共同牧場ありて此に總ての人集り來りある貨物をば共同牧人の指揮により牧場に送致し牧養して得たる羊牛と交換したりしものなりと説明せらる其説明は暫く措きこの種の貨幣は貨幣の主要なる特質として是非具備せざるべからざる可分性に於て缺くる所ありしなり近世ヨーロッパ初期の植民地に於ては多くの人類により尊重せらるると同時に可分性に富み保存にも適したる貨物の一種たる煙草が貨幣として屢用ゐられたりアフリカの一種族の間に於ては同型の模様を施したる綿布が貨幣として使用せられたりこれギイネー (Ginee) なる名によりて知らるる所なり。

本能的なれ共確實なる理性によりて助けられたる經驗は大なる速度を以て交易の發達したる民族をして金屬貨幣を使用せしめたり始めは鐵を使用せしが順次銅銀金を用ゐるに至れり。金屬が貨幣として用ゐらるるに適する條件左の如し。

- (一) 金屬の效用は人類の欲望又は趣味を満足せしむ鐵銅は工業上の用途無限なり金銀は工業上の用途に適する外人類の一般的強烈なる趣味に適し裝飾品として用ゐらる。
- (二) 同一の金屬にありては同種同質なることこれなり一頭の羊は他の羊に比し往々質量を異にし一尺の綿布は他の綿布と其質を異にすることありこれに反して二の異なる鑛山より採掘せられたる二本の鐵棒も其間殆んど差異を認むること能はずこの理は二本の銅棒につきても亦二の地金につきても同様なり金には赤味を帶ぶるものあり又黄色を呈するものあり共二者共に世人に尊重せらるる個々の貨幣が其質を同ふすることは同一の状態にありては取引が至る所安全なることを得る必要條件なり。
- (三) 金屬の不變性は金銀の如き貴金屬に於て特に之を見ることを得半文明國に於ては鐵は貨幣として使用せられしことありしも鑛を生じ易き弊ありしなり貨幣が減少し變更することなくして多年貯藏せられこれを保存するも毫も損失を生ずることなからしむるためには貨幣の不變は重要なことなり。
- (四) 重量僅少なるも其價值大にして運搬に容易なる點これなり鐵銅は共にこの性質を缺くされば鐵銅は富める社會に於ては貨幣として顧られずして補助貨幣としての役目に退けらる然れ共銀及び金にありては微少なる重量又は容積に於て大なる價值を表す性質を有す換言すれば各一グラムの金銀は其重さに相當する勞力又は貨物を無限に表すものなればこれを獲得するには著しき生産費を要す多くの努力を用ゐずして多額の貨幣を運搬し得ることは重要な點なり。
- (五) 價值即ち生産費が相對的に一樣なること、銀と金は共に鑛山より産出せらるるものなれ共前者は豊富にして後者は然らず、イスパニアが十二世紀に於てメキシコペルーに銀鑛を獲得し近代一八五一年に於てカリフォルニア及びオーストラリアが金鑛を得たるが如き特殊の時代につきては吾人は特に豊富なる貴金屬鑛を發見したるものなりと言ふことを得べし其結果は金銀の價值が絶對的に不變なるものなりと考ふること能はざるべきもこれを多くの他の財貨の價值に比較するときは安定せるものと言ひ得るなり第一金銀の價值は數週又は數箇月にして表るるが如き急激瞬間的の變動を受くることなし急激なる變動は消費貨物につき多く見ることを得收穫による食料品の如きは最終の收穫により其の影響を被ること極めて大なり小麥羊毛葡萄酒棉花コーヒの如きこれなり年々採掘せらるる金銀の量はこれ等貯藏せられたる金屬の巨額なるに比すれば寔に僅少なるものなるを以て微弱なる利益又は輕少の損失を被ることあるに過ぎず其結果は現存する金銀に及ぶ金銀の年産額は他の一般貨物の年産額が其の貨物に及ぶ影響の如く大ならざるなりされば貴金屬は價值の絶對的確定性を有せざるも相對的確定性を有するものなるを以て微弱なる變動と長年月により除々に其價值を變動することあるに過ぎずこれ他の總ての貨物に對し其價值を測定

する用を爲し又約十年の長きに亘る契約の基礎をなす貨財として大なる長所を有する所以なり。

(六) 貴金屬たる金銀の尙一の效用とも言ふべきは其全體を部分に分つても全體の價值を損することなくして分割し得る點にあり即ち金銀各一グラムは同一重量の個々の部分に分つことを得然も此等部分を全部合するときは金銀各一グラムの塊となり正確に同一の價值を有するものとす分割するときは再びこれを合するも全部に對する場合に比し大に其價值を減するにあらざればこれを分割することを得ざる物少からず例へば十サンチグラムのダイヤモンドは一サンチグラムのダイヤモンド十個に比すれば其價值遙に大なり凡ての寶石水晶硝子等に於ても同様なりとす。

(七) 偽造の困難なること、色彩重量音響硬度により貴金屬は視覺聽覺觸覺により容易にこれを認識することを得れ共ダイヤモンド眞珠にありては同一に論ずる能はず其偽造極めて容易なり。

各金屬は文化の狀態に適應す——種々の貴金屬が貨幣として初めて民族に採用せられたるは以上の如き特質を有したるに由る各金屬は特に文化の狀態に適應するものとす僅に野蠻の域を脱したるに過ぎざる種族の間に於ては鐵と銅が唯一の貨幣として長く使用せられたるが更に富める民族の間にありては鐵と銅はそれ自身貧弱なる價值を有するに過ぎざりしかば銀が使用せ

らるゝに至れり最も富める民族英米佛の如き國に於ては生産の困難なるが爲め全く稀少にして其重量に比し多くの價值を有する金のみが主たる貨幣として用ゐらるゝに至りしなり。

鑄造貨幣——貴金屬は地金又は棒の形を以て屢交換の用に供せらるゝことあり交換の都度秤量し又は検査するに秤器と試金石を要したるを以て不便なる方法なりしなり支那に於ては今日尙此風習を存すこの方法は觀劇場の入場券賣場、驛の出札口等に於て數百又は數千の券を短時間内に買ふ能はざると同じく其計算極めて煩瑣なり、カリフォルニア、オーストラリアの如き鑛山地方に於ては地金を用ゐずして金の紛末が貨幣の代用をなせり。

重量と性質換言すれば純金屬の包含量が豫め公權により押印せらるゝ鑄造貨幣の發明は著しき進歩なり此に於て吾人は形式に於て完備せる完全貨幣を有することゝなる即ち完全貨幣は常に形式に於て一致し正確に同一の重量を有し其の表面と裏面及び綬章に一定の極印を押され法律に於けると等しく公權力により特殊の名目を承認せられたる貨幣より成る同一の國內に於ても數種の標準貨幣を存し少きも五六多きは八乃至十或はそれ以上の各二金屬即ち金銀貨幣を有することありこれ等の標準は各貨幣の標準直經に符合し大取引中取引小取引と各其交換の必要に應じて鑄造せられ其の稱へ方は國により異なる英の磅佛の法の如し而してある國の一の貨幣は他の貨幣の倍數又は約數を表す。

金屬の重量と性質が政府の彫刻せる押印により確證せられたる各種の正確なる貨幣の製造あ

りしたため取引は迅速を加へ鞏固なる基礎を有するに至れり。

各種の貨幣は政府又は公権がこれに附與したる名目の如何によらず其包含する金屬の分量により實際の價值を有するものとす中世悖德無智の王者は貨幣當初の名目を維持せしめ而も其包含せる金銀量の減少を企てんとせりリールブル又はエキューの名目を維持するも同一名稱の貨幣が以前包含したる金銀重量の四分の三又は二分の一を包含するに過ぎざる新貨幣を鑄造したりしなりこの不正なる方法は通常貨幣の變造と呼はるゝものなるか世人は新貨幣が舊貨幣に比し金銀を包含すること少きに氣付きては王の命令ありしに拘らず新貨幣は其れが含有する金銀の標準に至るまで其價值を低減せしなり。

數世紀の長き經驗は全く理論と同じく貨幣は結局財貨の一種にして其が含有する貴金屬の分量と價值を等しくするものなることを明にせり極印は金屬の分量を證明するものにすぎざれば證明したる者の不正なることを世人が発見したる場合に於ては世人はこれに對し信を置かざるに至るなり。

政府は貨幣鑄造權を造幣局と稱する製造所に留保す而してこは國家により直接經營せられ或は一定條件の下に請負業者に委任せらる。

名目、合金、銅貨——出來得るだけ金銀の磨擦より生ずる減少を防止するため他の金屬の少量通常銅を混合する必要あることは世人の熟知する所なり貨幣に混和せらるゝ下等金屬の割合

を合金と云ひ貨幣中に存在する純金銀の割合を名目と云ふ吾國の貨幣につき後に述べべき銅貨を除くときは佛國に於ける名目は九百ミリメートルなり換言すれば金貨銀貨中にはそれぞれ九百ミリメートル又は十分の九の金銀を含有せざるべからざるものとす而して合金は百ミリメートル又は十分の一なり然れ共貨幣鑄造所に於て常に必しも凡ての貨幣が數學的に正確なる割合を維持せざるべからずと云ふにあらす其の差異の許容せらるべき限度を公差と云ふこの限度は極めて低く鑄造法の發達するに従ひ益々少からんとす佛國に於ては二ミリメートルに過ぎざるなり換言すれば嚴格に新金貨は其の量目の名目九百ミリメートルに對し八百九十八ミリメートルを含有せざるべからず若し金が百九十八ミリメートル以下を含有する場合に於ては公に流通する能はずして改鑄せらるべきものなり。

國家が貨幣鑄造につき有する利益を貨幣鑄造手数料と云ふこの利益は極めて輕微のものたるべく造幣局に於て使用せらるる器械と流通資本の資本利子以上に昇騰せしむべからず然らざれば貨幣變造の結果となるなり通常單に金錢支拂の足し前として用ゐらるるに止り小額のものに對するにあらざれば辨濟力を有せざる性質の貨幣あり即ちこの種の貨幣にありては債務者が債權者に對し少量の支拂をなす場合にあらざればこれを強制すること能はざるものにして銅貨及び小銀貨これなり二十サンチム、五十サンチム、一法及び二法あり佛國に於ては此種の貨幣は其の法定價格に相當する金屬の分量を含有せざるものとす二十サンチム、五十サンチム、

一法及び二法の銀貨が完全貨幣の要件を充たすがためには各銀九百ミリメートルを包含せざるべからざるに拘らずこれ等は銀八三五サンチムを含むに過ぎずれば法律の定むる價值より少き價值を有する理なり銅貨に至りては其程度更に甚しく法定價格の殆んど三分一を有するに止る此の種の貨幣は俗に足し前 (billon) と呼ばれ名目に一致する金屬の重量を包含せざるものなれば完全なる硬貨なりと云ふべからざる故に銅貨にありては五十法以上を、二十サンチム、五十サンチム、一法及び二法の小銀貨所謂補助貨幣にありては五十法以上の受領を強制すること能はざるなり凡て是等の貨幣は正規の貨幣をなすものにあらず信用貨幣の一種即ち信用なり國家はこれを無制限に鑄造すべからざるなり。

貨幣の本位、單本位と復本位——一方に於ては極めて大なる取引の必要に應ずるため他方に於ては極めて小なる取引の必要を充たすがため多數の國家は貨幣制度に於て同時に數種の金屬を使用す金銀銅ニツケルこれなり金は極めて小なる取引には適應せず銀は大なる交換には適當せずされば文化國民は同時に三種の金屬貨幣を流通せしむるなり。

此に於て困難にして論争ある問題を生ず國家は數種の金屬貨幣を採用する制度に於て其の中より唯一の金屬貨幣を選択し貨幣制度の唯一の基礎となし凡ての支拂に亘り辨濟力を有せしめ他の金屬貨幣は信用貨幣として少額の支拂に限り強制することなく便宜受領せしむるに止むべきものなりとなす説あり單本位制度と言はるるものこれなり單本位制度は金なることあり英國

に於て見るが如し又銀なることあり英領印度於てこれを見る英國に於ては四千磅即ち十萬法を有効償却するがためには金貨によらざるべからず債權者に對し殆んど言ふに足らざる少額を支拂ふ場合にあらざれば銀貨を強制する能はざるなりこれに反し印度に於ては銀の單本位制なるを以て債務者が有効に債權者に對し十萬法を辨濟するがためには銀貨を交付せざるべからざるものとす債權者は金貨により之を請求する權利を有せざるべく又金貨による支拂を拒絶することを得るなり。

單本位制は近時モノメタリズム (monometallism) なる不正確の名稱を有するに至れり。

これに對するものを複本位制度なりとす三本位制度の問題は何處にも生じたることなしこれ近世國家は多量の銅が貨幣の職能をなすことを拒む銅貨として單に小額の足し前をなさしむべきものなりと考ふるを以てなり然れども或る國家に於ては嚴格に金銀の二者を以て主たる支拂に對し辨濟力を有せしむるものあり其結果其國に於ては債務者は有効に二十萬法の金額を好むところに従ひ單に銀貨のみを以て又は金貨のみにより支拂をなすことを得るなり此の制度は近來ビメタリズム (bimetallisme) 複本位制度と呼ばれるされば金銀は貨幣の流通につき絶對的に同等なるものとす且債務者は豫め何種の貨幣を以て支拂を受くるや金銀の執れによるかを知らざるなり又孰れをも要求する權利を有せざるなり複本位制度にありては二種の金屬は嚴格に同等の辨濟力を有するものなれば二者の間に確定的にして不變なる價值の割合を定めざるべからず佛

國に於ては近世紀の始め十一年の法律により一對一五・五の割合と定めたり即ち我が貨幣法によれば正確に金一グラムは銀十五グラム半と同一の價值を有するものとせらる。

單本位制度複本位制度の相反する二制度の内孰れか科學的眞理と實際上の利益を有するものなるか。

複本位制度には排斥せざるべからざる絶對的不便ありて事物自然の性質に相反するものなり複本位制度は二種金屬の價值の關係が常に同一なるものなりとの假定にたつこれ其の性質に反す永久に金一グラムが銀十五グラムに等しき價值を有するものなることを命令するは恰も小麦一ヘクトリツトルは常に正確に燕麦二ヘクトリツトルと、羊毛一ポンドは常に正確に綿二斤と交換せらるべきものなりと命ずると大差なし金銀の生産は種々の狀況により影響を被むる即ち金銀鑛の豊富採掘の技術的進歩之等金屬に對する需要、工業上の用途、貨幣としての用途、之なり二種の各金屬に對する以上の影響は其間の價值を常に正比例的に同一の方向に同一の強度を以て同一の時間内に作用するものにはあらず複本位制度の國にありては二種の金屬の地金としての價值の割合が貨幣としての金屬の法定價值の割合と異なるに至れば二種の金屬中實際の價值が昂騰したるものは其の國を去り輸出せらるべし種々の狀況のため金一グラムが貨幣法により定められたる銀十五グラム半を突破して銀二十グラムの價值を有するに至れば銀の地金を五法銀貨に鑄造するがため之を多く造幣局に持ち來り出來得る丈け多くの二十法金貨に換へ之

を溶解して金の地金となし又は外國に輸出し貨幣の形を有せざる多くの銀と交換するに至らんされば複本位制度の國に在りては常に貴金屬貨幣を損失する脅威を受くるものとす換言すれば貨幣の價值は地金の相場により昂騰することあるなりこの損失を避くる方法としては造幣局を閉鎖し銀行に於ては價值の騰貴したる貨幣の交付を拒むにあり。

されば複本位制度は事物自然の性質と實際の利益に反するものなり契約者は其の支拂期日の近きと遠きとを問はず如何なる貨幣を以て支拂はざるべからざるかを豫知すること能はず例へば佛國は複本位制度を採る國なるを以て打歩を支拂ふにあらざれば確實に金貨十萬法を得ること能はざるに反し英國は金本位制度の國にして債務の免除を得るためには唯一の法貨を以てせざるべからざるものなれば何時にても金貨による支拂を受け得る理なり英國の商業が極めて有利なる所以なり。

金銀價值割合の變動——金銀間に存する價值の割合は歴史的に變化し來れり而して其の一般的傾向は金の價值は銀に對して増加せんとするなり太古に於ては金の一定量は通常頻繁に變動し銀の八倍乃至十倍以上に達したることあり中世の大部分に於ては一對十の割合に固定せしが十四世紀銀鑛がアメリカに發見せられたため其割合は一對十五を示し金の一定量は其十五倍の銀と交換せられたり十六世紀以來一對十四及び十五半を上下せしが遂に一八七三年以來漸次昂騰し一九〇六年には一對三十となれり即ち地金一グラムは銀三十グラムの價值を有せしなりこ

れを以て見るも我が貨幣法の矛盾せることは明白なり。

價值變動の原因は種々あれ共茲には二の主要なるものにつきて述ふるに止めん第一は二種金屬生産額の變動にして一定期間に於ける銀の産出額は増加したるも金は却て減少せしなり第二は其主たる原因なるが金は銀に比し完全なる交換の用具として富める國に於ける俸給銀利得として夥しく使用せらるるに由る。

一國は極めて多量の貨幣を有することを得るものとす——貴金屬は一種の財貨にしてそれ自體價值を有するものとするも國家の富の構成に入るときは富の全部又は大部分をなすものにあらざるや遠し一國富の主要部分をなすものは生産力ある土地、家屋、工場、有用なる家畜、各種の器械、各種の食糧、商品等にして約言すれば生産に用ゐらるる資本又は人類が直接消費する貨物なり。

貨幣は有用なる一種の財貨なれども特殊の效用を有する貨幣は直接何等の用をなさざるものにして他の財貨と交換するにあらざればこれを消費して人類の直接の需要を充足する能はざるものなりされば貨幣は間接の用務を辨じ交換の媒介たるに止るものとす國家がある程度まで貨幣を豊富に所有することは外に對し支拂をなすに當り困難に遭遇せざるがため喜ぶべきことなるも貨幣を過多に有することは富の過剰を悪用するものなり。

最も富める國民は最も多くの金屬貨幣を有するものと云ふべからず英國は三十四億法の貴金屬

屬貨幣を有するに過ぎず内二十八億法は金貨にして六億法は銀貨なり北米合衆國は非常なる富國にして一九一〇年に於ては其人口九千三百萬人にして其當時百十六億法の金銀貨幣を有し其内八十億法以上は金貨にして三十六億法は銀貨なり佛國は英米に比し人口少く富も多からざれども比較的多くの貨幣を有し其數量約八十億法なるか其内五十五億法は金貨にして銀貨は二十五億法なり。

かくの如きは富を拙用するものなりと云はざるべからず金銀貨を有することはこれを五六十億法に止め二三十億法は工場器械用具として用ゐらるるを優れりとす貨幣は一國に對し所得を生せしむること少けれ共各種の器械用具は所得を與ふること大なり多量の金屬貨幣を蓄藏する國民は其の富を貨幣の形により金庫に蓄積するが如き特殊の地位にありこの地位たるや資本を固定せしめ其の所得を奪却するに至るされば多量の貨幣を節約することを得べき商業的慣習を採るを以て可なりとす次章に於て交換に於ける貨幣の職能を抑壓せずしてこれを減少せしめ得る慣習と伶俐なる方法を明にすべし。

貴金屬價值の變動——尙貨幣問題につき一般的の誤解あり貨幣は價值の尺度にして量價計なることは既にこれを述べたる所なるがこは相對的の意味に於て眞理を有するに止り絶對的數學的のものにあらざるものとす貨幣はメートル、キログラムの如き不變的の尺度なりと云ふべからず、メートル原基の長さ、キログラム原基の重さは變動することなし假令變動することあるも

少く其大氣の影響を被るに過ぎざれば其の變化の程度は殆んど實際にこれを測定する能はざる
微少のものとす

これに反し量價計たり又は價値の尺度たる金銀に至りてはそれ自身に於て固有の價値を著しく變動するものなり金銀の固有價値が影響を受くるためには其の金屬の生産の割合が増減するのみを以て足る生産が増減する場合には其の購買力を増減す即ちこれと交換せらるる財貨の量が増減するなり同様にしてオーストラリア及びカリフォルニアの金鑛發見は假令微弱なりしとするもある程度まで金の價値を低下し又一八七一年以來豊富なる銀鑛の發見によりある程度まで銀の價値を低減したりしなり。

然れ共以上價値の變動は貴金屬殊に金にありては他の財貨につきて見るが如く頻繁なることなく且其範圍狹少なり即ちこれが生産には多くの時を要し急激に表ることなし猶一言すべきは生産せられたる金銀は消費せられて其形態を失ふことなく年々産出せらるる金銀は長く古代より蓄積せられたる金銀の量に加へらるるものにして現存する金銀の全量は最も多く生産せられたる年産額の二十五倍乃至三十倍以上の多きに達せりこれ貴金屬殊に金が自然界に撒布せらるること少く他の貨財の價値よりは比較的安定性を有すること大なる所以なり。

されば貴金屬貨幣殊に金貨は絶對的不變にして常に同一の價値を有する尺度なりとは言ふべからざるも吾人が發見し得たるものの中にありては最良なるものなりと言はざるべからず尙短

期間殊に商業取引及び十年十五年二十年を期間とする普通の民事上の契約に於ては金は充分正確不動の尺度なりと云ふべく其産出の増減が購買力に及す不安は極めて輕微なり。

金の價値の變動は極めて微弱漸進的に感知すること難きものなれば十五年又は二十年を一期間として觀察するときは最も眞摯博學の専門家の間にありても其期間内に金自身が如何なる割合により價値を上下したるやの問題につきては意見の一致を見ざるなり

されば完全にして絶對的なるものとは云ふべからざるも金銀殊に金は過去に於ても亦將來にありても其固有の性質により貨幣及び交換の方法たる役目をなすものとして最も優良なる資格を有するものとせらるべし。

第三章 信用——信用の性質

信用の性質——對人信用と對物信用——信用は資本を創設するものにあらず——信用の三效用——消費信用——信用は節約を助長す

信用の性質——信用は他人に屬する資本を利用する力なりと云ふべく資本又は資本に相當するものの權利を所有者より讓受け後にこれを所有者に返還する契約を云ふ返還は豫め定められたる時期になさることあり又は貸主が貸與したる資本の返還請求をなしたる場合に於てせら

ることあり信用は經濟的作用にして博愛又は慈善行爲にあらず又先きに述べたるが如き資本はこれを利用する道を知る人士の手に委せらるるときは生産的となるものなれば信用を與へられたる借主は通常借用したる資本の返還に際しこれに豫め定められたる利子を加へて支拂はさるべからざるものとすこの利子は往々に割引と名けられ一方に於ては借りたる資本の生産力の價值を表し他方に於ては借主か事業に失敗するか貧困となるか不誠實なる場合に貸主が其資本の返還を受くること能はざる危険、豫期する正確の時期に再び自己の手裡に返還せられざるの危険を包含するものなり。

信用は授信行爲にしてラテン語の (credere) 信託すると同一の語源を有す然れ共信託が欺瞞を免るるためには熟慮と注意と保證とを取らざるべからず。

對人信用と對物信用——信用又は信託は借主の人格に附與せらるることあるべく或は貸したる物に對する返還の擔保として合意上一定の物を先取特權を以て質物とすることにより爲さるる場合あり甲を對人信用と言ひ乙を對物信用と名く。

對人信用に於て貸主が信賴する所のものは借主固有の人格にして才能、事務的才幹及び誠實なり以上個人的性質の外に他の條件借主の有する財産、倉庫内の商品、製造中の貨物等を考慮に置くことあり然れども以上の資産貨物商品につき特定の選擇をなさざるなり貸主の念頭には以上の財貨は貸借を決定する動機をなす上に考量せらるるものなるは眞なり純然たる對人信用

換言すれば其人の性質に對する信用行爲により生し其人が既に得たる結果につきては毫も顧慮せざるものは信用として最も稀有にして危険多きものとす對人信用の最も普通の形式を採るものは出入商人によりなされ得意が其の買ひたる品物の代金を直ちに支拂はずして延期するものなり。

對物信用にありては考慮の對象物は人其の財産或は其人が既に得たる成果にあらずして特定の物これなり世人が信用して貸與するものは其特定物あるがためなり即ち貸主に於て貸借を決定する動機は其物の存續期間、その物の價值の永續、これを容易に貨幣に交換すること、或はその末必的可能性に對する確信なりとすされば不動産銀行又は資本家が法律に従ひ家屋又は耕作地の如き不動産に抵當權を設定して一定の金額を貸與するが如き場合に於ては借主の人格を目的とするものにあらずして耕作地又は家屋が其目的となるなり公設倉庫に寄託せられたる貨物に對しては通常倉庫證券と稱する證書發行せられ其の貨物を抵當とし貸金が返還せらるる以前に於ては倉庫或は陸揚倉庫より貨物を搬出すること能はざるが如き方法を採るものありても同様なり農業貸付の行はるる國にありては農産物の收穫又は取り入れ中これに對し貸付をなす而して債務者は貸主に貸金の返還をなす以前に於ては其の收穫物を他に讓渡すること能はざるなり又有價證券公債證書株券債券又は動産質に對し貸付けらるることあり以上の如き場合に於ては總て對物信用をなすものにして人よりは物に對して多くの信用與へられ擔保物に關し

ては貸主に對し特別の權利附與せらる。

信用は資本を創設するものにあらず——屢々議論を生じ誤謬を醸したる問題は信用が資本を創設するや否やを知得する問題なり若し信用が資本を創造するものなりとせば人類は何等勞作することなくして單に知識の排列により人類の用具と貯蓄とを増加することを得る理なりこの種通俗の偏見は信用に對し資本を創造する力を附與する、空的企圖より出するものにして恐怖すべき倒産に終るものとす例へばロウエーの計畫、十八世紀初頭に於けるミシシッピ會社、佛國革命時代のアシニャー(不換紙幣)につき見るが如し。

經驗に徴するもこの説の誤れるは明なり信用は資本の返還せらるることを約し隨意これを處分することを他人に許容するものなれば其結果信用は資本を轉置し所有者を變し往々場所を異にすることあるも新なる資本を創造するものにはあらずなり。

若し予が甲に十萬法を貸與したりとせよ甲は以前よりの所有金にそれだけ多額の金圓を所持することゝなるも予は其の額だけ金圓を減少する理なり予は單に約束の時期に至り其返還を請求し得るに過ぎず其時に於て甲は其金額を奪はるゝなり甲に馬一頭を予が貸與したる場合も亦同様に於て其馬は甲の厩舎に移りて予の厩舎にこれを見る能はざるなり。

茲に注意すべきは現實に存在するものにあざれば貸與すること能はざることなり予が一千法を貸與し得るは予が一千法を所有するか又は他人に之を貸與するため債務者より右金額の返

還を請求し得る場合ならざるべからず然れ共予が一千法を所有することなきか又は辨濟資力ある債務者よりこれが返濟を請求し得る場合にあざれば予は該金額を貸與すること能はざるなり。

然れ共粗漏にして思慮なき衆人を、又往々にして鋭敏なる智者をも迷はしむる狀況の存することあり今假に甲が乙に一千法を貸與し乙が右一千法を所持するとせよ一方甲は手形を所有し乙が其手形に署名し辨濟の資力ありとせば甲が一千法を必要とする場合には自らこれを取ることを得るなり其結果双方借りたる資本を處分することを得るこれ一見眞實なるが如しと雖も不正確を免れず乙に一千法を貸與したる甲は乙振出の手形が信用を有するものとせば明に金一千法を取得るなるべし然れ共これ非なり甲に貸與するための一千法を所有しこれを手放すことを得る第三者存在するにあざれば乙は一千法を取得る能はざるなりされば二の資本が同時に存在するとなす説は誤れり前者に對し存在するものは後者に對する資本の實際的所存にして資本及び利子の回收權なり。

されば信用は資本を轉置しこれを移動せしむるものなれ共資本の一少部分をも創設するものにあらずなり。

信用の三效果——以上述べたるが如く信用は資本を創造するものにあらずとせば如何なる用をなすものなるか先づ信用はこれを利用することを得べく又悪用することを得べし信用は國家

社會個人を破壊頽廢せしむることを得ると同時にこれを富強進歩せしむることを得るなり。
信用は三の効果を有す。

- (一) 信用作用による資本の移轉は其結果貸主に於てはこれをなし能はざる資本の利用厚生を借主になさしむることを得るなりこれ信用の重要な効果なり。
 - (二) 信用は節約によりて資本を作り上げたる人に於てはこれを生産的に使用する能はざるものを更に生産的に利用し得る人の手中に移し其結果社會に於ける資本の利用厚生を容易ならしめ更に大なる資本を創造するものなりかくして節約を奨励し報償を増加し歳月を経るに従ひ間接的作用により資本の形成を潤澤ならしむるに與りて力あるなり。
 - (三) 信用は金銭の支拂につき多くの辨濟方法を與へ貨幣に要するより少き費用を以て資本を移轉せしめ貨幣の總額より少き總額を以て所用を辨ずることを得しむるなり貨幣も貨財の一種にして相當の生産費を要するものなれば貨幣の節約は國家に對し他の資本を多く有せしむることとなる國家が以前に於ては六億法の貨幣を要したるに三億法の貨幣により同様の用務を辨ずることとなれば貨幣は三億法の餘剰を見るを以てこれを鐵道各種の器械器具各種の資本又は貯藏として使用することを得るなり。
- 以上三効果につき簡單に説すべし。
- 第一の効果が實現せらるゝには貸主及び借主の各性質によるものとす。

信用は借主が貸主よりも積極的に手腕あり又は少く共借主の企業、職業がある狀況より貸主の企業、職業より資本の使用が遙に生産的範圍を有する場合にあらざれば効果なきものなり。

信用作用に於ける貸借は單に富者の貧者に對するものなるべからず富者の貧者に對する貸借は通常博愛又は慈善を奨励するに止る。

信用作用に於ける借主は明に精力家にして活動家なれば共資本に缺乏せる人なりこれ對人信用に見る所にして既に述べたるが如く信用としては極めて稀に行はるる所にして其の危険も極めて大なり一般に借主は既に資本を有するものなれば共尙それよりも多くの資本を有するならば一段の效用を擧げ得べし借主が貸主よりも富裕なる場合稀ならずされば大企業家大銀行家大會社は自己に比し遙に富裕ならざる者より種々の形式により寄託を受け社債を發行し金銭を借り入るるなり。

他方に於て信用は常に富裕にして無爲に暮せる者が活動的にして勤勉なる人に對し與ふるものなりと考ふる者あらば其は大なる誤謬なり自己の資本を手放す者は唯外見上富裕なるのみにして相對的には活動家なること往々あるなり多くの貸主は一定の職業に従事し多忙にして自ら資本の利用をなすことを妨げらるるものなれば郵便貯金局に預金し或は鐵道債券を購入することあり例へば辯護士醫師官吏の如きものにありても節約をなす者は富裕にして無爲に暮せるものなりと言ふべからず各特殊の職業に従事し節約して作せる資本を自ら直接利用すること能は

ざるものなり。

同様に借主は常に活動家なりと言ふべからず富裕にして無爲に暮せる者なることあり。歴消費信用につきて見る所にして出入商人が其の得意に信用を興ふる場合の如し。

消費信用——生産のためせらるる信用と消費のためせらるる信用とは明にこれを區別せざるべからず通常前者は生産的なれ共後者は破壊的なれ通常前者は資本を優良に利用するものなれ共後者はこれを消失せしむるものなり消費信用は商人及び生産業者の手にある資本を制限し商業の危険を増加し物價を騰貴せしむ。

されば信用は貸主に於ては利用し能はざる借用額を借主が社會のため有益に使用し得る場合に限り其効果を有するものとす。

信用は節約を助長せしむ——信用の第二の效果は節約を奨励することなりこれが如何に實現せらるるかにつきては既に明にせり特殊の職業に従事する者例へば單純なる労働者の如き又は特殊の智識階級の者例へば教師各階級の官吏醫師等の如きは其の節約したる所を自ら利用する能はざるなり若し各種の形式により其の貯蓄を他人に貸與し以て更に利益を抽出することを得る信用なるものなかりせばこれ等の人々は利子を得る能はずして其の節約を死蔵するに終らんこれに反し信用が種々の組合せにより其の報償利益を抽出し得るものとせば節約に對し利益を生ずるは自然の理なり。

貨幣の節約は信用を頻繁に利用する結果なり而して兌換紙幣小切手振替制度相殺其他銀行業務と密接の關係を有する種々の制度發明せらるるに至りしがこれ等の問題につきては次章に説述する所あるべし。

第四章 銀行

銀行の起源、其業務——商業割引、約束手形と爲替手形——商業證券の割引は銀行の基本的業務なり——小切手振替と手形交換所——兌換券——兌換券の利益——兌換券濫發の危険——兌換券と貨幣との差異——佛蘭西銀行——銀行の各種業務——土地擔保貸付會社——農業銀行と動産擔保貸付銀行——信用に對する空想と幻覺——庶民銀行

銀行の起源、其の業務——文明の性質上歳月を経るに従ひ社會に對し利益を興へ重要な用務を辨する特殊の職業を生じたりかくして信用を分配することを主たる目的とする銀行の設立を見るに至りしなり銀行業者は信用を業務とせる商賈なり資本を所有するもこれを利用することを知らざる者より資本を受けこれを資本を所有せざるか又は資本を充分所有せずして生産的に資本を使用する能力ありと認めらるる者に貸與するなり。

銀行が以上の職能をなすに至るまでには短日月のことにはあらざりしなり古代又は中世の初

めに於ては當時一國內に小國分立し貨幣の種類も多かりしかば銀行は特にこれが兩替に従事し又預金を受けしも何等これを利用することなく蓄藏するに過ぎざりしなり其當時にありては銀行は貸主と云ふよりも寧ろ兩替商にして會係出納係たるに止りしなり。

銀行業務は三種の職能を包含す (一) 金銭を必要とし擔保を提供する者に對し貸付をなすものにして信用の眞の職能なり (二) 資本を一の場所より他の場所に移轉することにして巴里よりリオンに佛より英又は米に移轉するが如し (三) 借入即ち得意先よりの資金を自己の金庫に收め同一銀行に取引を有する得意間の金銭支拂につき相殺をなすなり以上三種の作用中一種のものは最も重要なものにして他の二者がよく行はれたる後にあらざれば發達せざるものとす。

始め銀行は個人に對し信用を與ふることなく唯個人より預金を受け入れ之が保管をなし出納係と會計係の用務をなせしに止まりしなり時を経るに従ひ銀行預金なるものは不變固定的のものにして總ての預金者が同時に之を引出すものにあらざれば貸付をなす場合に於て其預金を利用し得ることに氣付きしなり遂に預金者の同意を得て預金者が其預金を急激に引出さざることとし之に對しては利子を與ふるに至り又こゝに於て預金銀行は同時に貸付銀行となり普通割引と稱せらるゝ特種の貸付をなすに至れり。

商業割引、約束手形爲替手形——割引は特種の商業貸付にして一定の形式に従ふことを要し

満期日に償還せられざる場合には特殊の刑罰に觸るゝものなり。

洋服商が洋服地卸商より服地五百反を買ひ求めたる場合に於ては洋服商は直ちに其代金を支拂ふかと云ふに通常は直ちにこれが支拂をなすものにはあらず洋服商は眼前に職工の給料家賃其他の一般費用の支拂をなさざるべからざればなり然るに服地卸賣商人より買入れたる服地を以て調製したる洋服が賣却せらるゝには二三ヶ月を要するものと見ざるべからずされば洋服商は卸商人には現金を支拂はずして商業證券を以て代金の支拂をなすべきことを約するなりこの證券に二種の形式あり約束手形及び爲替手形これなり。

約束手形は債務者が債權者に對し指定せられたる一定の期日に金額の支拂をなす約束なり右の場合に於ては洋服商が服地卸賣商人に對し『拙者儀一八八八年五月一日に本日の勘定書決済に従ひ金五千法を乙殿又は其の差圖人に御支拂可申候也甲署名』乙がこの形式の支拂を受くるときは服地賣買は絶對的に決済せられ其の代り新なる特殊の性質を有する債務發生すかくして甲は其の商品を自己の資本として所有し加工するため保存することを得れ共手形満期日には必ずこれが支拂をなさざるべからざるなり。

卸賣商人乙は最早や其商品を所有せざることとなり右代金支拂の契約を得たるのみ而して乙は甲に販賣したると同量の商品を再び買入れ其倉庫を充滿するに困難を感ずることあるべし然れ共乙はこの困難より免るることを得るなり乙は洋服地五千法を製造者より購入するに當り現

金の支拂をなさずして甲振出の約束手形に裏書保證をなし乙と共に債務を連帯しこれを製造者に交附することを得るものとす製造業者も亦該手形に裏書し羊毛商又は染料商に交付することを得べしかく十回十五回二十回と連続する賣買もこの手形に同数の裏書をなすにより行はる凡て以上異なる賣買作用は洋服商甲が該手形の満期日に支拂をなすと云ふ單一の行爲により勘定済となるなり。

吾人はこの信用の器具により既に一の重要な利益あることを知得せり貨幣の節約これにして十回十五回二十回の商取引は唯一の延期せられたる支拂により決済せらるるなり然れ共近代社會にありては通常生産は消費より遙に以前に行はるるものなればこれにより生産を中絶せしむることなきは其の重要な利益なり消費者即ち洋服商より洋服を買ひ求むる消費者に至りては代金を支拂ふ約束をなすにあらずして現金を支拂ひ終局的解決をなし順次行はれたる手形の連続作用を終止せしむ。

約束手形は債務者が債権者に對し代金支拂の約束をなすものなれ共爲替手形は債権者が債務に對してなす支拂の命令なり巴里の製造業者乙がハーブルの間屋業者甲より原料の買入を爲し金一千法の債務を負ひ又一方に於て乙は自己の商品を賣却したるハーブルの小賣商人丙に對し金一千法の債権を有するとせよ乙は甲のため丙に對する爲替手形の振出をなすなり「ハーブルの商人甲殿又は其指圖人がこの手形を(或は二ヶ月後に)呈示せらるるときは商品代金一千法を

御支拂相成度候也」とこの場合甲が該手形による支拂を受くるときは乙は甲に對し債務を辨済せしこととなるなり然れ共乙は自己が丙に振出したる手形金額に對し引受をなすべきものとす。

爲替手形は約束手形と其の性質を同ふす然れ共通常爲替手形は一の場所より他の場所に振出さるるものなれば甲地より乙地に貨幣を運搬するに伴ふ費用と危険とを節約するを得る利益あり。

約束手形と爲替手形との他の經濟上の効果は同様なるが茲にこれを約言すれば需要に先ち行はるる生産を中止せしむることなき利益あり生産者は各種貨物仕上げの各程度により生ずる取引に於て消費者が貨幣により決済をなすことを待つ必要なきなり。

債務が満期日に支拂はれ貨物の代金が終局的の消費者により支拂はるを待つも商人間に用ゐらるる信用が重大なる不便を見ざるがためには極めて嚴格なる特殊の法律を必要としこの二種の信用證券の振出人と裏書人に對しては極めて迅速にして嚴格なる權限を有せしめざるべからず裏書により讓渡を受けたる證券の所持人(爲替手形又は約束手形)は後の裏書人に對し満期日の支拂につき連帶債務を保證するものとす満期日に至り支拂をなさざる者に對しては拒絶證書と稱する重要な手續をなすべきものとせらる換言すれば即時に支拂をなさざることの公の證明なり拒絶證書は凡ての連続せる裏書人に對しても之を求むることを得べく支拂をなさざる

者は破産に終る換言すれば契約を履行せざる者に對しては其全財産を奪ひこれに不名譽を與ふるなり支拂をなすべき義務を負へる者により支拂はれざる手形を佛國に於ては拒絶手形と稱し英國に於ては不名譽手形と云ふ。

約束手形又は爲替手形契約により債務を負擔する者は他の原因により債務を負擔する者に比しこれが支拂を爲さざる場合に於て遙に重大にして迅速なる結果を受くるものとすこれ當然のことなりと云ふべく信用は社會に對し極めて重要なると同時に機微の用具として廣く行はるるものなれば不明又は惡意により信用を危くしこれを消失せしむるが如き者に對しては嚴格に處斷せざるべからず。

以上の信用證券即ち約束手形と爲替手形は手形の振出人受取人裏書人に對し法律上の効果として簡明にして嚴格なる權限に従はしむるものなることが廣く世に知らるるに至りて預金を受入るる銀行業者はこれを容易に有利に使用し得ることを悟りしなりこれ商業證券の割引と稱せらるるものにして證券の満期日前に行はるる支拂なり乙振出の手形を所持する甲が手形満期日前三ヶ月に商業資金を必要とすればこれを資本家又は銀行家に呈示するなり資本家又は銀行業者は甲をして該手形に裏書せしめ甲乙の署名が眞正なるや否やを審査し次に其身元取引状態兩者の資力を検査し辨濟能力充分なりと認むるときは該手形の割引をなす即ち該手形の額面金より満期日に至るまでの利子と銀行が負擔する危險額とを控除したる殘額の支拂をなすなり。

商業證券の割引は單純なる對人信用の取引にあらず約束手形又は爲替手形の振出を生ずる商業取引の擔保により暗に保証せらるるものなり吾人は商業取引が誠實に行はれ爲替手形又は約束手形の各署名者は實際に貨物を生産しこれが販賣をなし手形上に記載せられたる將來の期日に一定の消費者により代金が支拂るるものなりとの假定に立つなり。

約束手形及び爲替手形が一定の確實なる商業取引以外に於て振出さるときはこの種の手形を空手形と言ひ融通のため流通せらるるものにして困窮せる世話人が資金を得るため用ゐるものなり空手形は商業上の取引なきに拘らず恰もこれある如く裝ひ銀行業者又は世人を欺んとするものなりこれ信用の濫用なるを以て商人及び割引をなす銀行業者はこの種の替歌又は商業上の信用を腐敗せしめんとするものに對しては嚴に注意せざるべからず。

商業證券の割引は銀行の基本的業務なり——銀行業者が極めて大なる警戒と注意深き條件を以て爲替手形又は約束手形の署名者が有する實際の辨濟資力を識別することを得るに於ては商業證券の割引は最もよく預金を利用し顧客を吸収し得る所以なり爲替手形及び約束手形は長くとも通常三ヶ月を出でざるものなれば短期貸付たるなり實際の商業上此種證券が安んじて使用せらるる所以は證券が確實に支拂らるる保證を有するを以てなり此種の證券に對し特に嚴格なる略式裁判權は債務者の辨濟の延期につきては寸毫も假借することなきなり割引者たる銀行業者自身に於て満期前に資金の必要を見る場合に於ては銀行は優良手形即ち確實なる商人より出

でたるものにあざれば割引をなさざるを以てこれにより再割引を求むることを得るなり再割引は右手形に裏書引受をなしこれを他の銀行業者に譲渡するときは其銀行は満期日前に金額の支拂をなすものとす。

されば割引は銀行の重要な業務にして銀行業者が商業資金に對してなす割引は年二歩五厘三步三五厘を通常とし稀には四歩に達することあり割引率は一定の状況により變化するものなれ共其主たる原因は流通資本又は循環資本の充實による。

小切手振替及び手形交換所——約束手形と爲替手形が信用の唯一の方法にはあらず此の外に小切手なるものが信用の用具として用ゐらるることは世人の知る所なり小切手は銀行に一定の預金を有する得意が銀行に對してなす支拂命令なり預金の最低限度は小切手の金額を支拂ふに足るものならざるべからず而してこれ引當資金と呼ばれるものなり其の結果的確に言へば小切手は信用の器具にあらずして貸借なりと言はざるべからず何となれば小切手を振出すものは預金あるがためにしてこれが銀行に向ひて對價をなすものなればなり然れ共小切手は優良なる支拂の方法たるを失はず小切手は各個人をして貨幣を多量に保藏せざるべからざる煩を免れしめ且支拂は小切手に記載せられたる署名による形跡を保存し通常個人の計算は左迄周到ならざるに反し銀行の正確なる計算によりて行はるる利益あり吾人は貨幣節約のため小切手の使用を如何に奨励するも尙過ぎたりと云ふ能はざるなり。

吾人が振替又は相殺支拂と稱するものも小切手の使用に同じ銀行の得意中甲が乙の債務者なるときは其債務は甲の勘定より控除したる金額を單に乙の勘定に記入することにより消却せらるるものとすこれ世人の振替と稱するものにして貨幣又は特殊證券の振出しを必要とせざるを以て最も完全なる支拂方法なりとす振替が可能なるためには債務者が銀行に少く共振替の目的たる債務額に該當する金額を有する唯一の條件を必要とするなり。

相殺による支拂は同一銀行又は相殺銀行或は手形交換所と呼ばれる特殊銀行の顧客間に行はれ多數顧客相互間債務の計算をなし相殺し得べき計算殘額の支拂をなすに當り貨幣の仲介をなさしめざるにありされば銀行業者及び仲買人は數千萬法又は數十億法に達する勘定をなすにも僅に數千法の足し前を以てこれが整理をなし得る理なり。

以上述べたるが如き貨幣節約に關する伶俐なる方法は英米に於て見るが如き商業に習熟する國民を作り限られたる通貨の額を以て大なる事業を經營するを得せしむるものなり。

兌換券——通常行はるる取引に於て貨幣を節約するため特に用ゐらるる證券を兌換券と云ふ。

兌換券は銀行が其の持參人に對し一覽後一定の金額を支拂ふべき約束なり兌換券が發行せらるるや否や所持人は現金の支拂を求むるため直ちにこれを銀行に持參するを以て銀行は兌換券の生産費を失ふこととなり一見奇異の約束なるが如く思はるるなり兌換券の發行は自然法の作

用に基くものなりと見ることを得何となれば何人と雖も善意にして詐欺強迫を伴はざるときは其の好む所に従ひ公然契約を締結することを得べければなり。

兌換券の特性次の如し兌換券は其の所持人に何等の形式裏書文字の記入前所有者に對する責任を負はしむることなくして移轉せらるるものとす然らざれば多數の人は兌換券を受くることを躊躇すべし兌換券は一覽後貨幣を支拂はる然るに商業證券即ち約束手形爲替手形の如きに至りては通常一定の満期日に於てのみ支拂るるに過ぎず兌換券は常に十年後二十年後三十年後に於ても時効に罹ることなくして支拂はる然るに爲替手形約束手形にありては一定の期間後には時効に罹るものとす兌換券は利子を生ずるとなし而してこれ重要な點なり一派の人は兌換券に對し例へば一法につき一サンチーム又は半サンチームの利子を生せしめんとする空想を抱けるもこは兌換券の性質を變せしむるものなりされば支拂に際し兌換券を交付受領し計算をなすに半分間をも必要とせずして貨幣を補足するに妨げなきものたらしめざるべからざるなりこの役目を充たすためには兌換券は一瞬間に受授せられ一本の鉛筆をも亦一秒間の考量をも要せざるものならしめざるべからず同様の理由により兌換券は全數額のものならざるべからず例へば五十法百法五百法一千法の如し然るに商業證券に至りては其數額多々にして端數なき能はざるなり。

兌換券は著名にして支拂能力につき疑惑を受くることなき銀行により發行せらるものたるを

要す然らざれば世人は其兌換券を受領せざるべく假令これを受くることあるも直ちに銀行に赴き貨幣の償還を求むべし兌換券の償還につきては遁辭を構ゆべからず換言すれば銀行は充分なる一定數の窓口を公開し毎日一定時間内に於て兌換券を貨幣に交換するの用意なからざるべからず償還は又便利なる貨幣を以てすべく混雜せる貨幣によるべからざるなり然らざればイスパニアに於て見るが如く兌換券は公衆により受領せられざるなり又兌換券が實際田舎に至るまで金屬貨幣と同様に受領せらるる習慣を作すには長日月を要するものにして佛國に於ては數世紀を經過したりしなり。

兌換券は實に銀行が公衆に對し有する隱密の負債なり何となれば公衆は貨幣を必要とするときには何時にても支拂はるる條件を以て銀行より單純なる約束をば貨幣として受領することに同意したるに過ぎざればなり。

兌換券の利益——兌換券が一般の公衆及び特に發行銀行に對する利益次の如し。

- (一) 兌換券は大なる利便を有し貨幣によるときは重量大にして計算に長時間を要する巨額の金額を自ら携帯し郵便にて送り甲の手より乙の手に轉々することを得る利益あり。
- (二) 經驗に徴すれず基礎鞏固なる著名の銀行に對しては世人は其兌換券を貨幣と交換して支拂るることを求むるは稀有にして常に自發的に多くの兌換券を受領するものなれば兌換券を發行したる銀行は流通せる兌換券に對しては極めて少き金屬貨幣を貯藏するのみ例へ

ば十五億法の兌換券の發行に對し十億法の金屬貨幣を準備すれば足るなり嘗ては發行銀行は兌換券發行高の三分の一に相當する貨幣を貯藏すれば充分なりと考へられしも通常現今の大銀行にありては貯藏は流通高の半に超過せざるものすらあるなりその結果貨幣の準備金と兌換券との差額は國家が兌換券の使用により巨額の金屬貨幣を節約することを得る所以にして前に述べたる如き大なる利益を齎すものとす。

(三) かくの如くにして銀行は公衆の信用を得何等の利子を出すことなく單に兌換券の生産費とこれに附隨する僅少の費用を必要とするものに過ぎざれば企業者と商人に對し有益なる條件をなすものとす銀行が承諾する貸付金につきて見るも單に金屬貨幣が取引せらるゝ場合に比するときは其割引料も低減せらるるものなり。

兌換券濫發の危險、發行銀行に對する法規制定——兌換券の利益につきては以上述べたるが如くなれども此種の發行が危險なるは通常恐慌の場合に於て銀行業者が約束を守る能はずして兌換券の呈示者に對し一覽後支拂をなす資力なきに至り公衆をも自己廢滅の禍中に投せしむる點にありこれに比すれば其程度甚しからざるも尙弊害とすべきは多數の銀行業者が兌換券を濫發しこれが流通を混亂状態に陥れ公衆は各發行銀行の支拂能力の程度を知らざるがため其善惡を識別するに苦み遂には國家より支拂の用具たる兌換券を奪ひこれを排斥する總ての者に左相するに至らしむることなり。

以上の如き危險と弊害とは甚しく政府を驚かしめ世界の何れの國に於ても資本家又は銀行に對し持參人一覽拂の兌換券を發行するにつき完全なる自由を附與せざりしなり恰も醫師公證人の職業が法規により制定せらるるが如く兌換券の發行に關しては銀行の職業としてこれよりも嚴格なる特殊の規定を設けたるなり持參人一覽拂の兌換券を發行する權利を有する銀行を發行銀行と云ふある國例へば亞米利加合衆國の如きは大なる制限的條件の下に銀行に兌換券發行の自由を認む他の國例へば英國の如きは兌換券發行の權利を有する銀行數多存し其中重要な特權を有する英蘭銀行がこれを統一するなりある國例へば佛の如きは國立銀行が兌換券發行の利益を獨占す佛蘭西銀行これなり。

單一銀行に獨占的發行を與ふる制度と複數銀行に發行權を與ふる制度又は發行銀行自由主義との利害に關する理由を列擧するは餘りに多くの時間を要すべし吾人の見解によれば多數の銀行に兌換券の發行を許したる國にありては單一兌換券發行銀行制度の國に比し其信用一層活潑に行はれ各地方に一層普及す約言すれば一層分散的にして安價となるもの如く思はる。

然れ共兌換券發行の自由又は獨占に關する問題は各國の歴史と其が獲得したる地位と前例につき考慮を飼らして決せらる。

佛國の制度は單一銀行が發行權を有するものにして佛蘭西銀行と稱する有名なる銀行に於て持參人一覽拂の兌換券を發行する獨占權を有す。

兌換券と貨幣との差異——兌換券はこれを嚴格に言ふときは貨幣にあらず然れ共總ての者は滿場一致的の同意を以てこれを受くるものなれば兌換券は貨幣としての役目を果すものなりこれ世人が信用貨幣と呼ぶ所以にして實にそれ自身價值を有する貨幣の特質を缺くものにして亦貴金屬とも著しく異なるものとす何人と雖も少く其例外的ならざる常態に於ては支拂に當り兌換券の受領を強制せらるることなしこれにつきては後に述ぶる所あるべきも世人が兌換券の強制通用力と稱するものなり然れ共吾人は其の欲する所に従ひ銀行の窓口に到り兌換券の償還を求めこれを金屬貨幣と交換し得ることを確保せらるるものなれば見識あり判斷力に富める者は何人たるをとはす確實なる銀行より發行せられたる兌換券の受領を苦痛とするが如き者はなかるべきなり。

佛蘭西銀行——佛蘭西銀行と稱する有名なる會社は第一總督（一七九九——一八〇四）により創設せられ一八〇〇年二月二十日其營業を開始せしが創設時代に於ては非常なる艱難に遭遇せしなり資本金は募集に困難を見たるも三千萬法に達したり同行が持參人一覽拂兌換券發行の獨占權を有するに至りしは一八〇三年のことなりしがこは單に巴里に於てのみ發行したりしなり王政復古時代には各州に自由の銀行設立せられ政府の特許により各其地方に於て兌換券を發行するに至り州立發行銀行はルーアン、ナンボールド、リオン、マルセイユ、リユー、パール、ツールルスに創設せられたり各獨立の存在を有し繁榮を極めたりしこれ等の銀行は一

八四八年の革命後佛蘭西銀行に合併せられたり佛蘭西銀行は其時代の始めに佛國全土に亘り兌換券發行の特權を有するに至れり國家が三四十年間繼續して絶對的獨占權を許與せしものは實に佛蘭西銀行なりしなり最後の許可と云はんよりも寧ろ延期は一八九七年に始まり一九二〇年に終了すべきものなり。

佛蘭西銀行は今日資本金一八二、五〇〇、〇〇〇法を有し株式は一八二、五〇〇に分たれ各株一、〇〇〇法なり且多種の準備金を有し其額四千三百萬法に達す同行は三種の署名を有する商業證券の割引をなすものとす換言すれば同行に提供せらるべき約束手形又は爲替手形は債務者債權者の署名又は約束あるのみに止らず第三者の署名をも必要とし第三者は特殊の銀行たるを通常とし前二者の辨濟資力を保證するものにして第三の署名又は約束は手形の安全に必要なるものとす佛蘭西銀行は佛國國債、國家の保證する佛蘭西鐵道社債、其他各種の證券に對し前貸をなし又地金貨幣に對しても貸付をなし一般の普通銀行取引をも經營し佛國に於ける最高商業及び最高財政の中央金庫たるなり同行は其の資本の大部分を佛國の國債に投資し國家が特權を許容したる報償として政府に對し無利子の貸付をすらしたるなり。

一九一〇年六月十六日に於ける同行の有價證券類即ち同行が割引したりし商業證券にして其手中に在りたるものは八億一千二百萬法なりしが其中三億二百萬法は本店（巴里）に五億九百萬法は支店にありたるなり證券又は有價證券に對する貸付額は五億四千二百萬法に達し中一億五

千五百萬法は巴里に三億八千七百萬法は地方に於てせられしなり金庫現在金四十二億八千四百萬法にして歐州に於ける最大の金塊を有し其計數中三十三億九千九百萬法は今日一般に唯一の優良なる貨幣とせらるる金にして八億八千五百萬法は銀なり之に反し佛蘭西銀行の兌換券流通額即ち世上に流通する同行發行の兌換券の數量は五十億六千五百萬法に上り金庫の現在有する金額に超過すること二十億八千一百萬法なり至在金庫額(金及び銀の)は流通兌換券額の八十四、五%を表し金庫中の黄金は同流通額(兌換券)の六七%を示す割引率は其當時一年につき三%にしてそれ以上は例外に屬したり換言すれば銀行はそれに對する注意と利子と危険とにより商業證券の額面につきては一年三分の率を徴收したりしなり同行に於ては期間九十日以上の證券は受け入れず然して其利率一年三分なるを以て控除額は九十日の手形につき百法に對し約七十五サンチームを割引するものなり以前に於ては同銀行の兌換券流通額の限度五十億法なりしものを一九〇六年の法律により五十八億法となしたり。

佛蘭西銀行は今日に於ては各州に支店を有し又同一州内に於ても往々多數の支店存在し一八七〇——七一年の戦時中には公衆の信用により特に兌換券を發行して獲得したる十五億法を政府に貸し付け依て國家に對し大なる奉仕をなしたりとはいへ一八四八年の改革によりルアン、ナント、ポルドー、リオン、リール、ルハープル、ツールーズの州立銀行の兌換券發行の禁止を見たることは吾人の深く遺憾なりとすところなり何となれば以上述べたる地方は地方商工

業の原動力にして唯一中心組織なりしを以て佛蘭西銀行の地方各支店存在するも完全に之に代はらしむること能はざればなり。

佛蘭西銀行の他に會社組織又は個人組織による多數の銀行ありて佛蘭西銀行が持參人一覽拂の兌換券を發行し得る點を除き同行の行へると總て同様の業務を營むことを得るものとす。

銀行の各種業務——銀行の業務は之を二大別することを得べし一は所謂信用業務にして貸付をなすにあり他は特種の商業即ち取立、支拂、債務の相殺、甲地より乙地に正金を輸送交付する便宜を計るにあり。

銀行業者が其事業を經營するに當りては單純なる資本家が行ふとは全く異りたる方法に依らざるべからざるものとす資本家は自己に屬する資金を處分して最も有利なりと考ふる事業に使用することを得るものなるに銀行業者は單り自己の有する資金を處分するに止まらず預金として他人より受け入れたる資金をも特種の用意を以て使用せざるべからざるなり銀行業者は結局最も有利なる投資を採求するを以て足れりとせず銀行は資本を銀行に貸したる者によりこれが償還を求めらるる地位にあるものなれば資本の使用をなすに當りても何時にても返還を容易に實行し得るが如くせざるべからざるなり。

されば銀行業者は怜悯なる資本家に對してのみ許容せらるべき事業を營むべからざるものとす多數の銀行が破綻の災厄を見たるはこれが區別を知らざるに基因す銀行業は自己の資本以外

を用ゐることなき資本家にとりては有利なるものにあらず資本家が思考するが如き投資は銀行業者に對しては著しき危険を有するものなり資本家に對しては長年月を要する事業、工業的合資會社抵當貸付會社長期の商業又は製造企業約言すれば資本を固定する事業が適當なるなり然れ共銀行業者にとりては以上の如き資本の使用は極めて危険なるものとす預金者として資金を貸與したる者が突然其の返還を求め差立をなしたる場合に於ては銀行業者は之に應ずること能はざればなりされば長期の投資は資本家によりてなさるべく短期の投資は銀行業者によりせらるべきものとす。

土地擔保貸付會社——世人が稍もすれば銀行と混同する大會社は土地擔保貸付會社なり。

土地擔保貸付會社の目的は主として長期往々五十年六十年に達する抵當貸付をなすにあり抵當は一定の不動産に對し登記と稱する特殊の方法により保證せられたる貸付にして良好なる投資なり不動産は貸金擔保の用をなすものにして債務者が定期に利子を支拂はず又は満期日に至り資金の返濟をなさざる場合にありては抵當債權者は抵當財産の差押をなすことを得て全債權額に達する價格の先取特權を有するものとすこの先取得權は同一不動産につき抵當權を設定したる各抵當權者に各登記の順位に従ひて歸屬するものなり不動産の價格は通常一時的の極めて大なる恐慌の場合にあらざれば著しき騰落を見ることなきものなれば抵當債權者が賢明にして不動産價格の一小部分例へば五十乃至六十パーセントの價格に相當する金額を貸付くるに過ぎ

ざるに於ては著しき危険を蒙ることなきなり。

此種の貸付も弊害なきにあらず即ち抵當債權者が切迫して資金を必要とすることあるも貸付には費用を要すること大なるを以て五年十年或は十五年を期間として貸借契約を締結せざるべからざれば貸付期限前に資金の回収を容易になし得ざるの弊害あり又債務履行の遲滞にある抵當債務者に對して抵當債權者が債權の執行を求むるは嫌ふ所なるを以てこれがため嫌意と勞苦を生ずるものなり。

大規模の土地擔保貸付會社の設立はこの弊害を免れしむるものとすこの種の會社は極めて長期の貸付をなし年賦償還の方法によりて償還をなし各人は通常利子の支拂と元金の消却とを同時になし得るなり貸金は借主の不動産上に設定せられたる抵當權により保證せらるる假に平均一年五歩の年賦償還金を規則的に五六十年間支拂ふとすれば抵當債務者は其期間の満了後に於ては全く免債せらるるに至るべし百法につき五歩を支拂ふとすれば四法二十五サンチームは資本利子を二十五サンチームは土地擔保貸付銀行の經營費を五十サンチームは償還金を表すものなりこの組合せ方は返還金の一部分を年々僅に増加しつつ同時に利子の償還を試んとする借主に對しては有利なり。

この貸付が効果を擧ぐるがためには土地擔保貸付會社は兌換券發行又は預金の受入れにより得たる資金を利用するに止らず利子附定期抽籤方法により償却せらるべき社債券の發行によ

り公衆より得たる金額をも利用すべきものとす。會社は社債により資金を得たるものなるを以て其貸付長期なる場合には其社債の償却期間も亦等しく長期ならざるべからず。抵當貸付を好む者は社債券を買ひ或はこれに應募すべく社債券は担保投資としては全く安全なるものにして多くの利益を有し債務者に對しては期日の催告をなし又は差押をなす必要を以ることなく又意外の事情により金銭の必要を生じたる場合には容易に株式取引所と稱する市場に賣却し金銭に換價することを得るなり。されば土地擔保貸付會社は抵當債權者及び抵當債務者に對しても同様の奉仕を爲すことを得べし。土地擔保貸付會社が其固有の職能以外に走るべからざるは最も重要な點なりと言ふべく投機的の商工業及び金融には従事することなく貸付け不動産の評価につきては極めて周到なる注意を要するものとす。

北米合衆國及び英國とは全く異り特權と獨占につきては決定的趣味を有する佛國に於ては佛國土地擔保貸付會社と稱する大會社の設立を許し不動産年賦償還貸付の獨占のみならず抵當權設定貸付及び不確定なる債務者の不動産差押實行につきても特殊の利益を有せしむるに至りしなり。同一の場合に於て土地擔保貸付會社がなし得る手續は他の抵當權者が用ゐる手續に比し敏活にして費用を要すること少し。

農業銀行と證券擔保貸付銀行——土地擔保貸付會社と農業銀行とはこれを混同すべからず前者は土地自體を擔保として貸付をなすものにして後者は收穫中の物收穫物家畜又は農耕用具を

擔保として資金の前貸をなすものなり。この第二種の銀行は農民に流通資本を得せしめ高利を免れしむるに於て重要なものとす。外國に於ては多く設立せられ佛國殖民地アンチユ及びレユニオンの如きはこれを有すれ共不幸にして佛國本土に於ては未だ其設立を見ざるなり。

これに反し有價證券擔保貸付銀行は久しき以前より佛國に於て行はれしなり。されば公債大會社の株券又は社債券の寄託に對し貸付を見たるなり。佛蘭西銀行其他多數の銀行はこれを營めり。動産を擔保として貸付をなす公設質店も亦銀行の一種なり。公設質店が高利なるは事物自然の性質にして概して動産は其價格不定變動的なる外動産の評価及びこれか支拂のなされざる場合に於ける換價には非常なる費用を要するを以てなり。

既に商品貸付殊に原料品綿花羊毛コーヒー等に對する貸付につき一言したるが如くこれ等の商品は通常倉庫又は陸揚と稱する建物内に貯藏せられ倉庫證券と云ふ證券の形式を有するものとす。商品が倉庫内に擔保として寄託せらるゝ場合にはそれが負擔する債務の免除せらるゝ迄は出庫する能はざるものにして商業信用の重要な形式を爲す所以こゝにあるなり。

銀行問題に關する幻想——銀行は種々有益なる作用を爲すものなれども之に對しては多くの幻覺を生じたり。其幻覺の一とも云ふべきは屢々見たるところにして現在の資本を増加するがためには兌換券を無限に増發するを以て足ると信するものなり。十八世紀の初頭に於けるロー案（ロー氏の發案にかゝる銀行制度）及び佛國革命時のアシニアー（不換紙幣）が二重の破綻を招き

又外國に於ても同様の災厄に遭遇せしこと多かりしに拘はらず多數の人は數十億法の兌換券又は政府紙幣を發行して商工業者又は農民に貸付け恐慌を抑制し國民の活躍を發展せしめ得るものなりと信するものあり約二十年以前のことなるか一議員は農民救済策として政府は地主に對し其所有する土地の價格の四分の一の限度までの紙幣を國家の保障の下に發行することを許容すべきものなりとの提案をなしたり下院はこの奇怪なる發案に付き輕卒にも又鄭寧にもこれが考慮に一日を費したるが提案者は如此にして農民は何等の費用をも要せずして二百五十億法を融通することを得べしと思惟したりしなり。

この提案たるや荒唐無稽のものと云ふべく若し吾人がこれを實施したりとせば其の結果如何なるべきか第一かくの如き作用は全く誤れるものにして信用の性質に反するものとす多數の農業者に紙幣を授け又はこれが保證をなしたる國家は其れに相當する正金を所有せざるものなればこれを處分し或は他人に授與すること能はず假に世人が國家を信用し抵當土地所有者の署名と國家の署名とを信賴するとするもこの貸付の目的は土地所有者に對し其の欲する各種商品農耕具肥料手間勞働等價格二百五十億法に相當するものを社會より先取する權利を與ふるなり然れ共一國に存在する貨物の總量は現在又は近き將來に於て豫見せらるゝ需要に基く生産方法に比例して限定せられ又貨物の價格は其の數量と現存の貨幣により決定せらるゝものなるを以て三百五十億法の貨物の需要は通常の規則的なる需要以上に達し新なる二百五十億法の擬貨が出

現することは急激にして極めて大なる價格の昂騰を來すものなるは火を見るよりも明なり總ての物品は以前と比較して三倍四倍五倍六倍十倍以上の高値を示すに至り土地所有者及び農民は毫も實際的に有效なる救済を受くることなく國家市場は攪亂せられ次で戰慄すべき恐慌を來すこと恰も十八世紀の初めに於けるロー銀行或は、佛國大革命時の不換紙幣につきて見るが如くなるべし。

所持者が之を欲する時には何時にても直ちに貨幣を以て償還すること能はざる政府紙幣又は兌換券の發行によりて社會の改良を圖り國富の増進を企てんとする計畫は總て危險なる幻想なりといはざるべからず。

庶民銀行——勞働者及び小商人は銀行の信用を容易に受くること能はざるものにして兩者は銀行より前借を受け得るに充分なる資本金なりと云ふべからず又それ程著名なるものにもあらざるなり同一職業及び同一地方の優良勞働者を相互貸金會社に加入せしめんと企圖は獨逸に於てこれを見る、伊太利に於ては經濟學者シユルワ、デリツチの徳意により小相互貸金會社は最も廣く行はれ各相互に聯合するに至り重大なるものとなりたりこれ等貸金會社の定款は獨逸に在りては時に必要缺くべからざるものとせられ極めて嚴格なるものなり各組合員は貸金會社の持分を豫め引受けこれが拂込をなしたる後にあらざれば信用を受くること能はざるものとす又他の組合員によりて辨濟の保證をなさざるべからざるものとせらる實際に貸金の返還につき

ては確實なる保證を要す獨逸の會社に在りては總ての各員は全持分を以て會社が蒙るべき損失につき連帶責任を有するものなりされば會社は優良勞働者殊に職人及び小商人が原料の仕入をなし又はその店舗等の運轉資金を得るにつき奉仕すること大なり然れどもこの種庶民銀行は先見の明なき人、怠慢の人、實際家たる才幹なき人、架空的計畫に惑はさるゝが如き人に對しては之を利用せしむべからざるものとす。

信用は毫も資本を創設するものにあらざることは常に忘るべからざる點なり若し世人が他人の節約により蓄積せられたる資本に對し信用を興ふるものありとせば資本が之を讓渡せんとする人の手中に存在することを想像するものなりされば節約は信用の基礎をなすものにして信用は節約より廣き範圍を有すること能はざるものとす信用は常に貸付たる資本損失の危險を負擔するものなれば生産事業及び勤勉にして才幹ある人に對してのみ與へらるべきものなり。

有略

第五章 公債

公債の種類、償却——公債の替換——兌換券と政府紙幣の強制通用力——公債に有利なる條件——公債——有價證券取引所
公債の種類、償却——公債は今日尙行はるゝ所にして大なる利益を有すると同時に濫用せら

るゝこと多きは殆んど個人の信用に就きて見ると異なる所なし國家が借入をなすに當り信用を有するときは公債に應ずる者を勧誘し他人に屬する資本即ち下は節約なる小勞働者より上は大銀行家に至る内國資本家又は外國資本家の有する資本を利用することを得べし。

然れ共國家は信用事項に關しては甚しく精細なる手續によるものあり例へば英米の如き國家にありては公債を起すに當り恰も個人に於て見るが如く正確に證券又は債券を發行し一定の時期即ち一度に又は抽籤により定められたる時期通常半年或は一年毎に償還せらるこれ公債の最も優良なる形式にしてこの方法は個人的債務の方法に近似し國家は定期に完済せざるべからざるを以て最も通常なる國家の聲明に従ひ其の債務を減少又は償却すべき義務あることを忘れざるなり。

公債の消却は通常絶へず債務の一部分を年々完了する償還法による定期抽籤方法による債券は償還の最も普通なる形式なり國家が公債の發行をなすに當りては四十年五十年七十年九十年間に償還すべきを決定すかくするがためには借入金に對して年々支拂はざるべからざる利子の總額を計算せざるべからず今假りに利子の總額を百萬法なりと假定すればこれに對して公債の償還に要する期間と契約による利率に従ひ計算したる總額即ち前記百萬法よりは遙に小なる十萬法又は二十萬法を加算するものとすこの第二の總額は債券の消却に充てらるゝものにして此場合に於ては百十萬法又は百二十萬法の年賦償還金が國家の負擔に屬するなり年賦償還金には

毫も變化を見ざれ共前年償還せられたる債券に對して支拂れたる利子は其の債券の償還により
免濟せらるゝものなれば公債の消却に用ゐらるべき部分は年々増加するものとすされば國家は
年々殆んど不變的にして僅少なる犠牲を拂ふに止り四十年五十年七十年九十年の終りに於て公
債を完済することを得るなり。

利子と消却とを同時に包含する年賦償還金制度は佛國に於ける大鐵道會社土地擔保貸付會社
其の他重要な會社の社債券の基礎をなす。

公債の消却が實行せられ國家の債務が漸次完済せらるゝに至るためには國家は通常豫算の財
源により其債務を年々償還し得る用意なからざるべからず即ちこれを租稅又は公産の生産に待
たざるべからざるなり然らずして國家が單に一の債務に換ゆるに他の債務を以てするに於ては
毫も得る所なくして自己及び世人を欺瞞する結果に陥るべし。

國家が負債をなすに當り償還證券又は償却債券の形式によらずして他の方法を以てすること
を得永久公債と稱するものを發行することこれなり佛國國債の大部分を占むるものは此の永久
公債なりとす此制度は公債を發行するに當り應募者に對し資金を一定の時期に償還する契約を
なさずして單に三法四法又は五法の永久年金を得せしむるにあり此制度の弊害とも云ふべきは
國家をして債務の償却に專念ならしめず永久年金は各時代を通じて蓄積せられ國家は到底堪へ
得ざる重荷を負擔するに終る點にあり。

公債の借替——時の狀況に従ひ國家をして他の救濟方法を採らしむることありこれを公債の
借替と云ふ繁榮なる國家にありては通常利率は低下せんとする傾向あるものなることは前に述
べたる所なり又多くの國家は金利高き恐慌の際又は戰時中或は戰後に於て借入をなすことあり
例へば一八七一年、七二年の災厄後佛國に於ては額面百法五歩利附の公債を發行したりしも其
流通價格は八十一二法にして應募者は八十一法につき五法の利得を確實に得たりしを以て拂込
額に對し實際は約六歩の利子を表したるなり其後數年ならずして國家の繁榮確立せられ其の財
政上の信用も高められしかは國家は四分五厘より四歩の利子を以て負債をなし得るに至りしな
り此の有利なる地位を利用して國家は舊債權者に對し百法即ち額面金額の返還を申し込み又は
利子を四分五厘或は四分に減少せしむることを得るなりこの作用は極めて正當なりと言はざる
べからず借替は債權者に對し其の債權を償還するか又は其の利子を低減せしむるか二者の一を
選擇すべき申込なりこれ恰も個人が經營困難なる場合に於て一千法を五歩又は六歩の利子にて
借入れ後に事業の繁榮を見るに至りて債權者に對し四歩又は四歩五厘以上の利子を要求せざる
ことの承諾を求め若し債權者がこれに同意せざるに於ては一千法を返還すべき契約をなしたる
とさも似たり又佛國に於ける法律の規定によれば借替權は反對の契約なき限り永久年金につき
ては其の額面の二十倍を以て買ひ戻すことを得べきものとせらる吾國の永久年金五歩四歩五厘
三步五厘三步のものは國家の意思により三百法にて買ひ戻を爲し得るなり即ち五分利附年金は

借替を了し又四分五厘利附四分利附年金も亦借替せられ一九〇二年には遂に三分五厘利附のものも三分利附のものに借替を實行し次に一八七〇——七一年の戦役後發行せられたる五分附公債も亦借替へられたるなり現在の三分利附公債は一九一一年まで新借替をなされざる保障を受けたるものなり。

國家は其の信用が借替をなし得るに充分改良せられたる度毎に納税者の利益に於て借替を爲すべきものとす北米合衆國に於ては南北戦争（一八六〇——一八六五年）中契約したる六分利附公債をば數次の借換により其利子を半減したりしなり。

兌換券及び政府紙幣の強制通用——不幸にして切迫せる状態例へば戦時中の如き場合には國家は往々にして以上述べたる所と異なる方法によりて負債をなすことあり國家が直接紙幣を發行して個人に對し取引上の支拂として受取るべきことを強制し或は國立銀行より兌換券を以て巨額の前借をなし國立銀行に對しては兌換券の所持人に正金返還の義務を免除するが如しかくの如きは極めて非常なる場合に利用し得べき窮策なれ共危険大なるものとす世人はこれを政府紙幣又は兌換券の強制通用と云ふ強制通用とは異なる法定通用とは國家が其國庫に税金を受け入るるに當り兌換券を貨幣として受領することにあれ共各個人は兌換券の受領を強制せらるることなく如何なる場合に於てもこれを正金と引換ゆる保證をなしたる銀行に提示することを得るなり。

これに反し強制通用に於ては各個人は政府紙幣又は兌換券を現金として受領せざるべからざるものにして何れの銀行もこれに對し正金を以て償還すべき義務を有せざるものとす。

強制通用は金屬貨幣の鑄造を抑壓し物價に對する確實なる測度と安定的標準とを缺如する人爲的の事物の状態を創設するものなりされば國家は貨幣と交換せられざる兌換券の發行を増加せんとする傾向を有するに至るものとす兌換券過大となり信用を失墜するときは價值を變動せしむ兌換券が金に對する名目價值につき毫も失ふ所なきことは極めて稀有に屬すされば金は兌換券に對し額面超過の金額を生ずるものなりと云ふべく此超過額を打歩(Discount)と云ふ打歩は多くの場合に於ては二三步に過ぎざれ共往々にして一割、一割五歩、二割、五割、八割、九割、半、十割に達することあり佛國革命時の不換紙幣(Requisit)につきて見るが如し長靴一足の代金を支拂ふに當りこの不換紙幣を以てするときは數千法を與へざるべからざりしなり。

ある國に於ては強制通用につき大なる弊害を被らずして經過したるものあり佛國の如きは一八七〇——七一年に不換紙幣の發行を爲したるも一八七五年には其の廢止を見たりしなり北米合衆國及びロシアも共に強制通用より脱したり列強中今尙其存在を見るは伊太利及び西班牙にしてこれ等の國に於ては發行したる紙幣を買戻すべき方法を缺き何等確乎たる價值の標準なきを以て内國の商工業殊に外國との關係に於て困難を感ずること大なり。

公債に有利なる條件、公債——國家の債務は私人の債務に於けると異なる所なく其の借入資金

は使用方法の如何により利益あるべく又弊害あるべし私人が蓄積したる資本にして國家が特別の情誼により獲得し其處分を委せられたるものを若し國家が不生産的事業に使用するとせば國家の借入は公衆の富を濫費し人民に損失を與ふるに等しきものなりと言はざるべからずこれに反し以上の借入金が實際の生産事業に使用せらるるに於ては弊害ありと言はんよりも大なる利益あるものと云はざるべからず然れ共この後の場合は極めて稀有なり公債は概ね資本を有利に使用するよりも寧ろこれを破壊すること多し國內に多くの鐵道運河の存在する場合に於て若し國家が殆んど旅客及び貨物なき地方に新なる鐵道及び運河を開通せんがため國債を起すものあればこれ公衆の富を濫費し國民の富を損失せしむるものなり統治宜しきを得たる國家にありては公債を起すこと極めて稀なるものとす。

公債は國民に對する負擔にして公債證書はこれを所有する個人にとりては良好なる財産をなすものなれども國民全體の所得に充當せらるるものなれば全國民の所得は其額丈け減少せらるるものなり公債の重きは租税を重からしめ租税の過重は商工業の隆盛を妨ぐるものなり公債の大なる負擔は國家を憂慮すべき出來事のため左右するに至り通常の場合に於ても其の負擔を重からしむるものなるを以て緩急の際に於ては新なる公債を起すこと極めて困難となるなり。

北米合衆國及び獨逸の如く僅少なる公債を有する國家を佛國の如く終身年金を除くも公債三百十億法に達しこれに終身年金として評價せられたる資金を加算するときは約三百四十億法に

上る公債を有する者に比較するときは前者は漸次優越なる地位を占むるに至るものと言はざるべからず。

有價證券取引所——國家、縣、都市の發行したる公債は多くの會社の株券社債券と同様に取引所と稱する市場に於て取引せらるこれ等は取引所に於て日々投資者による刺戟及び證券の有する信用と不信用との變遷による價値の變動に従ひて交換せらるるなり有價證券取引所は節約家に對し何時にても投資するため證券を買ふことを得せしめ資本金又は公債所有者が資金を必要とするときは容易に證券を換價することを得せしむるものなれば生産を發達せしむるものなりと云ふべしかくの如くにして取引所は資本の節約と利用とを奨励し蓄財を生産の用に供せずして單に死藏するが如きことを少からしむ又取引所は各種證券に對する市場を確保し大企業組織と經營を容易ならしむ以上述べし大なる利益あれ共往々犠牲者を生ずる投機思想を奨励するが如き弊あるを免れざるなり然れ共これに對し周到なる注意を拂ひ犯罪手段の行はるるを除くものは正に政府のなすべき所なり取引市場は凡て詐欺犯罪者を引きつくるものとなすは正直なる人か又は警察官の批評なれ共これ市場の罪にあらざるなり。

第六章 内國商業と外國商業——商業上の恐慌

商業競争——競争に對する例外——商業に關する新舊學說——大商業と小賣商業——内國商業に對する國家の關涉

外國貿易存在の理由——輸出と輸入——爲替相場と其變動——爲替相場の不利なるによる割引率の昂騰——輸出入の關係——商業均衡の理論——此學說の誤謬——其の國人民と外國人との經濟關係につき考慮すべき各種の條件——外國貿易に關する立法——自由貿易——保護貿易——輸入の絶對的自由、禁止、通常課稅率と通商條約——保稅倉庫の機能、公賣商業上の恐慌——其原因と結果——これが緩和策——生産の過剩——商業上の恐慌の喜ぶべき結果

商業競争——交換は人類の間に益々多きを加へ特殊の職業たる商業を生ずるに至れりある種の人は自己の才能と勞力を商業に専用し人類の欲する有要なる貨物の直接生産に従事せず世人の需要を求めこれに應ずる貨物を買ひ込みて集合し常に倉庫内に貯藏し需要者の欲するに従ひこれを提供せんとすれば需要者は自己の欠乏を感ぜる貨物を得るがため長時間努力する必要なく豫め貨物の存在する場所を知ることを得るを以て手數心勞及び不安を省くこと極めて大なり。

吾人は前に商業はある意味に於ては生産的のものなること換言すれば人類の満足と享樂とを容易ならしめ之を増進せしむるものなることを述べたり。

商業の種類は極めて多し卸賣商業準卸賣商業小賣商業仲立商業の如し商業の生命は競争なり世人の競争と稱するものは同一職業に従事せる他の者より出來得る丈け多くの注文と得意とを奪ひ來りて自己に歸せしめんとする勢力なりこれ聰明なる商人が苛酷と忍耐とを以て追求する所にして其結果が通常次の如き二方法によるにあらざればなす能はざるなり世人に對し他の商人の提供し得ざる優良品を提供するか普通品を最も有利なる條件と特に良好なる市場に引渡すかにありされば吾人の言及せんとする例外の場合を除きては商人の競争は消費者にとり極めて有用なるものにして一般に物價を低廉ならしむるものなり。

競争に對する例外——然れ共社會全體に對し其條件が等しく好都合なる場合に於ては常に競争を生ぜざるものなり事物の性質上産業に於ける生産者の數が制限せらるる場合にありては協調するか世人の所謂販賣同業組合を組織するか二者其一を選択せざるべからざるなりされば同一方面を走る二條の鐵道線路第二流地に於ける旅館同一地方に存在する蹄鐵工場一定の目的港に於ける船舶所有者の如きは相當の儲けを舉げ得る標準以下の賃銀には低下せざる協約をなすものとす同一地方に於て同一の職業に従事する人の贊同による販賣同業組合又は同一地方に於ける競争の禁止はこれを永續して維持することは極めて困難なるものなり必ずや同業組合者の中より脱會者を生ずるか若し脱會者無き場合に於ても代價高く販賣者の利益極めて著しきときは組合外より新なる競争者出で來り代價を低廉ならしむるものなり歐米間海底電線事業の如

き獨占の容易なるものに於ても新なる海底電線を敷設する新會社の設立を見ることなくして多年間高率の料金を支持することは常に不可能なりと言はざるべからず。

商業に關する新舊學說——商業の觀念も亦一世紀以來變化し其意義は消費者に對し有利なるものとなれり商業に關しては新舊兩學說あり舊學說は限定せられたる事業の總額より見て商人をして出來得る丈け多くの巨利を博せしめんとするものにして僅に十サンチームの儲けあるをこれに十五乃至二十回取引する方結局は總額に於て有利なる理なれ共これを好まずして寧ろ一の取引により一法を得んことを欲するなり舊學說の最も顯著なる例は十七世紀の和蘭につきて見るべくオセアニア、モルク、アンボアンヌ等の香料島に於ては丁子肉豆蔻の耕作を制限し依て人爲的に商品の數量を局限し非常に高價のものたらしめ販賣力を維持せしめんとしたりしなり。

商業に關する近世學說は前例と異なる貨物を無限に夥しく販賣せんがため各貨物に對する利益を甚しく減少せしめんとするなりこの理論は商業上の言葉使として「予は百萬長者の爲めよりも寧ろ百萬人のために働かんと欲するものなり」と云ふ英國人の措辭に於て見ることを得べし佛國に於ても亦有名なる表情的の成句「薄利」に其意を表せり商業に關する近世學說の正當なることは經驗に徴するも寔に明白にしてこの學說は消費者にとりて大なる利益を與ふるものなり。

大商業と小賣商業——以上の新學說を最も良く鼓吹せる營業所はバザー（勸工場）と名けるるものにして小間物及び家具類を販賣する大店舗なり。

この大店舗は小商人たる小賣商人及び中商人の側より大なる批難を受く然れ共其利益を極めて大にして各種の商品は同一建物の中に集めらるるを以て買手は時間の損失を免る商品には何人も他と混同せざる知名の店舗の商標が貼付せられ信用を維持し得る聲價を有するにあらざれば大店舗は繼續的に繁榮する能はざるものなれば買手が長日月を経過するにあらざれば識別に困難なる商品の偽造と贋造を除くことを得べし殊に大店舗の獲得する利益は一貨物につき二三歩最高四五歩に過ぎざれば往々著しきことある小賣價格と製造價格との間に存する差を減少せしめ又世人の掛買をなす惡習を避けしむることを得るなりされば大店舗は進歩的の設備にしてこれを廢止せんとするは無分別なるものと言はざるべからず唯實際問題として調節すべきは小中商人は大競争者に比し往々過重なる課税を負担せしめらるることなきやを究むべきなり然れ共この問題は嚴格に衡平の觀念を以て解決すべきものにして人爲的の念を以てなすべきものにあらず小賣商に對して偏頗なるが如きことなく全く埒外に立ちて解決せざるべからざるものとす。

前述したるが如く商業はそれ自體生産的なるものとするも優良なる商業組織が必要なりとするよりも多數の商人を生せしむことありこの傾向は教育と生活の程度高き國民に於て見る小賣

商人の數過多となるときは小賣商人は多くの費用を要し其營業により家族を扶養せざるべからざるがため多數の小仲介業者の存在により貨物の價格を躍り上ぐることとなるなりこれ佛國の獸肉商及び麵麩商につき見る所にして一八五四年に於ける巴里の麵麩商人の數は六〇一人なりしか一八八〇年には一五八六人を超過するにやれり即ち一八五四年には人口一八〇〇人に付き一人の麵麩商を有したるが一八八〇年に至りては人口一三二〇人に付き一人の麵麩商を見るに至れりこれと同様の間隔を以て製粉の價格と麵麩の價格との差異は著しく増加したり麵麩商人の數が過多なりしこととこれ等の人の生活難とが價格増加の唯一の原因なりとなすべからざるは明なれ共これ等が興りて力ありしことは争ふべからざる所なり獸肉商につき見るも亦同様なり小賣商人が無限に増加したることは商品の價格の値上げと其の偽造及び變造をも生ぜしむるに至れり又貨物の製造につきて見るも競争は通常の結果として生産品の廉價を確實にするものなれ共常に必しも品質の優良なるものを生ぜざることは世人の知る所なり小賣商人の數過多なるときは商品の廉價に對し危害を興ふると等しく品質をも粗悪ならしむるものとす。

以上述べたる所は競争の憂ふべき傾向なれ共精力を有し活動的なる社會にありては競争はかくの如き不吉なる結果に對し消費者を庇護する自然的反動を獎勵することを得るなり。

内國商業に對する國家の干渉——國家は世人に對し大なる利害ありと看做すべき總ての商業又は其中のある種の商業につきて小賣商人の數を制限するがため干渉をなすべきものなりとの

結論を爲すは不可なり國家の干渉は多少近視眼的にして專斷に走り拙劣なるを常とす正式なると不正式なるとを問はずパン肉類の如き商品の價格率を定むることはこれを實施して其目的を充分に達する能はざるに終る。

卸賣商又は小賣商の弊害に對する救濟策は社會をして自然の儘に放任し自由に活躍せしむるにあり大店舖組織は前述したる理由により明なるが如く貨物の生産價格と賣價との差の大なるを避けしめ又商品の偽造を防止するに付き最も有効なる方法なり五十年前より衣服及び日用の家具につきて行はれたるが如き鞏固誠實にして尊重すべき大店舖を食料品に關する商業につきても組織し得るに於ては大なる福祉を齎すものと云ふべし。

大店舖の外に推奨すべき制度は消費組合なり世人はこの言葉により相當の資金と店舗を有し現金を以て薄利の偽せ物にあらざる貨物を買ひ得る小同盟者より成る消費者の結合を想起するならん吾人はこの種の組合につきては既に前に一言したる所なり各種の組合が廣く行はるるに至るは誠に望しきことと言ふべし組合の行はるる所は單に食糧品のみに止らざるなり世人がシンジケートと稱する組織の組合は共同して各種の貨物例へば農業用肥料職人の原料等の買入をもなし得るものとす。

大店舖又は消費組合がある程度まで小賣商人を驅逐することありとするも悲しむべきことにはあらず仲介者の數が生産の分配に必要な數に超過するときは仲介者は最早や生産的の用を

なさざるなり小商人の中において驅逐せられたる者は商業的機制を攪亂することなく過多を訴へられざる筋肉を主とする職業労働者手工業者職工の如き直接の生産者たるべき職業に従事すべし。

實に天は自ら助くる者を助くとの格言の如く社會はそれ自體に於て聰明なる構成によりある程度まで物價の高騰と偽造生産物に對する救済に必要な方法を有す然れ共偽造生産物に關しては法律の干渉は正常なりとなすべく國家は水を加へたる牛乳、水にて割りたる酒類、乾葡萄を以て製造したる葡萄酒人工乳酪と稱する牛酪を模造したる動物油等の販賣を禁止することを得べし又國家は販賣人に對し商品の性質を欺罔すべからざること及び商品につきて其固有の名稱を付せざるべからざること強制する權利と義務を有す人工乳酪を牛酪と名け水を混じ又は乾葡萄を以て釀造したるものを自然葡萄酒と稱して販賣することを禁止すべく販賣商品につき其の性質を偽りたる者に對しては刑罰を課することを得べし然れ共細密に過ぐる法規により禁止するは其實行を期し難し人類に對し有害なる商品例へばある種のアルコールの如きものにして明に社會の秩序を亂す場合には其販賣を禁止し又は制限することを得然れ共これが遵守の程度問題に至りてはこれを自由に使用せしむるも無害なる場合又は少く共其個人に對し害あるに止り社會全般に害を及さざる場合に於ては嚴格なる清教主義によりこれを防止すべきものにあらざるなり。

内國商業は同一國內に於て完了せらるるものなれば到る所絶對に自由なることを許さざるべからず往時存在したる甲の洲より乙の洲に貨物を移轉するに當り徴したる通行税又は橋賃と稱するものは佛國革命以來廢止せられたるが何人と雖も今日これが復活を希望するものはなかるべしされば國內市場は自由と連帶によりて支配せらるべきものなり。

内國商業存在の理由——内國商業は國際貿易即ち外國人となす取引とはこれを同一に論ずるべからず一國の領域廣大にして富強なるときは毫も缺乏を感ずることなく絶對的に自足自給することを得自然又は歴史的或は經濟的經歷が齎したる領土的分業につきては既に前述したる所なり一國には必ず自國に於て生産するよりは消費する方を利益とするある種の貨物あり例へば英に於ける葡萄酒、茶、コーヒー、綿佛に於ける茶、コーヒー綿の如しこれ等の商品を英佛に於て生産することは困難なりと云ふべくこれが生産を試みんとするは無分別なりと言はざるべからず尙ある種の商品はこれが生産絶對的に不可能なりと云ふにはあらざれ共生産困難なるか又は不充分なるものあり英に於ては肉類、小麦、牛酪、羊毛の生産潤澤なれども自國に於て供給せらるゝよりも遙に多くを消費するなり佛に於ては錫、鉛、銅、亞鉛は殆んど生産せられず鐵石炭に至りては其生産充分なりと言ふ能はざるなり佛に於てこれ等の礦物の生産の發達を計らんとせば非常なる努力を要し然も其費用莫大なり以上の如き我國に缺乏せる商品は外國より買入れ外國人の求むる貨物にして我國が卓越し廉價に供給し得るもの、製造に従事するを以て利あ

りとす遺傳的又は傳統的に得られたる才能も亦土地の自然的生産の相違に於て見ると等しく外國貿易の必要を生ずれば凡ての狀況より觀て佛人は生糸製造業及び巴里製小間物の名によりて知らるゝ各種商品の製造に於て卓越すこれに反して普通商品たる綿糸の製造に於ては成功を見ざるなり英人にありては其狀況全く相反し木綿製の並織物並糸は安直に生産することを得れ共生糸製造業に於ては成功せざるなり其結果佛人は生糸及び巴里製小間物の生産を盛にし巴里製小間物又は生糸を交換的に英人に與へ英人よりは綿糸又は太織物を買ふを以て利益あり兩國民は各自の才能及び習慣に適合せざる職業に強制せらるゝことなく自己が卓越せる生産事業に局限せらるゝときは其努力と犠牲を拂ふこと少なきを以て各満足するものとす。

此外國貿易が有用なる一場合は一國が通常の狀況に於ては容易に生産し得る重要商品が偶然の事情により缺乏を告げたる場合に於て見る所にして例へば通常一國が自己の土地より小麦の如き食料品を生産し得るも收穫の不作又は饑饉によりて襲來せらるゝ場合の如し穀物の價格は大なる比例を以て上騰し國民中富裕ならざる階級に對し苛酷なる苦痛を與へこれがため死亡率を増大することあり外國貿易は國民をしてこの苦痛より免れしむる作用を有す天災は各國民を同時に見舞ふものにあらざればこれが打撃を蒙りたる國の食料品を補給するがため節約したる國は其商品を生産することを得べしされば外國貿易は饑饉と窮乏に對し保證をなすなり且外國貿易は文明國をしてこの恐るべき天災より救ふものなれば其奉仕たるや決して少しとせざるなり。

なり。

輸出及び輸入——外國貿易は二種の行爲に分解することを得賣買これなり賣ることは輸出と名付けられ買ふことは輸入と稱せられ一國が貨物を外より買ふときは輸入にして一國に入らしむるものなり貨物を外に賣るときは輸出にして即ち貨物を國外に出さしむるものなりされば吾人は北米合衆國より綿、石油時には小麦、鹽肉を輸入し、北米合衆國に對しては生糸、美術品、巴里製の小間物等を輸出するなり。

輸出と輸入は相互連絡す吾人が北米合衆國に其對價として貨物を交付するか又は吾國の債務者たる或る國に對する債權をこれに與ふるにあらざれば同國より商品を買入るゝこと能はざるべし吾人は實に吾が買入品に對し外國人に貨幣又は金銀の地金を以てこれが支拂をなすことを得然れ共此の方法は遂に貨幣の缺乏を生ぜしむるに至るを以て無限に永續せらるべきものにあらず。

爲替と其變動——外國貿易に於て用ゐらるゝ貨幣及び金銀の地金は僅少なり輸入生産に對し實際支拂はるゝものは事物普通の狀態に於ては輸出生産品を以てせらるゝものとすこれ生産物は生産物に對して交換せらるゝものなりと言ひ得る所以なり爲替と呼はるゝ極めて微妙なる作用により一國が他國に對する支拂をなすに當り貴金屬又は貨幣の最少量を移轉して何時にてもこれが決済をなすことを得るなり。

一例を挙げんか佛國は英國より綿糸、絹織物、羊毛、麻布、石炭、器械等を輸入し佛國は英國に葡萄酒、絹織物、巴里製小間物、牛酪、鶏卵其他の商品を輸出す二國間の支拂は如何にして行はるべきかこれを會得する爲めには吾人が前に説明したる爲替手形の作用を参照せざるべからず爲替手形は外國貿易に適用せらる。

吾人に綿糸、絹織物、石炭器械を賣却したる英國商人は買主たる佛國人に對し爲替手形を振出す換言すれば其賣價限度の金額を一ヶ月、二ヶ月、三ヶ月後の日附に支拂ふべきことを命ずるなり他方に於て英國人に葡萄酒、絹織物、巴里製小間物、牛酪、鶏卵を賣りたる佛國人は英國人の買主に對し賣價限度に等しき爲替手形即ち金錢支拂命令を振出すものとす。

されば佛國には英國に對し振出されたる數億法の爲替手形あり他方英國に於ては等しく佛國に對し振出されたる數億法の爲替手形あるなり綿糸織物、羊毛、亞麻布、石炭、器械を賣りたる英商人に對し買主たる佛商人の債務を決済するため佛國より英國に數億法の金を運搬し次に英國人の買主が葡萄酒、絹織物、巴里製小間物、牛酪、鶏卵の賣主たる佛國商人に對する債務決済のため佛國に數億法を運送するが如き方法を採るべきか。

此の支拂方法は一見單純なるが如きも實際に於ては巨額の費用を要し多くの危険を伴ふものなり金銀は面倒ならざる貨物なりとは言へ之が運搬には多くの費用を要し盜難詐欺に對し大なる注意を以て警戒せざるべからず又航海中の難破過失により損失を蒙ることなしとせず次に

佛國より英國に、英國より佛國に航海中金銀を引き出されたる國に於ては支拂用具としての金額の量に不足を告ぐることとなる況や遠隔の國に於ては更に甚しきものあらん。

亦商工業上の單純なる利益は二國間の支拂のために出來得るだけ金屬貨幣を用ひずして濟まざしむることを得るなり今茲に其が如何にして行はるゝかを述べん吾國は絹織物、葡萄酒、巴里製の小間物を買ひたる英人より數億法を受取るべきも又他方に於て吾國の商人が英國の織物商、石炭器械商より買入れたる商品に對し英國に數億法の支拂をなさるべからず此の双方の金額は少くとも或る部分迄は相殺をなすことを得るなり佛國に於て仕入をなし從て佛國に對し支拂をなさるべからざる英商人は佛國に商品を賣却し從て佛國より支拂を受くべき英の同業者より後者が佛國商人に對して有する爲替手形を買入れ佛國の賣主に對し他の佛國商人に對する爲替手形を交付するならん商品を買入れたるが爲め英國に對し債務者となりたる佛國商人は亦他の佛國商人が英に對し商品を賣却したるがため所持する英國宛爲替手形を買入れ佛國商人の債務者たる他の英國商人によりて裏書せられたる爲替手形を以て英國の債權者に對する債務の決済をなすべし。

換言すれば葡萄酒商、絹織物商、巴里製小間物商にして英國に對し債權を有するものは石炭器械絹織物買入のため英人に對し債務者となりたる者が英に支拂はざるべからざる爲替手形を支拂のため受領するなりこれに反して絹織物、器械、石炭を賣却したるがため佛國人に對し

債權者たる英國商人は葡萄酒、巴里製小間物、絹織物を買入れたるため佛人に對し債務を負担する他の英國商人が支拂義務ある爲替手形を其の支拂に受領するなり爲替手形支拂の義務ある債務者中無資力者ある稀有の場合を除きては兩國が相互に有する債務額が同等なる限りは一の貨幣又は地金を英より佛に佛より英に移轉することなくして英佛間の支拂は決濟せらるるものとすかくして吾人は金屬貨幣を移送する不便を避くることを得るなり。

然れども二國の債務が相互に對等額にあらざる場合多し予の想像する處に依れば佛國は英國に對し英國が佛國に對してなすよりは更に多く支拂をなすならんされば爲替手形による相殺は完全に行はれざるなりこの假定によれば佛國商人の一部は英國に對し佛人が英國の債務者に對し振出したる爲替手形を以て支拂を實行すること能はざるべし佛人中の或る者は其の支拂を完了する爲め英國に金屬貨幣を輸送せざるべからざるなり然るに前に述べたるが如く佛國より英國に金屬貨幣を輸送するには運搬費用及び損失並に盜難の危険に對する保險を要するを以て一定の價格を生ず。

此の價格を假に運搬貨幣價格、五歩とせよ英法貨は磅にして二十五法二十一サンチームに相當する金の重量を包含す佛國に於て英國に對する磅爲替手形を買入るゝ時に其價格一磅二十五法二十一サンチームなる限りは磅は平價なりと云ふ其意味は英貨一磅を受取る約束をなすは英貨一磅中に包含する金の總量を明に支拂ふことなり。

一定の商業地に於て他の商業地に於ける金屬貨幣又は銀行貨幣信用貨幣の一定量を買入る價格を爲替相場と云ふ佛國に於て英國の兌換券又は爲替手形を買ふに當り其價格二十五法二十一サンチームにつき英貨一磅なるときは爲替相場は平準なりと云はる英國に對して佛國の有する債權が英國が佛國に對して有する債權と等しきときは佛國に於ける磅の相場は永久に平準なり。

然れども吾人の取りたる假定に於ては佛國は英國が佛國に對して有するより多くの債務を有するを以て佛國の商人は金屬貨幣の輸送に要する費用と危険を節約するため英國手形に對し平價より少し以上の代價を支拂ふことに同意するならん、正貨輸送の費用は保險料を含みて五歩即ち一磅に付き約十二サンチーム、六〇に相當するを以て佛國商人は英國手形に對し二十五法二十五サンチーム、二十五法三十サンチーム又は二十五法三十二サンチームを支拂ふべし大英國に正貨を輸送するよりは常に利益あればなり其利益は約二十五法三十四サンチームに達するまでは止まらざるべし英國に正貨を輸送する費用は五歩にして且一磅の平價は二十五法二十一サンチームなればなり。

英國宛手形又は爲替手形が佛國に於て平價以上に賣らるゝときは英國手形は高しと云ひ又は爲替手形は英國に有利なりと言はるこれ佛國が英國より受くるより以上のものを佛國は大英國に向ひて支拂はざるべからず要言すれば佛國は大英國の債務者なることを表すなり。

反對の假設を生ずべし即ち英國は同國が佛國より受取るべき同額以上の支拂を佛國に對しなさざるべからざることありされば佛國にありては英國宛爲替手形極めて潤澤にして佛國が大英國に支拂ふべき總額に超過するときは英國宛手形は吾國人により殆んど求められざるに至り流通困難となる一磅二十五法二十一サンチームなる平價によりては取引せられざるに至り二十五法十八サンチーム二十五法十五サンチームは或は二十五法十サンチームにあらざれば買手を發見する能はざることあるべしこの場合に世人は英國の爲替手形は安し又は英國に對して不利なりと云ふ。

爲替相場の平準とは二國間の債務は正貨の運送をなさずして相殺し得らるゝことを意味するなり爲替相場がある國に對し有利なりと云ふは相場が平價以上にありて其國は明に他國に對して債權者なることを示すものにしてある國に對し爲替相場が不利なりと言ふは平價以下なることを意味し該國は他國に對し債務者なることを證するものなり。

吾人は今孤立せる佛英二國につきて見たるなれども一國家は單に他の一國家と商業上の干係を有するにあらずして殆んど地球上の總ての國と干係するものなれば實際に於ては極めて複雑なるものとす例へば佛國は商業上英國の債務者なれ共和蘭に對しては債權者にして和蘭は又英國の債權者なる場合あるべし然らば佛國の和蘭に對する手形は我國に潤澤にして英國人により求めらるゝと假定せば和蘭宛手形を英國に讓渡し佛國の英國に對する債務の全部又は一部を辨

濟することを得べし。

爲替相場は極めて微妙なる器具にして普通最小限度の比例を以て絶えず變化す、爲替相場は常に一國の銀行業者又は商人に對し一國が他國に對して有する債權及び債務の地位を明にするものなり。

不利なる爲替に對する割引率の高騰——外國に對する爲替相場甚しく上騰し極めて不利なるときはある國の商人は他國の商人に對し一片の爲替手形によりては全く債務を決済すること能はざるを以て多量の金は國外に輸出せらるるれば大銀行は世人の取引する商業證券に對する割引率を引上げるに至る換言すれば銀行は一年三分又は三分五厘なる通常利率を以て券面價格より先取して控除額を建てずして一年四分或は五歩六歩七歩の標準に共きて控除額を定めんとするなり佛蘭西銀行及び英蘭銀行の割引率は一八六六年の恐慌に於ては數週間九歩乃至一割に達したり、今日に於ては財政組織は往時に比し極めて屈伸力に富むに至りしを以て吾人は最早や以上の如き法外なる割引利率に頼る必要を感せざるなり銀行の割引利率引上の目的及び効果は通常 (一) 取引者が取引契約をなすことを減少せしめこれを慎重ならしむ (二) 取引者にして債權國に對して貴金屬を輸出する以外の方法により債務を辨濟せしめんとして所謂國際的有價證券の換價によらしむ換言すれば亞米利加伊太利イスバニア等諸國の株を以て世界の主要なる財政市場に於て相場を立てしむるなり (三) 特に金屬貨幣の形により外國の資本を吸収す資

本は他國よりも最も報酬高き國に移るものなれば年利一、二歩乃至三步高き時は其國に取入れらるゝものにして銀行業者は報酬最も低き國より最も高き國に資本を移すを以て有利なりとす。

されば外國爲替相場の昂騰に依る割引利率の騰貴はある國が他の凡ての國に對する債權債務の均衡を建つる方法なり。

輸出及び輸入の干係、國際貿易均衡理論——これが説明は各國間に採用せられたる法規の手續を解説する上に必要なり然れ共更に高等なる問題は國民的組織全般に亘りて利益大なる點にあり一國民が其の國の生産品を外國に賣ることを輸出と云ひ外國商品を買ふことを輸入と名く一國が他國に對する輸出入の望ましき割合は孰れが多きを以て可とすべきか往時善く行はれたるところにして今日も尙偏見なる俗衆により主張せらるゝものは常に輸出が輸入に超過せざるべからずとなすものなり世人は一國が外國貿易に於て首位を占め外國に對する債權者となり一國に存在する貴金屬の數量を年々増加する金屬貨幣により其債權が支拂はるべきことを必用なりとせしなり尙世人は附加して曰く一國は自滅することなくして多年間輸入を輸出に超過せしむること能はず何んとなれば此場合に於ては年々貴金屬を輸出せざるべからざるを以て一定年月の後には其國は金屬の富を失ふべければなりと世人はこの學說に對し外國貿易均衡の學說なる名稱を附したり、世人は輸出は輸入に超過したるときは均衡は有利なりと考へ、反之輸入が

輸出に超過するときは外國貿易の均衡は不利なりと言ふなり。

此學說は一見正常なるが如きも誤れるものにして事實の觀察不完全なるによる十九世紀が此の學說に對し與へたる經驗は之を否認して餘りあり。

世界に於て最も富める國家とせらるゝ英國は少く其半世紀以來最も規則的に輸入が輸出に對して著しく超過せしなり一九〇七年に於ては英國の輸入は一百六十一億四千五百萬法に上りしも輸出は僅に一百二十九億五千法に過ぎず爲めに輸入の輸出に超過すること三十一億九千五百萬法の巨額に達し一九〇八年には輸入に對する輸出の超過は三十四億三百萬法にして一九〇九年には三十八億七千五百萬法に達したり故に若し外國貿易均衡の理論が眞なりとせば英國は僅に以上三箇年にして外國貿易により約十五億の損失を蒙りしなり然かも英國は六十餘年以來規則的に輸入が輸出に超過したるを以て十九世紀以來英國は輸入超過の第一位に位し百億法以上を失ひ自己が處分し得る金貨は一も有せざるに至りしなり然れども經驗は英國が其の繁榮を阻止せられざりしことを證して餘りあるなり佛國は通常輸入が輸出に超過する程度英國に比して低く一九〇七年には六十二億二千二百萬法の貨物を輸入し五十五億九千六萬法の貨物を輸出せり輸入超過は六億二千六百萬法なり、一九〇八年には輸入(五十六億萬法)が輸出(五十億五千萬法)に超過せしこと五億九千九萬法なりき一九〇九年には輸入(五十九億七千二百萬法)の輸出(五十五億一千一百萬法)に超過すること四億六千六百萬法なりしなり外國貿易均衡の原則が眞

理なりとせば佛國は三箇年に外國貿易により十六億七千七百萬法を失ひ佛國の有したる貴金屬はその額丈け減少せしなり然るに亞米利加合衆國を除きては何れの國も佛國程多くの金銀を有せざるなり一九〇〇年より一九〇九年に至る十箇年間に於ける佛國の輸入は五百十億六百萬法に上り輸出は四百七十三億六千九百萬法に達したるを以て三十六億三千七百萬法の輸入超過となりたれ共國家は毫も其苦痛を感ぜざりしなり。

外國貿易均衡の理論の誤謬外國との經濟關係には各種の要素を考慮せざるべからず——外國貿易均衡の誤謬を來せしは重大なる一定の條件を看過したるによる第一、輸出は貨物の生産及び國外に出づるとききの價格を表するものなれば佛國の商船によりて輸送せらるゝ場合にはこれに其の國の船舶による運送費及び保險料取次人仲立商商人の利益をも加算せざるべからざるなり之に反して輸入は港灣内の着荷費をも計算するものなれば費用の大部分は既に支拂はれたるものにして輸入貨物の價格中には外國商品は佛國商船により輸入せられ佛國の保險に附せられ佛國の仲立業者により取扱はれたりとせば内國商船内國の保險業者内國商人の利益をも含む譯なり以上の條件に鑑みるときは輸出人の實質上の差は外見より著しく減少せらるゝものなることを明にすべし。

猶計算に入れざるべからざる他の條件あり公然行はるゝ輸出入の外に隱密の輸出入あることこれなり奢移品の生産につき他の國々に比し大なる名聲を有する古き文明國にありては隱密に

行はるゝ生産品の輸出は隱密の輸入に比し極めて重要なるものとす佛國には年々富裕なる一萬人の外國人が觀光のため來りこの内多くの者は佛國より寶石、美術品及び流行品等個人的使用のものを以て充滿せらるる行李を輸出す而してこれ等の個人的使用のものに對しては税關によりて課税せられざるなり佛國に於けるこれ等隱密の輸出品は明に數億法の價額に上るべし。

第三に特にこの半世紀以來國家間の關係は唯に普通の商人としてに止らず通常資本家としての關係に立つことを注意せざるべからず古くして富める國例へば亞米利加合衆國佛國和蘭の如きは節約の結果多大の資本を生産す而してこの資本を國內に使用するときは多くは其報酬少きを以て新興國又は貧弱なる國々に多額の貸付をなすこれ等の貸金は外國公債國債又は外國會社の債券の買入れ或は新興國又は貧國の企業を起して外國政府又は外國會社の負債を引き受くるなりかくして英、佛、蘭、北米、南米諸國並に亞細亞の歐各殖民地、エヂプト、ヨーロツバ、ロシア、オーストリー、トルコ、イタリア、イスパニア、ポルトガルに貸付くる所以なり以上の投資中或るものは良好に或るものは平凡に或る者は失敗に終る然れども何國にして富める者は他の殘餘の國に對し債權者となり年々資力ある外國債權者より貸金の利子を受くるものとす世人の計算する所によれば大英國は外國又は殖民地に投資せる資本より年々二十五億法の年收を受け其の資本は六百億法を超ゆと言はる佛國は外國又は外國に設立したる企業に對する投資に依る同種の貸金より少く共十五億法（それよりも多からんか）の利子を年々得ること明なり佛國

に對し一年七千萬法の利子を生ずるスエズ運河の一例を擧ぐるも尙充分なるべし、ロシア、オーストリア、イタリヤ、イスパニア、ポルトガル、トルコ、エヂプト、南亞米利加等の國庫證券及び會社債券は佛國の外國に對する年收十五億乃至十六億法を補ふものとす、貨物の輸出及び輸入の間に實際の差を混亂せしむる種々の條件あるは明なり。

次に文明完備精練せられ且他國に於て見る能はざる自然の恩恵を有する國はこれを憧憬する富裕なる外人の群の觀光を促し或は其居を構へしめんとするに至らしむ例へば佛國につきて見れば巴里の美しき都、地中海岸の避寒地、大西洋岸又はマルシユの海水浴場は富裕なる外人を憧憬せしめて其地に外人の所得を消費せしむ此等の所得は外國より入り來る自發的謝禮の一種として我國の財源を補足し、貨物輸出入間の距離を混亂せしむ。

されば古く富める國にありては貨物の輸入が輸出に超過するとするも其の投資により全世界の債權者となり得るを以て恐るる必要はなきなりこれ自然の現象と云ふべく他國に對し債權者にあらずして他國の債務者たる新興國又は貧乏國に於ては然らざるなり輸出が輸入に超過するも英領印度の如きは英人によりて投資せられたる鐵道又はヒンドスタン地方の工場及び英商人の利益に對し毎年巨額の金錢を支拂はざるべからざるなり一九〇七年印度の輸出は二十九億一千萬法に上り輸入二十六億七千萬法に超過すること二億四千萬法なりしなり、一九〇八年印度の輸出(三十億一千六百萬法)の輸入(二十九億五千萬法)に超過すること六千六百萬法なり

しなり假令半世紀以來大ならずとするも常に輸出は輸入に優ると雖も印度は貧弱國として残り印度は自己が與ふるより交くる所少く輸出の大部は英國の債權者に對する支拂の用を爲し毫もそれに相當するの報酬を與へられざるなり。

されば外國貿易平衡の理論は誤れり、一國が外國に對し果して債權者なりや債務者なりやを知るには唯に貨物輸出入の數字のみに頼るべからざるなり此點に關し正確にして迅速なる指示を與ふるものは獨り爲替相場あるのみ。

外國貿易に對する立法、自由貿易及保護貿易——一國は外國貿易に付き如何なる規定をなすべきか絶對的自由に放任すべきか輸入を制限し輸出を奨励するに努むべきか、自由貿易制度を主張するものは次の理由による自然は國の異なるに従ひ特殊の生産物を與ふるものなれば國家が自然に反するは不可なり或る國に於ては石炭坑鐵坑に豊富にして冶金術鑛物を以て他國に優る運命を有し又他の國は同一の状態にあらざるを以て其の國と等しき優越なる地位を克ち得んと努むるも無益なるべし一國は其自然又は人種の才能に或は單に習慣又は傳統に於て有利なる貨物の生産に其勢力と資本とを用ゐるを以て優る例へばある國は葡萄の栽培奢移品又は美術品の如き精製工業の發達をはかるときは同一の努力によりて更に大なる結果を得べし其國になき生産物は交換によりて得らるべきを以て自國が卓越せる職業を放棄して自ら缺如せる生産物を製造するよりも却て利益多し論者は主張して曰く自由貿易の他の利益は國際間の競争は産業及

び労働者を奨励する上に於て絶對的に必要なものにしてこの刺戟なきに於ては産業及労働者は共に惰眠を貪り遂に廢頽するに至るべしと。

國內市場は主たる産業に對しては極めて狹隘なるものなれば法律が凡ての外國の競争に對し保護を與ふるとするもこれが經營は容易ならざるなり保護制度は外國品を禁止するものなるにせよ少く共外國品に對し重税を課するものなるにせよ長くこの制度を採るときは必ず産業は麻痺するに至る。

凡て外國品に課せられたる關稅は其の外國品を自由生産の要素とせざるべからざる國內産業に課税するに等し例へば外國綿絲に對する課税は凡て良質又は廉價なる外國綿絲を必要とする國內織物製造業に不利益なるべし外國の鐵に對する課税は通常其の國の鐵を高價ならしむるを以て器械製造業者又は農業者等に不利益なりされば保護制度は或る種の産業を保護すること換言すれば外國との競争を免れしめ外國生産品を必要とする他の産業を困難ならしむ。

以上の議論は剴切にして論理的なるものなるが自由貿易制度が理論上に於ても又實際上に於ても眞理を有し國民の活動力を刺戟するに最も適切なることにつきては一點の疑なき所なり保護貿易論者は國民は主たる産業及び食糧品につきて外國に倚賴すべからざるものとなすこの議論は歐洲各國の現状に見るが如く軍事即ち大砲銃器軍艦の製造に關する點より見れば寔に其の言の如し然れ共この理論はこれを極端に擴張すべからず保護貿易論者は又保護貿易は外國品の

競争に對する保護を撤回するも自國の産業がこれと對抗して發達するまで數年間外國品に課税し國民を教育するものなりと論ず(然れどもこの理論は課税に對する理由をなすに過ぎず)何んとなればこの理論を正確なるものとするも保護制度は一時これを必要とするに止り十年、十五年或は二十年後には消滅せらるべきものなりとの結論に到達すべければなり以上の如く考ふるもこの理論は猶吾人を欺くものと言はざるべからず一國民が同時に其生産を發達せしめ其結果最も自己の適當とする生産を等閑に付することは喜ぶべきことにも又利益あることにもあらざればなり。

自由貿易が自然の性質に適し科學的なるものなりとするも吾人は凡ての關稅を直に廢止せざるべからずとの結論には達せざるなり少く共過渡期及び變動期間は現在の産業に對し保護を與ふる手加減をなすべきものとす。

輸入の絶對的自由、禁止、普通課税、通商條約——關稅より見たる國家制度は之を三種に分つことを得第一輸入の絶對的自由にして約三十五年以來英國に於て行はれたり實に英國に於ては世人が内國産業の保護者と稱する關稅なるものは一も存在せず原料及び製造品は毫も課税せられざるなり大英國及びアイルランドに入りて課税せらるゝ貨物は唯一般消費貨物にして其多くは自國に類似品を有せざるものにして例へば茶、コーヒ、煙草酒の如きものなりこれに課税するは政府の收入を得るが爲めにして外國競争の刺戟に對し國內生産者の或る階級のものを

保護するためにあらずこの制度は保護關稅に對し國庫關稅なる語を以て表さる國庫關稅は國庫に對し一定の收入を得るがため國內に類似品を有せざる一般消費貨物に課税するものなり。

關稅制度の第二種は輸入禁止なり、禁止即ち外國貨物の輸入の禁止は理論上全部又は一部となすことを得然れども實際上に於ては常に一部なり全部禁止は例外なく總ての外國貨物輸入を禁止するものにして外國人との通商を全く絶對的に禁止し自國に必要缺くべからざる貨物を奪ふに等し例へば西歐の諸國より綿、石油、コーヒー、茶、規那皮を奪ふが如しされば何國と雖もこの愚なる全部禁止を採るものはなかるべし然れども多數の國は外國との競争により主要の國內産業を阻害するが如き外國貨物の一部輸入を禁止するものなりこれ佛國の一八六〇年の有名なる改革以前に行はれたる關稅制度なりとす。

絶對自由貿易と一部禁止貿易との混合制度とも見るべきものは原料品に對しては課税を免除し製産品に對しては普通の課税をなすものなりこの課税は外國品の競争による刺戟を減少するものにして全く之を消失せしむべきものにあらざるなり通常此種の混合制度は通商條約に依りて定めらる、通商條約制度は近時閉却せられたる幾多の利益を有す通商條約を締結したる國家は一定の期間、通常十年又は十二年間各商品につき課税率を定むこの税率は輸入を禁止せざる様算定せらる二締約國の各商人は各々他國の商品を輸入することを得而して外國品と競争をなす凡ての生産に對し刺戟を有要なる程度に維持すされば國內の生産業者は輕き刺戟を受くるを

以て全く睡眠を貪り廢滅するが如きことなし、内國工業が生産をなすに當りある外國生産品を必要とするものの如き例へば佛國に於ては殆んど供給する能はざる各種の綿絲を用ゐるリイオン、機織業者の如きは一定の條件の下にこれを多年間外國より輸入することを得るなり。

終りに内國製造業者にして輸出を目的として生産するものは通商條約あるがためこの條約に基き支配せらるる國家間の税率の變動を受くることなきは重要な點なりされば通商條約は一國に對し十年乃至十二年の一定期間輸出入貿易制度を豫知することを得て其の安定を保證するものなれば評るべからざる利益を與ふるものなりされば販路の安定は産業が有利に行はるゝこと及び時にその産業の發達に對し重要な一條件をなすものとす通商條約の最も著明なるは一八六〇年に締結せられたるものにして自由の精神に基きなされたるものなれども不幸にも二十年以來閉却せられたる觀あり。

保稅倉庫の機能、公賣——關稅は大なる弊害を避くるためこれが緩和を必要とす其主要なるものは保稅倉庫の機能なり世人がこれを保稅倉庫と呼ぶ所以は輸入者は關稅の支拂をなさずして外國貨物を特殊の倉庫に寄託することを得るを以てなり、かくして寄託せられたる貨物は世人の所謂一般消費に類たるゝため保稅倉庫を出するまで換言すれば卸賣商、半卸賣商又は小賣商の手に移るまでは關稅を免るゝことを得るなり、保稅倉庫内の貨物は外國に逆輸出せらるゝ場合には關稅を免除せらるゝものとす、保稅倉庫の機能は貿易につき二の利益を有す、輸入貨

物が内國消費のため賣らるゝまでは關稅の支拂を延期せらるることを得るは其一點にして尙關稅の支拂を爲さずして逆輸出を爲し得るは其二なり、若し然らざれば其の供給が内國消費の需要に超過するや否やを知る能はざる場合に於て商人は多量の貨物を輸入することを躊躇すべければなり行政廳により保稅のため指定せられたる公の倉庫を公設保稅倉庫と云ふ然れども商人が一定の條件を具へ收稅官吏の監督の下にあるときは自己の倉庫を有する商人をして貨物を自己の倉庫内に保管することを得しむ、これ私設保稅倉庫と名けらるゝものにして貨物が内國の卸商又は小賣商に賣り渡され倉庫を出する時まで輸入者をして關稅支拂の義務を免除するものなり貨物が逆輸出のため倉庫を出するときは關稅の支拂をなさず一般の國家は外國貨物の自國領土を通過するものに對しては各種の關稅を免除す例へば英國又は白國よりスイス、イタリー、又はイスバニアに至るに當り佛國を通過する場合の如し世人外國貨物が内國を通過するときは吾國の開港市鐵道に好景氣を與へ吾が勞働者商人及び海港運輸業者に利益を齎すものなりと斷定す。

保稅倉庫を有する都市に於ては羊毛、コーヒーの如き大消費貨物につき一定期間公賣の設備をなすことありロンドン、アンベルス、アムステルダム、の如きは殊に有名なりこの設備は往々遠隔の土地より購買者を集め正確なる價格により廉賣することを得るなり。

近代の進歩せる國家に於ては經濟政策の方針を定むるに當り自由貿易主義によらざるべから

ざるは明なり或る條件の壓迫又は偏見により自由貿易主義に遠ざかる國家にありても全然自由主義を破壊せんとするものはあらざるなり。

第七章 商業上の恐慌

商業上の恐慌の性質——商業上及び一般農業上の恐慌の諸原因——經濟上の恐慌に對する救濟策——恐慌は往々喜ぶべき結果を生ずることあり

商業上の恐慌の性質——農業商業或は工業の規則正しき作用が往々生産を攪亂し其部分的中止をなさしむる恐慌により混亂せらるることあり農業者は其の生産物を賣却する能はざるを嘆ち商工業者は倉庫内に貨物の混亂せるを見これが賣捌きをなす能はず時には其貨物を滅失せしむるが如きことあり茲に於て工場の仕事を手控し中にはこれを閉鎖するものあるに至る以上の如く人類全般に對し苛酷なる恐怖を與ふる悲惨なる現象の原因は如何なるものなるか。

商工業及び農業上の恐慌は部分的にして偶發的なることあり又一般的にして殆んど普遍的なることあり部分的なる場合にありては稀有の例外を除きこれが回復容易なり一八六〇年より一八六五年に亘る北米合衆國南北獨立戰爭中綿を原料として使用する製造工業に従事する英及び歐大陸の諸地方は長く悲惨なる困厄に遭遇したりしなり歐洲に綿を供給せしものは殆んど全部

北米合衆國なりしも戦争の掠奪と亞米利加沿岸の封鎖とは綿の栽培を荒廢に歸し着荷を停止せしかば佛英獨の綿布製造業者は生産を減少し多くの者は事業を全く中止し勞働者を解雇したるものすらありしなりこれに反し羊毛亞麻布の製造業は其生産を増加するに至りしなり。

部分的地方的なる農商業の恐慌の一場合を擧ぐれば佛國南部に於ける葡萄園につきて見たるものは其著しき例なりとす一八六七年の初め殊に一八七二年より一八七三年に至る間佛國の葡萄園は其當時未だ世人に知られざりしフイロクスラトと名くる亞米利加より輸入せられたる昆蟲のため恐るべき速度を以て荒廢に歸し破壊せられたりこの地方は地質乾燥せるがため葡萄の生産には有利なりしも他の生産に至りては殆んどこれを爲し得ざりしかば南部葡萄園の破壊は嘗ては有福なる生活を営みたる人々に對し大なる窮乏と困難を興へたり土地は大半失はれ其の價格は四分の三又はそれ以上に減じ賃銀も亦三分の一又は半分は低落せしかば多くの葡萄耕作人は近縣或はアルゼリアに移轉するに至りぬ。

以上述べたるが如き部分的地方的の恐慌は一國を溶解せんとする天災にしてこれを豫見する方法はなきなり近代社會に於て極度に達したる領土的分業は恐慌の加重を増加するものにして分業の恩恵に對する賠償金をなすものとす。

この部分的地方的の恐慌の外に全世界の産業に對し同時に打撃を興ふる商工業上の恐慌あり一八八二年より一八八六年、次に一八八九年より一八九一年に至る間各文明國は極めて廣汎にし

て長く行はれたる一種の艱難を経過したりしが一九〇七年より一九〇九年に至るものは最も輕かりしなり。

商業上及び一般農業上の恐慌の諸原因——世人は通常生産の過多又は過剰生産を恐慌と稱すこの説に従へば總ての物を過多に生産するがためにして小麥牛肉衣服履物家屋等を過剰に生産するに基因するものなりとなすなり。

この説明たるや一見理由あるが如きも大に謬れり人類の欲望は屈伸力に富み且多數の人は不自由なる境遇にあるものなれば一般に人類が處分し得る生産物を過多に有することはなき理なり即ち小麥牛肉衣服履物家屋を過多に所有することを嘆ずるものはあらざるなり今日最も富裕なる國家につきて見るも白パン牛肉を食する能はず敝衣を纏ひ素足にて歩む等極めて不完全なる生活を營める者少しとせざるなり。

人類が其處分し得べき生産物の過多に苦しむが如き時代に達することは極めて遠き將來なりと云ふべく或は永久にかゝる時代は到來することなかるべし然らば生産が一般的に過多なりとの問題は生ぜざる理なり。

然れ共ある特殊の生産物につきては過剰となることあり特にある種の貨物の供給量と人類の實際上の使用との間に不均衡を生ずる場合に於て見る所なり要するに人類が好んで多量に消費することを得るある種の貨物にありては消費者の總ての階級が接近し得ざる價格を附し得ること

とあるべし。

生産物の價格は如何なるものなりとするも生産をして絶對的に人類の需需に超過せしめ得る貨物の數は極めて少し第一これに屬する物は明に特殊的に屈伸力を有せざる消費貨物にして例へば棺桶搖籃の如きものなり佛國に於ける出生及び死亡は毎年約七十五萬乃至八十萬人なり若し吾人が毎年二百萬の棺桶と二百萬の搖籃を製作するとせば如何なる場合にありてもこれ等の輸出は困難なるを以て過剰となるは明にして假令廉價に供給するとするも僅少の買手を見出し得るに過ぎざるべし。

其の他人類が限り無く消費する能はざるある種の器具例へば針、ピン、鶴嘴、鋤、荷車、貨車、鐵道用レール、蒸氣機關の如きものに對しても生産過剰なることあり得べし然れ共今茲に特に述べたる貨物にありては前に引用したるものに比すれば消費量を正確に不變的に定むること能はざるなり。

然れ共種々の用途を有し伸縮的に人類の需要に應ずることを得る貨物に至りては少く共絶對的に一般にして永久なる生産過剰と云ふことはあり得ざるなり例へば織物は衣服を製するに用ゐらるゝのみならず毛氈張布の製作に使用せられ鐵も亦無限の用途を有し小麥牛肉の如きはこれに缺乏を感せる人少しとせず家屋につきて見るも多數人は今尙茅屋に詰め込まれ居る狀況にあるなり。

この場合に於ては多數の人が猶充分の供給を受け居らざる貨物と其貨物に對し支拂ふべき資力との間に不均衡あるを見るのみ又快適にして優雅なる衣食住をなす新なる風習の漸次採用せらるべきもの少なしとせざるなりされば生産の過剰は其外見に於て著しく永續的なれ共實際は寧ろ一時的のものなりと云ふべし。

一般的商業上の恐慌を誘導する二原因の一は投機に對する誘惑と信用の濫用にして他の一は製造工業又は交通機關の急激にして著しき進歩なり繁榮時代に於ては通俗の言葉にて表はせば事業甘く行はれ製造業者は大なる利潤を擧げ多くの人に對し空想の傾向を生せしめ到る所に新事業を經營して各種事業の建設に資本を固定せしめ單り射倖的利益を擔保とする多大の借財をなすに至らしむれば信用は極度に擴張せられ世人は多くの考慮を拂はずして貸付をなし又一方に於ては良く反省することなくして負債をなすことゝに於て不利なる些未の出來事も脆弱なる總ての事業を倒壊すること恰も最も輕き一息が崩解し易き物を轉覆するが如し。

然れ共商業上の恐慌の最も積極的原因をなすものは製造工業又は運輸機關に於て見る急激にして一般的なる根本的の發達に由るものとす其結果競争及び代價の新なる條件を生ず多數の生産者急激に表れ來り其間に於ける調子を失はしむ最も正確なりとせられたる成算も世人の豫見する能はざりし廉價の條件を具ふる新資本の流入により突然裏切られ其結果往々にして數年間繼續する一時的恐慌を生ずることありこれに對しては採るべき新なる調節方法用ゆべき新計

畫なきにあらざれば其困難と苦痛を経るにあらざれば實施する能はざるなり。

此場合に於ける商業上の恐慌は青年の發育小兒の齒痛の如きものなりこれ言はば自然が課したる避くべからざる害惡にして急激顯著なる進歩に對する報償なりと言ふべきなり。

信用の濫用とそれ自體は害惡にあらず重要な力をなし單に變調に左右せらるる投機より生ずる恐慌は十年又は二十年目毎に現るる傾向を有するものなりと説く者ありこれ父の經驗は其子を矯正するものにあらず繁榮時代に於ては凡て過去の教訓あるに拘らず避くべからざる感溺に導るものなることを説明するものなり。

急激なる産業の大變動より生ずる恐慌は亦周期性を有するものにあらずして甚しく期間を距てゝ表るるものとす然れ共多少距りたる時期に於て回復する傾向あり其理由は農工業の進歩は繼續的にして劃一的に行はるるものにあらずして急激なる進歩をなし一般的にして恰も全世界に熱と振動とを與ふるが如き時期あり又平穩無事の時代あり前者は人類の光榮にして後者は恐くは其の幸福なりと云ふべし。

經濟上の恐慌に對する救治策——經濟上の恐慌に對する最高の救治策なるものは一もあるなし絶對的豫見方法ありと夢想する者は無分別なり誇大の投機と信用の濫用に陥ることなからしむるためには各時代の人心より其妄想を艾除せざるべからず又人類進歩の通路は忽ちにして停止するが如きことある急激なる汎濫に委せらるることなく劃一的にして微弱なる水波を送りつ

つ徐々に流るゝ運河の如きものならしめざるべからず然れ共人類も社會も此力を有することなきなり。

特殊にして地方的なる經濟上の恐慌例へば一八六〇年より一八六五年に至る綿の恐慌或は佛國南部に於ける葡萄菌による恐慌の如きものに對しては一時的の緩和策なるものあり吾人は適度の識見を以て適宜に打撃を被りたる地方に土木工事を起すことを得べく又容易に移民することを得べし然れ共これは適度になすを以て可なりとす何となれば此種の恐慌は一時的のものなるを以て過度の移民をなすときは其地方の繁榮が回復せられたる場合に於いて忽ちにして筋肉労働者の缺乏を生すべければなり各個人の先見即ち繁榮時代の節約はこの難局を緩和すべき良法なり。

全國を通じて總ての産業に亘り一般商業上の恐慌を見る場合に於ては一時的緩和策は殆んど其用をなさすかくの如き狀況に際し國家のなす役目は拙劣なるを常とす國家は慎重なる態度をととりて節約をなし信用を鼓吹せざるべからず若し國家がある人の提議に従ひ労働者授産場を開始するが如きことあれば恐慌を長引かしめ之を惡化せしむるなり即ち恐慌は誇大されたる主張より生ずるものなりとの妄想を長引かしむるものとす國家は又産業に對し一種の攪亂的行動をとること屢あり例へば國家が好景氣時代に於て長距離の鐵道を敷設し極度に土木工事を起すが如き場合には産業の自然的狀態及び利潤と賃銀の正常なる關係を破り極端なる刺戟を助長し過

多の事業を起さしめ勞銀を昂騰せしめ或は其昂騰を尙早ならしむされば國家が産業につき補助金を附與し國家の注文により獎勵せられ又は維持せらるるが如き産業を混用せんとする場合に如何に用意周到なるも過ぎたりと言ふ能はざるなり。

經濟上恐慌の喜ぶべき結果——商業上の恐慌には誘惑的弊害あるに拘らず喜ぶべき結果を生ずることあり失敗したる産業者は凡て經濟的見地より良心の試練を受け其の産業組織を調査し缺點あれば改良を施し浪費を去り良好なる手段を採擇し従前に比較して元價を低廉ならしむるに至る貸銀と利潤は正當なる率に復歸し世人は規則正しき勞働の習慣を採り信用は鞏固となりこれを與ふるものは識別力を有するに至る其結果商業上の恐慌が數年間打ち續きたる後に於ては多くの貨物の販路は擴大せられ新なる消費者を生じ當初は攪亂者なるが如く見へたる進歩も堅固となる要するに困難にして多少繼續的なる打撃を被りたる後に於ては人類は其欲望と嗜好を満足する手段を恣にすることを得るに至るものとす。

第四部 富の消費

第一章 節約

人類が其の生産力の増加を爲し得る方法四あり——餘暇及び生産の増加——節約の作用——節約に對する世人の偏見、浪費者と節約者——必要品の破壊は商業を盛ならしむるものなりとする誤れる思想——佛國に於ける節約の強さと國家所得との比例——節約の強さを増進する原因——資金の利用法——保險と其種類——貯金管理局——相互救済組合——節約の方便としての産業組合——有價證券取引所が節約の形成と其の迅速なる利用に對して及す影響

人類が其の生産力の増加を爲し得る方法四あり——人類及び社會の生産力は一には勞働機械の絶へざる創造により又一には科學上及び工業上の發見と發明とにより一般に向上せらるるものなることは吾人の知る所なり此生産力を増加するにつき人類が使用する方法四あり即ち生産力に供するものは第一餘暇の増加第二直接消費又は享樂の増加第三新なる節約たる勞働器具の

増加、第四人口の増加これなり。

人類は以上四の目的物の各個につき新なる生産の發達を圖ることを得べく又四の目的物の大部分又は總てにつき發達を期することを得べし而して最後に述べたる場合が人類社會にとり最も普通なる所以なり。

餘暇及び生産の増加——人類及び社會の生産力の増加は人類に對し多くの餘暇即ち安息を與ふるために用ゐらるるものなることは明なり然れ共餘暇は最高無二の幸福にしてこれなくば總ての生産増加労働器具の新なる發達人口の増加は中止せらるるに至るべし。

この一世紀以來人類生産力の増加に比例して餘暇が増加したりとなす能はざるも特に五十年以來絶對的に餘暇が停止したるものなりとは言ふ能はざるべし労働時間は一般に短縮せられ通常の工場にありては一八二〇年より一八四〇年迄の大産業の初期に於て見たるが如く労働時間を一日十三四時間となすことなく十一時間を超ゆることなし次に田舎に於ても殊に富める地方にありては以前に比し労働時間は低下せられたり大都會の労働者が月曜日休業を爲し或は貨銀の増加せられたる場合には一週の中曜日以外二三日休業を行ふが如き悲むべき習慣につきては今茲にこれを述べざるべし。

家庭生活の向上精神的及び藝術上の娛樂のため餘暇を擴大せんとするは可なりとするも吾人が満足せざるべからざる巨多の主要なる欲望を有するに拘らず餘暇を濫用せんとするものある

は大に憂ふべきことなり。

人類生産力の發達の大部分は人類の欲望を最も廣汎に且完全に満足せしむるために用ゐらる人類に對し廣濶衛生的にして整然たる圍繞を具ふる居心地よき住居を與へ其家具什器を擴張し完全ならしめ四季に適ひ端然として優雅を維持せる衣服を得せしめ食物は實質的にして變化に富むものならしめ讀書音樂各種の藝術の如き高尚にして有益なる娛樂を得せしめ移轉と旅行により好奇心を満足せしむるが如き目的のために生産力の増加したる大部分は使用せらるるものなりされば文明人は全體として止らず其各員につきて見るも前代に於ては見る能はざりし多くの消費財及び享樂財を所有するに至りしなり。

節約の作用——然れ共總ての生産は直ちに消費せらるるものにあらず其大部分は節約即ち新なる労働器具の創設に供用せらるるものにしてこは道德家の訓戒を待たずして文明人種の間に於て本能的に行はれたるものなり人類が有する感情の中にありて文明が最も發達せしめたるものは先見の感情なり文明は個人の幸福に對し大なる効果を與へ先見の方法を變化し依て往時に於て見る能はざりし先見の感情を著しく普及せしめたり。

吾人は今茲に經濟的表現たる先見と節約につきては再び述ぶることを避くべし二者の發達につきては既に先きに述べたる所なり近代社會に於ける節約の方法は不生産的なる蓄財の古き形式を棄て資本化の形式を採り絶へず新しき労働器械の創造をなすに至りしことは前に明にせ

節約に對する世人の偏見、浪費者と節約者——節約に對する偏見にして廣く世に行はるるものありこれが論駁を試むるため暫く筆を留るは強ち無用のことにあらざるべし教養なき一般の人は節約を以て勞働を奪ふものなりとし多くを費消し家財を蕩盡する者は勞働者に仕事を與へ通俗の語に従へば商業を盛ならしむるものなりと信するが如しこれ多くの人が浪費者を辯護するに對し一部の者が大なる節約家に酷評を下す所以にして不正確なる觀念より生ずるものとす。

近代社會にありては節約は通常資本の形式をとり勞働者に對し仕事を與へ等しく人類の努力を使用せしむるものなれば浪費が支拂ふと同等の支拂をなすものなり吾人が節約により得たる總額は費消せらるるも其消費たるや特殊的にして生産的なるを以て浪費と其趣を異にす其適例を舉げんに今茲に同等の富を有する二人の土地所有者あり甲は浪費者にして乙は節約者なりとせよ甲は自己のみの用に供する豪華なる別墅を建て土盛り澆噴水等を備ふる快適の庭園を作りたりとせよ乙は自己の住居には手をつけず土地を掘り返し灌漑をなし乾燥せしめ肥料を施し搾乳場或は生産的に用ゐる得る家畜小屋を附置せる一團の田畑を作り土地の改良をなしたりとせよ兩者の場合につきて見るに其の使用せられたる出費分配せられたる賃銀は同一なり唯甲にありては全部なりと云ふ能はざるも殆んど不生産的の出費せられたるに反し乙の出費は生産的なり

と云ふべくかくして改良せられたる土地廣く整然と組立てられたる建物は以前に比し多量の穀物葡萄酒牛乳乾酪家畜を生産することを得べし節約者が節約したる總額を出費するは浪費者が出費する所と其量同一なり唯節約は出費して其國の生産力を増加し其結果自己固有の所得と社會全體に對する所得を増加するなりかくの如きは生産的消費者と不生産的消費者との間に見る差異なり。

田舎の土地所有者に代ゆるに資本家又は公債所有者につきて考ふるも亦同様なり各十萬法の年収入ある二人の公債所有者ありとせよ甲は誰彼を區別せず常に贅澤なる饜應を爲し妻女のため美麗なる織物レース等の注文を爲し厩舎には數頭の馬を養ひ馬車の様式を種々にすることを得べしかくの如きは適法なる娛樂なれ共毫も残す所なく忽ちにして雲霧の如く消失せらるるものとすこれに反し節約なる公債所有者は十萬法の金利の中四五萬法をば其の生計費に充て五六萬法を投資し株券、鐵道債券、公債證書鑛業會社又は熔鑛爐會社の持分を購求するを欲するならん今この投資を分析せんに鐵道會社はレールを、熔鑛爐會社は機關を注文し鑛業會社は坑道を開鑿し國家は築港工事を爲し五六萬法により商人及び勞働者は活動すべし而して此の場合に於て活動する者は機械工、火夫、坑夫、土木工夫なるに反し前者にありては料理人、菓子商、室内裝飾品商、贅澤なる織物職工、母衣付四輪車製造人、馬丁なり節約せられたる總額は等しく貨物の注文と勞働のため出費せらるるものなれども唯其結果は一は生産的にして製作と運輸

機關を増加したるなり。

後にも述ぶる如く奢侈が相當の限界を維持し毫も個人の富を害せざる場合にありては有益なりと認むべく決してこれを咎むべからざるなり個人の産を破ることは社會全體より見ても損失たるものとす消費者は富の破壊者にして人類の財貨を減少すされば浪費を庇護するものあれ共そは一種の偏見に基けるものに過ぎざるなり。

必要品の破壊は商業を盛ならしむるものなりとする誤れる思想——有用又は嗜好的の物品を破壊又は破損することは商業を振作するものなりとなす説も亦偏見中に分類せざるべからず好人物は遠足の終りに當りコップ又は皿を破壊するは又新たなコップ皿を注文せざるべからざることとなるを以て信心深き行を爲せるものなりと信するが如し家屋が火災により焼毀せらるるも家屋の持主が資金を有する時は之を再築することを得れば火災は喜ぶべきものなりとする者すらあり或る場合に於ては破壊は仕事を活發ならしむとなす思想も全く誤れり今述べたる實例に於て明なるが如く破壊せられたるものの代りに買ふコップ又は皿に用ひる金銭は其の持主により何事にも用ひられずして單に蓄積せらるる場合を除けば凡て事業に用ひらる而して何事にも用ひられずして單に蓄積せらるるが如きことは近世社會に於ては實に稀有のことなり焼毀せられたる家屋の再築に充當せられたる金銭につきて見るも若し火災なかりしならば其の金銭は他の用途例へば借家を建て有價證券を購ひ株券、鐵道債券、公債等を求め得べし既に論

じたるが如くこれを要するに資金の投資は仕事の注文をなさしめ全投資は他の者例へば國家市町村株式會社等のなす事業又は其の出費に充當せらるるに等しきものなり唯概して以上述べたるが如き出費と事業とは永久的に利用せられ生産的となりて商業、工業、農業或は土木事業に用ひらるるに反し無益に出費せらるる資本は短き快樂を得るに止まり何等殘存する所なきものとす。

佛國に於ける節約の強さと國家所得との比例——節約は昔時に比し大なる發達をなせり吾人は種々の形式をとれる佛國の農工業の改良建造物の建築有價證券の投資による所得は二十五億法乃至三十億法にして國民全體の所得は二百七十億法乃至三百億法なりと計算することを得べし各個人がなす平均節約は所得の割なり然れども國民の各階級のものも凡て節約をなすにあらず節約をなす者は大中商業に従事する者即ち大中資本家にして概してブルジョア階級なり節約家の階級に屬するものにして毎年其の所得の四分の三、三分の一を節約するものは稀ならず往々半分又はそれ以上の節約をなすものすらありこれ生産的節約者の階級を生ずる所以にして資本の急激なる増加即ち生産及び進歩の手段に對し富裕階級の者が強き不斷の節約をなすに與りて力あるものにして小なる社會奉仕にはあらざるなり。

節約に對し特に貢獻せる以上の階級者の他に勤勉なる節約者たる自作農及び勞働者、使用人小商人、及び僕婢等の精英なるものあるを除外すべからず。

節約の強さを増進する原因——文化の發達に従ひ節約が著しく増加せるは次の三條件あるに
よる即ち (一)教育及び模範は漸次凡ての消費者に先見的の感情を普及せしめ (二)所得の増加
特に賃銀増加は節約の増加を容易ならしめ (三)怜悯なる現代の文明は種々異なる貯金の機關
を増加し漸次人類の趣味に適合せしめ凡ての者に其の機關を利用するを得せしむるに至れり。

貯金管理局——世人に最も多く知られ通俗的なる貯蓄機關は吾人の貯金管理局と稱する制度
なり佛國に初めて輸入せられしは一八一八年にして私設のものなりしなり巴里貯金管理局の設
立を見たる年には忽ちにしてこの制度は廣く行はれたり貯金管理局は零碎なる貯金を受け入る
ものとす國家により設立せらるる郵便貯金管理局に於ては一法十サンチームの金額すら受け入
るゝなり管理局は各預金者に對し個人の通帳を交附し通帳には其の拂込みたる金高引出したる
金高差引殘高が記入せらるる金額小にして自己の意志に従ひ何時にても之が引出を爲し得べきこ
の預金に對しては相當高率の利子を附せらるる往時にありては三步五厘、三步二厘五毛なりしも
金利引下以來二歩五厘乃至三步に低下せられたり各預金者の預金總高は最近まで二千法に限定
せられしも一八九五年以來一千五百法となれり貯金局の目的は大中資本家の資金を利用するに
止まらず勞働者、農夫、使用人、小商人の貯金を容易ならしむるものとす。

一八三五年佛國に於ては二〇四の貯金局及び支局を有せしが一八五〇年には五六五を有する
に至れり一八六九年には一・一七三となり一八八〇年には一・四〇五となり一九〇六年には私設

貯金局の數其の支局及び代理店を合せて二、〇七七に達したり同時に國家的貯金局たる郵便貯
金局は一八八一年に其の創立を見全國の郵便局に受付口を設けたるが一九〇六年には七、九一
二を數ふるに至りぬされば一萬の營業所即ち住民四千人につき少く共一つの營業所が佛國貯金
局の代理を勤むるものなり。

貯金通帳の數即ち預金者の數も等しく増加せり私設貯蓄銀行につきて見るに一八三五年には
一二一、五〇〇を、一八四五年には六八四、一一〇を、一八六九年には二、一三〇、八〇〇を、一
八八三年には四、五六二、〇〇〇を、一九〇六年には七、六六八、〇〇〇を數ふるに至れり若しこ
れに國立即ち郵便貯金局の通帳四、七九五、三一〇を加ふる時は總計(二五〇萬となるこれ等多
くの通帳が同一家庭に屬し父母子女に至る迄各一冊の通帳を有することあるは疑なき所なり又
同一人が二冊以上の通帳を有するは禁止せらるる所なれ共異なる貯金局の通帳を同一人が所有
するが如きこともあり得べからんも其の數は左程多からざるべし以上總てを其考慮に置くことす
るも少く共四百五十萬乃至五百萬の家庭が之等貴重なる制度の利益を受け居るものと云ふを得
べし最近の法律は妻が夫の干渉を受くることなく自己の名により貯金し之を引出し得るものと
せしを以て貯金局は營業上の顧客を益々増加するに至れり。

貯金局が預金者に對して有する債務につきて述べんに私設貯蓄銀行に於ては一八三五年には
六千二百萬法なりしが一八四五年には三億九千三百萬法に一八六九年には七億一千百萬法に一

八八〇年には十二億八千萬法に一八八三年には十八億一千六百萬法に一九〇六年には終に三十四億三千四百萬法に達したりこれに郵便貯金局の十三億三千八百萬法を加ふる時は一九〇七年一月の總預金額は四十七億七千二百萬法となるなり一九〇七年英國の貯金局の預金總額は五十億法に達し一九〇六年獨逸帝國の總預金は百六十七億法に上りぬ以上兩國の勞働者及び中小階級の者は佛國人に比し國債及び有價證券に投資する習慣を有すること少しされば單に獨逸國の貯金局の預金が巨額に達せりとなす此の統計より推論して獨逸人は佛國人より更に大なる節約家なりと解すべからざるなり。

貯金局の資金運用——貯金局に拂込まれたる金額に對しては佛國に於ては極めて嚴格にして全く不變的な法規によりて規定せらる佛國公債の買入れ又は大藏省預金部の如き大經營部の交互計算に用ひられ大藏省預金部は國庫に對し交互計算により自己が處理し得る資金を投資するものとす貯金局は國家自體を債務者とするものなれば安全なり然れ共貸付られたる巨額の金額を運用することにつきては他の觀察點より批評の價值を有す國家は其の手中には年々巨額の金額が規則的に流入し其額二億乃至三億法増加するを以て公債の外に財源の發見容易となり法外なる支出を増加せんとする傾向を有するに至る預金者は何時にても其の預金の全部を請求することを得るものなれば革命又は戰亂の場合に於ては大なる責任を負ふべきものとす貯金局は小額を蓄積する節約者に對し節約者が其の危険と損失に於て有價證券を購入し得る基本的資本

を造らしむるものなれば各預金者の通帳の最高額を一千五百法となさずして一千法となすを以て可とすべし貯金局が其の本來の目的を逸脱し主として公債所有者又は中流商人の資金を吸収するが如きことなからしむるためには利率を二歩二厘五毛に低減するを以て適當とす伊太利、オーストリア、白耳義其の他の國々に於て見るが如く貯金局をして其の資金の一部を以て商業證券特に著名なる銀行又は良好にして基礎鞏固なる産業組合の商業證券の割引をなし農業者の收穫に對し貸付をなし又は擔保貸付をなすが如きことも亦適當なるべしかくして吾人は地方的經濟をなすカントンをして節約を利用せしめ以て其の効果を大ならしむることを得るなり伊太利、オーストリア、白國の實例は以上の制度が其の管理よろしきを得て運用せらるるときは毫も弊害なきことを明にせり。

保險及び其の種類——他の制度にして特に節約を容易ならしむるものを保險會社なりとす保險は先見の最も伶俐なる適用なり保險は同一危険を負へる多數の人々を糾合し經濟が確定したる危険の平均により定められたる釀出金を各人より徴收し其の總釀出金額より災厄を被りたる加入者に正當なる賠償をなすものなり保險は其の種類極めて多し然れ共最も廣く世に知らるるものは火災保險、生命保險、傷害保險、雹霰保險、家畜保險、海上保險、船舶保險等なり長き一定の年月をとり經驗の示すところにより一千戸につき一戸燒毀せらるるものとするも保險會社は各加入者に對し保險金額一千法に對する一法の釀出を要求するに止らず經營費とし例へば

一千戸の保險金額につき一法五十サンチムを徴收すべし實際に於ては普通一千戸につき一戸が火災に罹るものに非ざるを以て火災保險にありては一法につき一法以上の釐出金を求むることは稀有にして往々其れ以下に降るものとす其の意味は五萬法の價格を有する家屋の所有者は規則的に保險料と稱する釐出金を一年五十法支拂ふにより其の家屋が火災の爲め損害を被るとせば完全に其の賠償を受け得るものなり火災保險は消極的節約の方便なり何となれば其の作用は家屋又は器具の所有者をしてそれが燒毀せられたる場合に毫も其の損失を被らしむることなからしむるものなればなり雹霰保險、家畜保險、海上保險、船舶保險につきても其の作用は同様なり。

生命保險に至りては稍趣を異にす人類の生命に對する注意深き試験は各年齢に於ける人間の平均年齢を正確に計算することを得べし二十歳より三十歳の年齢にある一人をとるときは其の人の健康状態の如何は暫く惜くも其の死期を知ることとは困難なり然れ共同年齢の人即ち二十歳又は三十歳の者百人を綜合して考ふるときは誤謬の危険全く無き能はざるも少く其重大なる錯誤なくして正確にこれ等の者の内幾人が十年の終りに又三十年の終りに或は四十年の終りに死亡すべきかを知ることを得べし況んや同年齢の者一千人を探るに於ては之を知ること容易なるべし年齢を異にせる人類の平均生存期間の計算に基き生命保險會社は加入者が一定年齢例へば五十年又は六十年に達したるとき之に支拂ふべき年金又は保險金額を定め或は加入者が死亡せ

る場合保險者の家族に支拂べき保險金額を定むるにつき極めて複なる組合せによりこれを考案するものなりかくして家族は其の家族を扶養し來れる者の死亡に遭遇することあるも長く悲惨に苦しむことなし生命保險を附せられたる二三十才の青年も年額二三百法を其の生涯拂込むことにより其の家族は一萬法の保險金額を保證せらるゝこととなるなり其の青年が保險料を支拂ひたる後始めの年に死亡するときは保險者が拂込みたる金額は單に二三百法に過ぎざるに拘はらず其の家族は一萬法の保險金額を得ることとなるなり。

資産を有することなく其の戸主の個人的活動が重要な所得をなせる家族に對しては生命保險は特に重要な商人、工業家、官吏、醫師、辯護士、技術者、善良なる勞働者は總て生命保險に加入すべきものなり佛國に於ては未だ廣く行はるゝに至らざるも英米に於ては生命保險は節約の良法なりとせらる。

生命保險は毀損せられたる資本の複本たるに止まる火災保險とは異り其の文字の示すが如く資本を創設するものなりされば生命保險は文字通りに加入者と會社を富ましむるなり。

傷害保險は言はば生命保險を補充するものにして一般の人に對しても有要なるものなれ共重大にして頻繁なる危険を受くる職業に従事するものに對しては特にこれに加入せしむるの必要あるなり。

保險會社は加入者に對し積極的及び物質的利益を得しむる外評るべからざる利益を與ふ精神

の安全と平靜これなり不幸に遭遇することあるも其の財産及び家族に對する物質的損害の結果に對しては相當の賠償により補償せらるゝなり。

保險會社は二種となすことを得所得相互保險會社と營利保險會社これなり前者は相互組合の一種にして會社自體が流通資本及び保證資金を供給し賠償に充つべき株金は毫も存在せざるを以て保險は恰も元價によりなざるべきものとす保險料は災厄に對し支拂ふに必要なもの一般費用仲介者に對する手数料用意のため必要とする資本を表すものなり相互保險會社に在りては保險料は屢々變更せらるる災害が豫想と異り著しく多き場合には會計年度末に於て保險料を増加するなり。

營利保險會社は眞の資本會社にして多數の株主が資本を作り株主に對し最も多くの利益を與ふる様に資金を利用するなり此種の保險は初めに當り一見極めて高價なりとせられ又往々然ることあれ共多くの長所を有す保險料は豫め定められ保險期間の中又は其の満了による資金運用上の都合により増加せらるゝことなし災厄に對する規定即ち賠償額の支拂は迅速に行はる終りに此種保險會社の管理者及び株主に對する金錢上の利益は相互保險會社の管理者及び單純なる加入者のそれに比し遙に大なるを以て前者は後者より其の宣傳に熱心にして又各方面より公衆を吸収する考案につきて組合せをなす機會を有すること多し。

營利保險會社と相互保險會社は火災保險の領域につきては互に其の勢力を分有す佛國にあり

ては生命保險の範圍につきて言へば營利保險會社は相互保險會社に比し遙に多く顧客を有す然れ共アメリカに於ては其の狀況を異にし生命保險につきては相互保險會社が普く行はる電氣保險にありては其の危險の種類多く往々其の程度非常に大なるものなれば相互保險會社をして行はしむるを適當とすべし反之海上保險運送保險にありては營利保險會社をして行はしむるを可とすべし傷害保險は佛國に於ては未だ其の發達を見され共今日迄これが經營をなしたるものは營利保險會社なり。

必要と感情との異なるにより各自其の適所を有する以上二種の保險會社は常に相互兩立して生存すべきものとす。

相互救濟組合——保險の一種にして疾病又は葬式費用のため全然救助制度の下に組織せらる相互救濟組合の目的は特に勞働者中に廣く行はるゝものなれ共使用者、小商人、小地主の間にも宣傳せらるべきものとす最少の拂込額例へば一ヶ月一二法の拂込をなすにより加入者は疾病に際し無償にして醫者の手當を受け一日の勞働賃銀に等しからずとするものそれに近き金額の賠償を受け得るなり一九〇六年正月佛國に於けるこれ等の組合の數は一八、一七六にして加入組合員三、六三四、八一〇人及び釀出金の拂込をなしたるものにて救濟拂を有せざる名譽組合員四五〇、二五二人を包含せり組合の金庫中に入れらるゝ歳入は六千五百五十萬法にして四千七百五十一萬六千法の支出をなしかくして救濟組合は四萬二千九百萬法の財産を有するに至れ

相互救濟組合のあるものは組合員中の或る者に對し小額退職金を與へたり一九〇五年に於ては六百六萬一千法の退職金を出し當時の退職基金は一億九千六百萬法を超過せりこれ公力の助による退職自由制度の起源にして個人的先見と自由組合の感情とを廣く普及せしむるを付たるものなり。

相互救濟組合が農事勞働者、使用人、小商人小土地所有者に普及せられ且婦女も亦一團となりて組合員の員數は一千萬又は一千二百萬に上りたりとするも吾人は相互救濟組合の道に對しては未だ一步を進めたるに過ぎざるなり偏見は長く救濟組合より婦女子を遠け婦女子を以て男子に比し疾病に罹ること遙に多きものとなしたり婦人は疾病に罹ること男子に比し頻繁なれ共其の疾病期間は男子より短きものなることを悟るに至りぬ然らば婦女を排斥すべき何等の理由なきなり一九〇六年一月一日には佛國の相互救濟組合に於ける婦人加入者の員數は四六五、九〇二人を算したり。

慈善家及び怜悯なる利害の觀念を有する人々の發案により全く自由なる相互組合の組織が著しき發達をなしたり例へば勞働者の家財又は休業保險等に於て見るが如し營利保險會社も亦同じく其の組織を工夫し民衆化することを得べし保險に對するユートピア(空想家)あり而してこれ等の人々は保險は破産の危險をも引受くることを得るものなりと想像せり然れ共理論上に於

ても吾人は先見的にして怜悯なる組合の行はるべき範圍を汲み盡す能はざること實に遺憾と云はざるべからず相互救濟又は保險は人間活動の種々の範圍に於て往時實に恐るべきものとせられたる冒險及び破産に對する危險を大數の方則の適用により減少せしむるに至れり。

節約の方法として其の行はるる範圍は狭けれ共良好なる結果を與ふるものは消費組合なり吾人は消費組合の何なるかにつきては前述したる所なり消費組合は加入者に對し又時には公衆に對し種々の方法により完全にして品質良好なる貨物の販賣をなす目的のため設立せらるるものなり組合の或る者は元價即ち何等の利益をとらずして販賣し慎重が必要とする準備金を創設するに過ぎざるなり他の組合は小賣商人の賣價より僅に高き賣價を以て販賣し利益を得て其の年度末に於て利益中の處分を爲し得べき部分をば各購買額の割合に應じて分配するなり組合は貯金機關としての用をもなす何となれば分配せられたる生産物は年度末に於て加入者が漸次除々に蓄積したる總額を表すものなればなり。

有價證券取引所が貯蓄に及ぶ影響——現代に於て節約は公債證券又は有價證券の形により容易に行はるるものあり普通會社の株券は五百法の價格を以て發行せられ社債券は三百法より五百法の額面にて發行せられ國債證券の如きは往々百法の割符に分かれて發行せらるる都市又は公益事業のため抽籤割増金付社債券を發行し年利約十分の一を低減し十五萬法、五萬法、二萬法及び一萬法の割増金を與ふるものなりこの組合せが富籤と異なる點は二三の加入者が莫大の金額

を得ることあるも他の加入者は一人と雖も其の掛金を損失することなき點にあり貯蓄組成せられ百法に達するや否や直ちに各種の證券に投資せられ其の證券中或るものは絶對的安全にして其の取引流通性容易なるものとす百年以前にはかくの如き制度は一も存在せざりしなり。

世人が貯蓄の配合を完成し種々變化を施してより未だ一世紀を経過せず特に其の見るべきものありしは一八一五年の佛國革命以來のことなり文化は出費の機會と誘惑を著しく増加したりとするも亦一方今日まで極めて有效なるを明にせられたる節約の機會と誘惑を比例的に増加したる代償を與へたるなり。

第二章 奢侈

奢侈の定義——産業の進歩は往時に於ては奢侈的消費とせられたる多くのものを民衆化せしめ之を一般に普及せしむるにあり——奢侈に對する偏見——奢侈の抑壓は社會の進歩を阻止す

奢侈の定義——人類が生産力の増加をなす所以の主たる風習は消費享樂の増進特に奢侈品の消費あるがためにして社會、文化するに従ひ奢侈は住民の各層に擴張せらる。

奢侈は多くの敵を有す多數人は奢侈を以て濫用、罪科誹謗なりと見るなりこれ等の人は奢侈

が姿を隠すときはこれがため社會は幸福となり道德は向上せらるゝものと考へ亦甲の贅澤は乙が必要なるものを失ふによりて得らるゝものなりと信するなり。

奢侈に關する此種の觀念は道德に基礎を置くも、なれども一般に誤れるものと云ふべし第一奢侈の定義を下すの要あるもこれは極めて難事なり。

試みにリットレーの字書を開き見よ書中に掲げらるゝ定義は「奢侈とは衣服、食卓、家具の立派にして贅澤物を以て充たさるるを云ふ」とありこの定義たるや弛緩にして華美を好む人と云ふ觀念には一致するも語の一般的通俗的の意義を示すには甚しく狹隘に過ぐるものと云はざるべからず。

世人は奢侈を以て一國に於ける一般人が其生存に要するのみならず生活上の趣味及び禮儀を保つ上につきて必要なりとせらるゝ所に超ゆる過剩部分より成るものなりとすされば奢侈は社會全體が富裕となり純化せらるゝに従ひ益々其の境界線を擴張するものにして著しく變動性に富み絶えず移動するものとす。

羅馬帝國に侵入したる野蠻人にとりては現在の小中産階級及び労働者階級の家庭に於て見る家具衣裳棚の類も贅澤品を以て充たさるるものなりと思はるべく余り高價ならざる布張の眩掛椅子、フェルト製の毛氈窓掛壁張用の安價なる美しき紙硝子變化少き鉢皿、シャツ、ネクタイ、ハンカチーフ、襟飾、靴下、器具も物珍らしく思はれ生存上の通常の必需品にもあらず生活上

の趣味及び禮節を守るため必要なものとせられしならん若しセペンヌ(佛國中部の山地)地方に住する牧人を一年の金利一萬法を有しこの收入に應じたる生活を營める公債所有者の部屋に連れ來るとせよ牧人は人爲的享樂にあらざれば何等自己にとりては價值なき無用の器物の多きに苦しむならん。

奢侈の觀念は其の時代及び社會階級によりて著しく變化す各階級の者は自己より優等階級の者が通常使用する貨物にして自己の財産上の地位が之を所有することを許さざる物を奢侈品なりと考ふるなり。

産業の進歩は往時に於ては奢侈的消費物とせられし多數のものを民衆化し之を普及せしむ—産業の進歩及び一般的富の發達は嘗ては非常なる奢侈品と考へられしものを徐々に一般的に使用せしむる至れり今食料品につきこれを見んに砂糖、香料、コーヒーは嘗ては贅澤品とせられたり又硝子製コップは長く贅澤品とせられ硝子、窓掛、毛氈は更に長き間贅澤品とせられたり懷中時計、振時計は最初四五法にて次に五法乃至十法にて製作せらるるに至りしまでは奢侈品の第一等なりと考へられしなり衣服、シャツ、靴下、履物、ハンカチーフ、リボン、レースにつきて見るも自然の法則に従ひて生活する時は男女共にこれを有せざるも可なるを以て贅澤物とせらるべきなり又住宅の構造に於ても食堂と臺所とを區別し化粧室と寢室とを區別し湯殿と水浴場とを區分し自然の必要上風通しをよくし給水を多くするが如きことは無用なりとせら

れ尙多數の人によりてはかくの如き装置なくとも濟むものなり。

奢侈の限界が絶えず擴張せられんとするは大に喜ぶべきことなり往時に於ては贅澤とせられしものも今日に於ては必需品なりと云ふ能はざるも少く共多數の人が之を所有し得るに至りしなり。

奢侈の經濟的作用——吾人は奢侈を呪咀すべからずこれ人類進歩の主たる原動力なればなり人類は今日人生を裝飾するものに對しては概ね又生活を衛生的ならしむる改良の大部分に對しても感謝せざるべからず又奢侈は藝術の父なり彫刻にあれ繪畫にあれ音樂にあれ印版石版術にあれ奢侈を排斥せんとする社會に於ては之が發達を見ること能はざるなり。

奢侈にありても不作法傲慢にして不合理なる種類のものあるは疑なし豪奢にして群集を眩惑し蹂躪せんとするが如きものこれなり道徳は凡人を圍繞する富の無作法にして野卑なる勝利を答へ單純なる虚榮心より來る奢侈例へば偉く見せかけんがため無用の從者を伴ふが如きは輿論の批難を受くべき價值あり然れども此種の奢侈は漸次減少せんとする傾向あり羅馬人を頽廢せしめたる富の不規律なる消費輿論が懲罰したる成金者流の豪奢なる奇僻に於て見る無謀なる舉は現代に於ては稀なり外部及び公然表ることなき奢侈即ち自制して内部に隠し分別心を有し白日見へを張り奢侈を享樂する能はさる人々の感情を害するか如きことを豫防する廉恥心を有するものあり正當の判斷力を有する人はこの種罪なき趣味に對してはこれを咎むること能はざ

るなり。

奢侈に對する偏見——或種の人は奢侈なくんば社會は更に多くの有用なる貨物を供給せらるべしと考ふるものありこの説によれば世人が奢侈品十億法を消費せざるときはそれに代るに小麦、馬鈴薯、普通の衣服を多量に有することを得るに至るとなすなりこの論は次の二の理由により不正確なるものと思はる。

第一奢侈品十億法は馬鈴薯、小麦、衣服、及び雜貨品十億法に要する仕事の總額と一致するものにあらず奢侈品が巨額の金額を支拂はるる所以は商品の數量にも仕事の數量にもよるものにあらずして商品の性質及び仕事の性質によるものなりシャトーラフィット(酒の産地)の一クタール(一町二十五歩)は精酒十五乃至二十ヘクトリツトルを生産し精酒一ヘクトリツトルは五百法或は六百法に賣らるるを以て七千五百法乃至一萬二千法の概収入を得れどもその金高に相當する普通酒を生産すること能はざるなり精酒の生産を廢し之に代ふるに粗酒製造に従事するときは今は十五乃至二十リツトルを生産する代りに四十乃至五十ヘクトリツトルを得るならん然れども七千五百法乃至一萬二千法を得たるに對し一千法乃至二千法以上を得ること能はざるべし。

同様にして寶石貴金屬細工職人の極めて巧なる者は奢侈品の生産をなすにより一日賃銀十五法乃至二十法を得吾人がこの種の生産を禁止しこの職人を金物細工職人たらしむる時は十五法

乃至二十法の價格を有する普通貨物を生産することを得るものなりとなすべからず四五法を生産するに止ることは疑なき所なり眞に技術を有する唐木細工師は彫刻器物の製作により一日の賃銀約十五法又は二十法の報酬を受く之を普通器具製作に従事せしむるときは嘗て得たる賃銀の額と同じ賃銀を得る能はざるべし以上は奢侈的消費物一般につきても同様なりされば奢侈品に對し高き代價の支拂るる所以は仕事の性質即ち職人又は技術者の天賦の才能より來るものとす之等の技術者及び職人を粗本的にして一般的なる他の仕事に従事せしむるときはその生産する普通貨物の量は普通の或技術者又は職人が製造するに比し遙に多きものたること能はざるなりされば十億法の贅澤品の生産を禁止すれば人類に對し有要なる多くの貨物十億法を得るものなりと信ずるは誤れるものなり。

吾人が今次に述べんとする考慮を外にするとときは若し人類がパン牛肉並酒最もありふれたる衣服及び簡單なる什器にその慾望を限るとせばこの種の貨物を極めて多量ならしむるを得べし凡て畫家、金物彫刻師、室内裝飾業者、贅澤なるレース製造人通常以外の家具製造人等凡てのものを田園勞働、綿布の紡績業靴下、シャツ類の製造業に向はしむれば一派の人々が生活に最も必要なりとする普通貨物のみを夥しき數量を得るに至るべし。

以上は推斷に過ぎざれども之を眞なりと假定するも奢侈の禁止はその結果普通品を夥しく生産し得べきことにつきては毫も正確なる能はざるなり世人は職業の單調と劃一とが人間の活動

人類の創意發明心に對する意氣を阻喪せしめ睡氣を催さしむるものなることに思ひ及ばざるなり總ての人が殆ど異なる所なき同一の仕事に従事し同一境遇に生活しその慾望は制限せられ目前には他人と異りたる光輝ある生活の光景は一も展開せらるる所なき類似の社會は無氣力と慣習の餌とに陥り其の弾力性は滅殺せられ社會は必然的に漸次靜止するに至り次で退歩的となる吾人の見るところによれば奢侈の禁止は漸次一般消費的貨物をも減少するに至るべし。

奢侈の抑壓は社會の進歩を阻止す——社會の進歩は往々にして意志及び智能より見て著しく天賦を有する個人の努力によりて感受性を有するものなり然もこの報酬の最も確實なるものは富にして若し吾人が富の購ふ奢侈を奪ふとせば多數人に對し富は其の價値を失ふに至るべし。

發明家、大企業家、工場主の中にありて自己が人類社會に對して爲す奉仕と其名聲との光榮が絶へず困難なる仕事に従事する報償として充分なりと考ふるが如き實に高潔なる人格を有する人もあらん精力才能あり熱心なる人なれども稍高尚ならざる思想により動かされ純然たる精神上の享樂と高尚なる自尊心よりは寧ろ奢侈の魅力に多くの感受性を有する人もあるなり奢侈の趣味はそれ自體に於ては毫も價値を有することなし嚴格なる道徳は徒に奢侈を咎むれども奢侈は人間性の短所を刺戟する上に於て必要なり。

婦人が絹織物の衣服を纏ひダイヤモンドの頸飾をつけ或は眞珠の頸飾を有し短距離の乗車にも飾りたてたる馬車を用ひるは無益なるが如く思はる然れども或る人々が苦心し發明をなし危

險を冒し全社會に有要なる事業を創造する所以は其の妻女に對し財貨より生ずる光輝を與へんが爲めなり。

奢侈の慾望より生ずる餘分の努力は例外的に必要な品に對する人類の生産力をも著しく増加するものなることを吾人は信ずることを得るなり。

奢侈の問題は境遇の不平等と云ふ廣さの一方面に過ぎず境遇の平等は社會の進歩を全く停止せしめ社會をして漸次智能を懶惰に向はしめ原始時代の物質缺乏状態に導くものとす奢侈の禁止は其の効果少く原始時代と類似の状況に赴かしむべし。

されば道徳と宗教は奢侈の過度と無節制を批難し往々奢侈が裝ふ傲慢なる性質を奪ふに努め精神の確乎ならざる人に對しては高潔なる品位と公平の念とを暗示すべしこれ道徳及び宗教のなすべき善良なる任務なり然れども哲學又は宗教力を以て人類の一般性を變更する能はざる限りは經濟的見地よりして奢侈を禁止せんとするは根本的に誤れるものと云ふべし。

第三章 人口、貧困、慈善

人口に關する重要問題——マルサスの學說——マルサスの學說は世界の實際の狀態に適せず——國內人口の増加に過ぐるもの弊害——移民及び植民——人口靜止的なる國家、こ

れに對する實際上の危険——貧乏、貧民は徐々に減少する傾向あり——法律による慈善と私設の慈善

世界の人口は増加せんとする傾向を有す一般の家庭は將來の計に對する懸念をなすことなく其の子女の數を増加し一國住民の定員を維持するに必要なる以上に超過せしめんとするものなり。

この人口問題は經濟上より見て重要なものにして或る學者就中大なる歸納力の天稟を有したるマルサスは社會を震撼し憤怒せしめたる學說を公にせりマルサスは英國新教徒の牧師にして熱心なる慈善家なりしが貧困の原因を探究しこの原因が人類の他の凡ての困窮を生ずる基本的原因なることを發見したりと確信せしなり即ち凡ての生物に表るる不斷の傾向は食物の分量が許容するよりも大なる速度を以て其の種族を増加せんとするなりマルサスは人類に對してもこの自然的方則を適用し正確にして適切なる次の文辭に其の結論を確定せんとし人口増加の傾向は二十五年目毎に二倍となり漸次幾何級數的に増加するものなるに反し一方農工業は順調なる状態にありとするも人類に對する食物は算術級數的にあらざれば増加せざるものなることを斷言するに躊躇せざりしなりこの幾何級數的增加と算術級數的增加の二語の意味は一世紀の一期間たる二十五年間に人口と食料とが同時に増加することを示す次の式により正確なるものとす。

人口……………一、二、四、八、
 食糧……………一、二、三、四、

 二六、 三二、 六四、 一二八、 二五六、
 五、 六、 七、 八、 九、

かくの如くにして人口は二百年間に百萬より二億五千六百萬に増加するに拘らず食糧は一に對する九の割合を以て増加するに過ぎず。

マルサスに従へば人口が常に食糧に超過する傾向は世人の抑制と稱する障害又は制限によりて阻止せらるることあり災厄、窮乏、天死、流行病、饑饉、戦争、天災等にしてこの中のあるものは多少の間隔を置き又他のものは絶へず行はれ其の困苦の大なるが爲め自然が課したる制限内に人口を維持せんとするなり。

マルサスは多くの悲惨と苦惱とを伴ふこの種の障碍又は抑制物に對しこれに代ゆるに豫防的障碍又は豫防的制限を以てせんと試みたりこは人類が其の結婚を遅くして道德的節制により各家族の兒女の數を其の富に比例せしめ正當なる行動によりて生活及び吾人が述べんとする恐るべき人類の天災を避け得る範圍内に人口を維持せんとするなり。

マルサスの學說は世界の實際の狀態に適應せず——マルサスの學說は長き間殊に英國に於ては争ふべからざる真理なりと考へられしなり二十五年以來マルサスの學說は農工業及び商業の異常なる進歩により、ヨーロッパ民族に對し豊饒なる新大陸が開放せられたることにより、佛國及び大西洋岸にあるアメリカの聯邦は饑饉流行病及び戦争による人口の制限を受けざりしに

拘らず自然的に人口靜止的となりたることが明にせられたるにより其の根底を動かさるるに至りしなり。

マルサスの學說が現代に於て殆ど其の適用を見る能はざること及び極めて遠き將來にあらざれば少く共二三世紀間は毫も其適用を見ざるは確實なり今日吾人が世界全體より見るときは食糧は人類よりも速かに増加せんとする傾向あり一般的の主なる食料品、小麦、大麥、肉類、羊毛、果實、各種の物價の下落は其の證左なり。

少く其世界の半分南アメリカ大陸、オーストラリア、ニューギニア、スマトラ、ボルネオ、ニュージランド、アフリカの大部分ロシア及び西部アジアの四分の三を除くも今日現在する人口の五倍、十倍、ある點より見れば百倍の人口を養ふことを得べし全世界の人口は少く共二十億なりと算せられ陸地に對する割合は七八ヘクタールにつき住民一人なり地球上の人口の平均密度が佛國人口の密度即ち百ヘクタールに七人或は一ヘクタール三十八アールに一人住民を有する割合に達するとせば人類は六倍となり得るなり沙漠の如きも之が計算に入れざるべからざるは明なれども又一方に於ては佛國より豊沃なる廣大の土地あることを忘るべからず。

且兩アメリカ大陸アフリカの一部オセアニアの大部分の如き今尙住民少き地球の一部分は今日迄は少く共アジア人種即ち支那人印度人等を除外せるを以て單りヨーロッパ人種のために排出口の用をなすべきを思へば吾人は歐洲民族がマルサスの有名なる方則即ち人口増加の傾向

と食糧増加の可能性との不均衡につきては、數世紀間毫も懸念する必要なきなりヨーロッパ人類に對しては亞細亞民族即ち支那人印度人が世界到るところに移住し始むるの日の來る迄は危險が始まる能はざるなり。

以上の状態に於ても全世界が今日の舊國家と等しき密度の住民を有するに至る迄には歐洲の社會は尙長き餘裕を有し今後數世紀を要するものとす全世界人口稠密の程度平均して劃一となるに至らざる限りは舊國の超過せる住民を未だ充分なる住民なき新興國に移住せしむることは容易なり若き國は其の食糧の生産につき餘剩部分を製造品と交換する爲め舊國に輸出することも亦容易なり。

かくしてマルサスが人類を壓迫したる惡夢は數世紀間雲霧消散することを得るなり英國の有名なる經濟學者の恐怖は極めて遠き將來に何時かは實現することすら不正確なり一方文化國に於ては凡ての耕作法は尙極めて幼稚にして科學の根據に基き農耕方法を完成するに於ては平均普通の收穫裕に穀物にありては現在の收穫の二倍三倍になすことを得べし他方、佛國、スイス世人の新英國と稱し大西洋に位する北米合衆國の一部分の如き生活程度相當の餘裕あり民主的感情鼓吹の下にあるものにありては人口増加の傾向極めて微々たるを示すが如し世界の他の國々も佛國の地位に近似し殆ど靜止的人口を有するに至るが如きことなきやにつきても毫も證明せられざるなり。

國內人口の増加に過ぐるものの弊害——吾人は食物の増加と人口の増加との間に存する不均衡を甚しく恐るるマルサスの學說に對しては毫も考慮するを要せずとするも住民の數速に増加するに拘らず資本及生産物の販路が之と同一の割合に發展せざるときは労働者階級に對し大なる弊害を表すものなることは眞理なりと云はざるべからずこれ白國、伊太利の多くの地方、獨國の各地方ザックス更に甚しきはシレジアに於て見る所なり労働者數の著しく増加するも資本は之と歩みを共にせず製造品の捌け口たる外國の販路殆ど開發せられざる状態にありては其の結果賃銀の低落を來し労働者階級の地位を困難ならしむ伊太利、白耳義、獨逸のある地方に於ける労働者が不安にして悲惨なる状態にあるは以上述べたる理由あるがために外ならず英國が人口の増加と資本及び製造品の販路との間に存する不平等の苦痛を感ぜざるは英國が絶えず巨大なる資本を蓄積し商業上優越なる地位を占め英國に對し常に外國販路を開發すると等しき英國殖民地を有するに基くものたるは明なり。

移民及び植民——恰も伊太利、獨逸、白耳義のなしたるが如く其の國の住民を無秩序に集合して移民せしむるは吾人の採らざる所なるも人口増加して國內に溢るときは少く其新興國に移民せざるべからず移民は一時的なりとするも舊國の住民の過剰を免れしめ若き國に對し新興國が要する主要なる勢力と活動性に富み強壯なる腕力を借すものなれば實に喜ぶべき現象なりと云はざるべからず然れども移民が效果あるが爲めには移民を組織する個人は少壯にして勇氣

に富み忍耐力を有し舊國に於て多く見る家居的にして活動的ならざる使用人又は書記の如き職業を新興國に求むる者にあらずして自ら好んで労働に従事する者より成ることを必要とするなり。

國家は植民地を創設し國家的領土として殘存せしむる爲め移民に對し特殊の土地を用意することを得べし植民は絶對的に空虚なる或は野蠻人又は半開人の住居する土地を人と資本に豊富なる文化民族の管理下に置くことよりなる正當なる事業にして深意を用ひ其の經營可なるときはヨーロッパの舊社會は大なる利益を受くべし唯植民は其の經營者が誘惑に對する抵抗と長き忍耐とを有することを要するのみ植民地の本國は當初多くの犠牲を拂ふことありと雖も後に至り通常種々の形式による有利なる報償を得るものとす。

人口靜止的なる國家、これに對する實際上の危險——人口が著しく増加する傾向を有する國あるも又世界の現状より見て人口増加せざる國もあるなり佛國の如きは甚しく靜止的なり一八九〇年、一八九一年、一八九五年及び一九〇〇年の五ヶ年をとり見るに佛國に於ける死亡者は出生者に對し一年一萬乃至四萬の超過を見たり一八九五年より一九〇四年の十ヶ年間に於て出生者の死亡者に超過すること僅に五〇九、七一五人即ち平均一年五〇、〇〇〇人なり外國より流れ來る労働者資本家にして佛國に定住するものは年に約一萬二千人を加ふ佛國は一平方キロメートルにつき七十二人の住民を有し獨逸は礦物豊富なるは事實なれども其の地質は我國の如き

價を有せざるものにして一平方キロメートルにつき住民百十人を算す伊太利は國內至るところ可耕地なく住民の多くは困窮せるも一平方キロメートルにつき平均百十人の住民を有し大英國は大工業國にして廣大なる販路を有するものなるがアイルランドを包含して一平方キロメートルにつき人口百三十五人なりされば英國は自國にのみ於いて一平方キロメートルにつき二百人以上の住民を有せりと云ふを適切とするなり和蘭は商業盛大にして一平方キロメートルの住民の密度百六十人以上なり白耳義は工業甚だ盛にして豊富なる鑛物を有するものなるが一平方キロメートルにつき二百三十人以上を算ふ。

一國の人口を養ひ得るものは唯に其の領土の廣狹其の土地の性質を合せたる土地の廣さによるものにもあらず地下をも計算に入れざるべからず白耳義、英國、獨逸の或る地方に於て見る如く鑛物の豊富なること云はば第二の領土たる地下は大なる割合を以て國家の生産に加ふ所あるものなり以上の國家は海岸線を有し工業熾に漁業航海術發達し外國貿易盛にして外國に對する敗路廣く蓄積せられたる資本をも有するを以て自國の幸福を減少することなくして以上の長所を有せざる國に比し遙に其の國の人口を稠密ならしむることを得る狀況にあるものとす。

世界の現狀にありては少く共一國の人口が全く靜止的となるは弊害あるものと云はざるべからず第一競爭國及び隣國は人口の増加を見るに反し自國は毫も人口に變化なきを以て其國は政治上の勢力を失墜するに至る原因をなすべし其の國人民の政治上の地位人民の有する勢力効績

ありとする不合理なる歡美も其の國の生産と風習に與ふる利益に影響を及ぼすこと大なり第二に人口増加せざる國は遠國より其の風俗趣味言語を輸入し自己が去る國家と自己が定着する國家との間の連鎖をなすべき移民を有すること少し移民は優秀なる行商人にして獨逸が近時商業上の發展をなしたるは主として世界各地に亘れる移民の力によるものなり第三に人口靜止的となるときは無氣力にして柔弱となる家族の員數少きところにおいて子女は小膽に過ぐる慈愛を以て養育せられ子女の境遇は勇悍なる性格を缺く女性的愛情により圍繞せらるかくの如き國家に於ては男子は凡て困難なる事業と長時間を要する不愉快の仕事を嫌忌するに至り其の獨創的精神も亦遲鈍となる富裕にして靜止的なる人民に對し清新の氣を添へ其の無氣力を鞭撻することなしとするも少く其麻痺の害を除くものは生殖力の盛大なる外國人なり。

これ佛國が現在其の領土に百十萬人の外國人を算ふる所以なりこれ等外國人の要素の化合は出生率の減退が國家に與ふる過大の結果を阻止する唯一の方法なり。

貧乏、貧民は徐々に減少する傾向あり——人口問題には赤貧又は貧乏なる他の問題を含む如何なる國家及び社會に於ても壯年の男子又は家族の一員にして自活する能はざるものあるを見る貧乏は大多數の人類に對して遠慮せざる災害にして遠く歴史に溯るもその形跡を認むることを得べし聖書は貧乏に關する章句を以て充たさる。

貧困を助くる原因は極めて多からんもこれを三大原因に歸することを得べし性來の虛弱、災

厄及び惡徳これなりある者は生れながら虚弱にして充分なる體力と智力を缺き自ら其の慾望を充し得ざるものありこれ等は慈悲深き両親が其の傍にありてこれを助くるにあらざれば死亡するか或は社會全體の負擔となる災厄も亦貧困を助くること大なり戸主たる勞働者死して其の婦と多くの未成年者の兒女を残し又は兒女なき寡婦を残すことあればこれ等の者は自活する能はざるなり然れ共人類の惡徳は災厄又は虚弱よりも多くの貧困を生ずる大原因をなす惡性格身體及び精神の怠惰頑固なる無分別、酒癖、失職癖、無頓着、輕卒等も人間を悲慘に向はしむるものなり。

一の社會に多くの貧民が存在することを稱して貧困 *Painperism* と云ふ一派の人は貧困を以て近世社會特有の災害にして貧困階級は其の多くは傳來的にして永久性を有するものなりとなし尙貧困を生じたるものは大産業にしてこの殘酷なる災害は云はば現代の進歩に對する賠償金たり現代の繁榮に對する懲罰なりとせり。

この説は不正確にして何等眞面目なる考察に基きたるものにあらず世界に於て最も工業の發達せる英國は家長制度をとれる國例へばノルウエー、バヒエール、南方伊太利に比し貧困の度少し大英國本國及びアイルランドに於て一九〇八年には住民一萬人につき貧民二百五十五人即ち二、五五パーセントなりしがノルウエーに於ては七パーセント、スエーデンに於ては四、二五パーセント、バビエールに於ては三、二二パーセントなりしなり大英國に於て見るもこの五十年

以來貧民は減少したり一八四九年より一八五八年の間に貧民の平均數住民百人につき四、六七人なりしが一八五九年より一八六八年の間には四、六一人に低下し一八六九年より一八七八年の間には三、八一人に低落し一八七九年より一八八五年の間は平均三、〇三人となりしなり一九〇八年には二、五五パーセントに過ぎざれば其の進歩は著しく連續的なり佛國に於ては住民二十三人につき一人の貧困者を算へしが英國に於けるよりは其の割合遙に大なり十九世紀の初頭に於ては其の割合最も大なりしなり。

されば工業の發達するに従ひ文明國に在りては貧困は多きを加ふるよりは寧ろ消失せられんとし又其の強度を減少せんとす往時中世時代アジア、アフリカ例へば支那、印度、アルゼリアに於て饑饉又は流行病が數十萬多きは數百萬の住民を奪ひたるが如きことは西歐に於ては見ざる所なり古代のヨーロッパを掠奪したる乞丐の團體又は群は消滅し又は減少せり。

吾人は徐々に貧困の減少を期することを得而してこは空想に耽けるにあらずして貧困の絶滅を期し得べし精神病院盲啞院の如き慈善的設備は不幸なる人の數を減少するものにあらざるは明なれ共これ等の者に對し確實にして辛棒し得る地位を與へ其の中の或る者には生計の道をも得せしむるなり。

相互救済組合貯金局各種の保險各種の形式により先見のためなされる宣傳教育の普及は時と共に災害又は無頓著輕卒等人類に従屬せる缺點を豫防し又は減少することを得べし以上の施設

は特に兒童に對し重要な問題となる吾人が不幸より救出し得るものは成年の貧困者に於けるよりは兒童に於て多ければなり。

世には常に社會的改良には全く溶解し難き要素あり人間の悖徳不道徳より出づる貧困にして不治の懶惰、亂行飲酒癖これなり人類の努力も此の種の害惡に對しては破られ世人はこの種の害惡の一部分につきては切崩すことを得るとするも全く之を抑止すること行はざるなりこれ「貧民は如何なる社會にも常に存在す」との格言が永久の眞理を有する所以なり吾人の努めざるべからざる所は少く其悖徳による貧困を絶滅する點にあり。

法律による慈善と私設の慈善——貧困に對しては現今二の制度行はる法律による慈善及び私設の慈善これなり法律による慈善又は行政上の慈善は貧民が社會に對し積極的權利を有することを認め市町村又は國家に對し貧民を給養するためその設備をなすにつき其の救済に要する租税を課することを得しむるにあり。

この制度は弊害を有し正義の觀念に基くものと云ふべからず何となれば自己の不徳による貧民は——而して貧民の大多數はこれに屬す——社會全體に對して行使すべき積極的權利を毫も有するとなければなり又其の身持の如何を問はず衣食住につき各人に保障を與ふる法律上の慈善は無分別と懶惰を助成するとなり不徳漢に對し一種の賞金を與ふるものなりと言ふべし。

私設の慈善は年々積立てらるる基金（財團）によるものなるにせよ世人が注意し新に畫策す

る救助なるにせよ道徳上適法にして實際上眞に有用なる唯一の制度なり然れ共慈善たるや多くの辨別心を用ゐ自ら好んで貧困の運命にある者に對し便宜と満足を與ふるに過ぐることを避けざるべからず慈善は貧困を豫防し失脚したる貧民の地位を回復せしむべく性來柔弱にして活氣なき者を赤貧に近かしむるが如き誇大は凡てこれを避くるに努めざるべからず世に伶俐なる慈善程賞讃に値して重要なものは他になかるべく又盲目的慈善程其の結果危険なるものは他になかるべし。

第五部 國家と財政

第一章 國家の本質と其の職能

國家の定義——國家の能力に關する偏見と誇張——國家に對立するものは單り個人のみにあらず即ち私的組合あり——國家の主たる權限——國家の原動力は適度なることを要す——國家は人類社會を進歩せしむる主要能因にあらず

國家の定義——社會は三要素より成る個人、自由組合、公權即ち國家これなり吾人は前二者につき述べ來れり今國家の職能と行動に關し一言する亦無益にあらざるべし。

國家は國民の最高の表示なり國民は歴史により作られたる組合にして其の組合は多くの特質に於て他の組合と異なるものとす其の領土内に生れたる者は總て國民たることを免るる能はざる事實なり國家の認容による者を除き其の領土内に住するものは凡て全部國民中に包含せらるものにして其の者の欲すると否とをとばざるなり國家は國民の結合より成り生ける組織體として種々の特權を有す國家は其の領土内にある凡ての人民を法律と稱する規則に服せしむる權力

を有し又其の凡ての住民に對して租税又は課税と名づけられ國家の需要を充たすに必要な金額を強制的に徴收する權力をも有す住民全體に對し立法權、財政權を有することは國家が存在する所以にして市町村又は地方官廳の如きは以上の二權力を部分的に有するに過ぎざるものなれば經濟上より見て從屬的組織體なりと見ざるべからず。

國家の能力に關する偏見と誇張——國家は一方に於て絶對的に重要な權限を有し他方に於ては任意的權限を有す國家は國民をして外國よりの攻撃につき顧慮する所なからしめざるべからずこれ國家の第一義的使命なり又内部の平和をも維持せざるべからずれば國家は特に安寧の保全なる義務を負擔するものとす。

然れ共國家を以上の範圍に制限せんとするは狹隘に過ぐるの嫌あり今日に於ては最早や或る學者の信するが如く國家の職能は無限に擴大せらるるものなりとなすべからず獨逸のある經濟學者は社會に對する國家の職能は恰も頭腦の人體に於けるに等しきものなりと主張し國家は整頓と管理の器械なりとなしたり。

個人の國家に對する地位は全く劣り恰も人體に於る頭腦と特殊の營養機關又は相對機關との關係の如きものなりとし至る所に生理學を輸入せんとする狂氣の沙汰は痛嘆すべきことなり不正確なる類推に没頭し觀念を不明確ならしめんとする此種比喩の愚なることは一目瞭然たり動植物的又は物質的生命を有するに過ぎざる人あるを見ざるなり人體に於ては神經系統及び特に

腦髓は最高の表示にして意志及び思想の唯一の中樞をなすも手足に至りては思考し意欲すること能はざるものとす社會にありては總ての個人は國家と等しく思考、道德、先見を有し得るものとす人體に於ける腦髓の分子は手足又は胃腸の分子とは異なるものより組織せらるる反之具體的にして支配力を有する國家を組織する分子は社會を組織する分子と毫も異なるものにあらざるなり。

國家は或る人々の手によりて成る一の有機體にして自ら思考し又欲する能はず國家の名により連續的に話し又は欲する人の思考或は意志によるにあらざれば思考し又は欲すること能はざるなりされば公權を有する人換言すれば國家の代表者は他の人と異なる身體上又は精神上の構造を有するものにあらず何等自然的先天的又は職業上の卓越をも有せざるなり。

特に公權が委任の形式簡單にして屢々變更せらるる制度を採れる國家に於ては立法議會又は政府を組織する個人の意志によりて其の欲するところを行ひ得るなり。

されば國家は個人の有すると同様なる錯誤性を有するものなるは歴史の證明する所なり。個人のみか國家に對立するものにあらず、私的組合——一派の人々は現在國家をなすものは個人と政府との二要素なりと稱ふるものあり其の結論によれば孤々の一個人がなす能はざる所のものは凡て政府の負擔なりとなすなり然れ共こは大なる誤謬なりこれ市民の間に日日設立せられ何等の束縛を受けず一般的又は集合的利益を有する社會事業に對し無限に寄與する自由

組合あることを忘れたるによる貯蓄銀行、保險會社、公設質店、大交通事業の多くを設立したるものは自由組合なり自由組合の功績は何人をも毫も強制する所なく競争と個人的自由制度の下に活動し大なる努力を用ひずして常に新らしき狀況に順應し自然的に變化し得る弾力性と屈伸力に富める組織を有する點にあり。

國家の主たる權限——吾人が國家の權限を定義せんとせば之を次の如き主要原因に歸することを得べし。

- (一) 外國に對する國家の安寧及び國民内部の實質的平和を保全すること。
- (二) 國家は最も一般的なる組合にして強制權と課稅權を有するものなれば個人或は自由組合の如き私的設備の力を以てしては適當に満足する能はざる一般的必要なるものを供給する義務を負擔するものとすこの種類のの中に數へらるるものは凡て人民の絶對的に先決的な一致を要する事業例へば流行病時の衛生的設備必要缺くべからざる土木工事の公用徵收權の如きこれなり。
- (三) 國家は永久性を有する唯一の組合にして眼前の利益のみを求むる短慮を去り永久の利益を保全すべきものなり森林の保存水利制度漁獵法規等は此の種國家の權限に屬す。
- (四) 國家は人民間の平和を維持し各人の權利を保證すべき義務あるものにして法律上の責任を確定するものなり國家が專斷的に法律を創設せずしてこれを抽出し確定する限りはモ

ンテスキュー氏の「法律は事物自然の性質より抽出せられたる必然的關係なり」との有名な定義に合致するものと云ふべく國家は法的組織なり。

- (五) 國家は扶助なき弱者の保護者なり教育、少年工場勞働者、病者等に關する法規の制定をなすべき義務を有す然れ共國家は一般的に幸福を得せしめざるべからざる義務ありと云ふにはあらず國家は庇護なきもの例へば未成年の病者が強き者より抑壓せらるることを妨止する使命を有するのみ。

國家の異なるによる社會的先例歴史上の來歴の如きも第一次的權限の外に公の教育事業及び藝術に對しある程度の干渉を價するものなりこれ國家の任意的權限の必要を生ずる所以なり。

國家のなす所は宜しく中庸を得ざるべからず——國家は種種の職能を遂行するに當り鞏固なる決心を以てせざるべからざるは明なれども無遠慮性急ならざるを要す國家も個人と等しく理性の中庸を得ざるべからざるなり今茲に國家の守るべき中庸につき述ぶる所あるべし。

- (一) 人民の一團より成る近世國家を人民中の智者殊にこの中の最大智者に比するときは其の賢明なる點に於て優れるものと云ふ能はず國家は人類に通有なる種々の偏見と熱狂に左右せらるる歴史上如何なる時代をとり來るも熱狂的形跡を止めざるものは殆ど稀なり政權に對する熱狂、同情に對する熱狂、監督又は法制につきての熱狂、土木事業に對する熱狂等比々然らざるなし國家はこの種の熱狂に對抗する様努めざるべからず而してこは公權の本質と組織より見て

困難なる所なり。

(二) 近世國家は觀念上の完全なる連絡を有せず又國家代表總員につきて見るも殆ど完全なる牽連あらざるなり選出せられたる代表者は往々變説するを以て國家を代表する總員は甚しく不安定なりその結果國家の行動に不統一を生ず國家の權限廣大ならざる時は其の弊害は極めて制限的なれ共權限増大するときは其の弊害極めて大なりこれ國家が個人又は自由組合に比して劣る所以なり。

(三) 國家は大體に於て人民の總體を公平に代表するものなれ共こは往々幻覺に過ぎざることあり近世國家は其の定義より見るも公平を缺く選出による爲政者は人民總體の意思を代表するものにあらずして移動的にして瞬間的なる過半数又は最少限度の過半数を代表するものに過ぎざるなり國家は少く共内部關係に於ては常に政黨より組織せられその結果國家は大體他の者に比し公平なりと云ひ得るも他の者の負擔を大ならしめ私利を圖り反對黨を落膽せしめ往々之を抑壓する人民の一階級なる政黨の名により行動せんとす。

(四) 國家は多数の官吏を擁し個人的利益又は節制に對する刺戟を有せざるを以て少く其常に感受し得べき競争に毫も左右せらるることなしれば目的と手段を比例せしむること能はざるなり審美的見解が事業の範圍と多大の利益を支配す即ち鐵道、道路、學校等に於て見るが如しこれがため資本の大なる濫費をなすことあり。

國家殊に近代國家の短所は國家が中庸を守り慎重にして用意周到ならざるべからざる理由を有するによりて明なり國家は國家社會政策の實行を特に避けざるべからず換言すれば勢に乗じ公權の極端なる干渉により商業工業に對する政策を錯り又は富の不平等を減少せんとするが如きことは之を避けざるべからず國家は「世話好き」たるべからざるなり。

國家は人類社會進歩の主要なる能因にあらず——國家は進歩の唯一の能因にも亦主要なる能因にもあらず國家は寧ろ保守的の一能因なり進歩の主たる要素は個人又は自由組合の創意にあり人類進歩の歴史の紙面は固有の苗字「委任」によらざる個人「任命又は選舉による職業を有せざりし人々の名によりて充滿する例へばグーテンベルヒ、クリストフォ、コロシブ、バビン、フルトン、スチーブンソン等、有用なる機關を創設したる人々銀行相互救濟組合、貯蓄銀行、保險會社、産業組合、一般教育を創設したる創意力ある人士等これなり今日に於ては海底電線を敷設し又は地峽を開鑿したる人の如きも擧げざるべからず。

經驗の示す所によれば國家の大なる活動力は個人及び自由組合の大なる活動に待つにあらざればこれを得る能はざるなり生命及び創意は無限の強制權と無限の徵稅權を其の意のままになし得る一個の組織體に集中せらるるよりは寧ろ社會全體に分散せらるるを以て優れりとすべし。

國家なる偶像崇拜は民衆主義を墮落せしめ曲折せしめんとする最後の迷信なり人類自由の忠

實なる保護者たるべき經濟學はこの種新奇なる禮拜誇張に對しては鼓を鳴らさざるべからざるなり。

第二章 租税——比例税、累進税、直接税と間接税

租税の性質——租税は貧民を除きては凡ての人民により納付せられざるべからず——比例税と累進税、租税の單一及び複數、課税の基礎としての資本及び所得——租税の歸着——直接税其長短——間接税并に其長短

租税の性質——國家は其の需要を充たすため領土内の總ての住民に對し租税の分擔を課する權力を有す。

個人所得に對して國家が爲す徴收を課税又は租税と云ふ、租税の性質につき論じたるもの少しとせず中には傲慢にして不正確なる文辭を以てせるものあれ共最も簡單にして優良なる定義と見るべきものは次の如し。

租税は國費として人民より強要せらるゝ分擔額なりこの數語は憲法議會に於てミラボーによりて「租税は人民共通の負債にして社會が人民に與へたる利益の補償又は代價の一種なり」と述べし言辭に一致す。租税は例外なく總ての人民に依り納付せらるべきものなり、極端なる貧民

即ち納付の絶對的不能なるものゝみ除外せらるゝ權利を有す然れども絶對的赤貧者を除き總ての人民は「公費を分擔する名譽ある義務」に服せざるべからず、ある學者は僅少の所得者に對しては租税を免除すべきものなりと主張するものありこの説は法律上に於ても實際上に於ても維持し難し法律上各人は國家の保護を受け國家の榮譽艱難何れにも與かるものなれば租税納付の義務あるものと考へざるべからず、人民は或る階級の者に租税を免除するの文辭を以て一の恥辱としこれを排斥せざるべからず又法律上近代國民の中年者は普通選舉により國家の監督及び行政に干與するものなれば國家の禍福に對しては連帶責任を有するものとせざるべからず統治し行政するものは租税を納付せざるべからざるなり一般の租税負擔は一般投票と必然的歸結を有するものなり。

北米合衆國のある州、マサチューセツスに於ては特に選舉權は直接税二弗即ち一〇法七〇サンチムを納付するものに一致せしめたりこれ一八一四年より一八四八年に至るまで佛國に行はれたる選舉資格税額を採用したるにあらずして投票權と租税は不可離の用語をなすものなることを明に示したるに止まる、租税を除外せらるゝものは亦投票權をも除外せらるゝなり。

實際公知の貧民を除きては租税は總ての人民により納付せられざるべからず、人民は總て國家の保護を受くる利益を有し國家は人民の身體及び權利につき保護を與ふるものなり然れども近代の國家、縣、市町村が自己の義務なりと信じ新奇の奉仕を爲すものは多く國民中富裕なら

ざる人のためにするものなり國民教育、公衆衛生、公立病院、育兒院各種の養育院及び救護院の如き皆然り。

尙他の事實の考察により租税の免除は眞の赤貧者以外に擴張すべからざる必要あることを證明することを得べし、今日にありては政治をなすものは多數なるを以て人民の多くの階級の租税を免除するときはその結果選舉により實際上の權力を得て國民の運命を支配するものが毫も責任觀念なくして權力を行使することとなり委任を受け居るの故を以て其結果を感せずして輕卒にも誤れる破滅的なる出費を企つるに至るべし、論者或は言はん爲政者も亦惡結果の反動を感じ一般的破滅の間接の結果により損失を蒙るものなりと、然れどもこの場合に於ては自己の過失に對する代償を拂ふには事餘りに遠くして殆んど之を感ずること能はざるなり選舉人の一部に對し租税を免除することは免除せられたる階級のものには國事の善良なる監督に對し多くの注意を拂はざるに至るべきは明なり一國の運命につき影響を及ぼすものに對し租税を免除することは濫費を制附する能はざる結果となる。

比例税と累進税——總て眞實なる組合に於ては何人と雖も他人の出費により生活せんとする計畫を有するものはなかるべく僅少の所得あるものは僅少の租税を納付し通常の所得あるものは通常の租税を納め多大の所得を有する者は多くの租税を納め總て其所得に比例して租税を納付すべきものなり。

事物の起源に溯り見るに人民は各々國家の奉仕が自己に與へたる利益に比例して租税を納付したりされば訴訟人は裁判費用のみを、生徒又はその両親は學校の費用のみを、通行人或は運送人は道路費のみを納めたりしなり然れども多くの場合一國の中三千九百萬、五千萬、一億萬人の住民中の各人が國家の奉仕を利用したることを識別すること困難なるのみならずこの方法を採用するときは巨額の徴收費を要するを以て租税より得べき出費は此の方法によるべからざるものとすこの方法によるべきものは公債の利子とこれが償却に用ゐらるゝ支出なりされば特別課税の名目の下に知られたるこの制度は殆ど廢止せられ國民連帶主義が採用せらるゝに至り各人をして其所得と能力に比例して租税を納付せしむることとなり例へば一千万法の所得あるものは百法を一萬法のものは一千万法を十萬法の者は一萬法を納むるが如しこの場合には租税の全體と國民の全所得との比は一割となるこれ世人の比例税と稱するものなり。

簡單なる方法に對し往々異りたる制度を採れるものあり累進税の名によりて知らるるものこれなり累進税は所得の増加するに従ひ税率又は所得に對する租税の割合を増加するにあり茲に一例を擧ぐれば一千万法の所得ある人民は僅に六十法即ち六歩を納付し三千万法の所得ある者は三百法即ち一割を五百法の所得あるものは六十法即ち一割二歩を所得一萬法に付きては一千五百法即ち一割五歩を所得二萬法に對しては四千万法即ち二割を納めしむるが如しこの數字は種々に變更することを得然れども累進税の制度は常に小所得よりも中所得に高き割合の租税を、又大

所得に對しては中所得よりも更に高き割合の租税を納付せしむるにあり。

この制度を維持する唯一の理由とも見るべきは人民に對しては犠牲を平等に課せざるべからざるものとなし大中所得は小所得に比して十分の一又は五分の一以上の徴収に容易に堪へ得るとなす點にあり。

累進税は精々尤もらしき議論を主張するに過ぎず累進税は毫も公平に其基礎を置くことなくこれが實行を爲すときは其弊害重大にして眞に掠奪の萌芽をさへ包含するものなり。

公平とは人民に對して國家がなす奉仕と人民が國家の行動により受くべき影響の比により國費を分擔せざるべからざるなり、吾人が既に述べたる如く近代國家縣市町村の新なる奉仕、例へば教育、衛生、救済ある程度の土木事業の如きは國民中最も富裕なる階級の者よりは寧ろ最も多數を占め左程富裕ならざる階級の者によりて使用せらるること多し以上の言が國家に關し適切にして眞なりとせば市町村の奉仕につきては尙更ら其言は眞なりと云はざるべからず。

又普通選舉の行はるるが爲め一國の運命につき最も大なる影響を及すものは最多數を占め僅少の資産を有するに過ぎざる人民の階級なりされば小所得あるものよりは中所得のものに重く中等の所得あるものよりは大所得あるものに重く課税する比例税程公平なるものは他にあらざるなり。

累進税は選舉團體の一部分に重税を課し多數の選舉人を免除するものなれば公平の原則を破

り濫費と壓迫に導くものとす。

比例税換言すれば總ての所得に對し劃一的税率を以てするものは極めて簡單なる方則にして其適用最も容易なり、之に反し累進税は夫れ自體毫も確定せらるゝ所なく極めて專斷的に配合せらるゝものなれば其適用困難にして多く濫用せらるゝを免れざるなり。

經驗に徴すれば小所得は國民所得全體の大部分を占むるものなれば通常の累進税を採用するに於ては比例税によりたるものと殆んど大差なく反之急速にして強度の累進税をとるときはある階級の者の所得の一部分を奪ひ遂には富を隱蔽し資本を移轉し貯蓄を減じ企業心を挫かしむるに至るものとす。

一九〇一年及び一九〇二年の法律により佛國に於ては相續財産に對し一步より二割五厘に昂騰したる税率の累進税設定し更にこれを一九一〇年には二割九分に増加し亦所得に對しても累進税を課したり社會主義者の傾向を有したる學者の一人ブルードンは累進税を蔑視し財政上の玩具たる不倒翁にして愚なるものとなしたりこれ嫉妬を母として壓制を娘とする一種の租税なりと云ふべし。

税源に對し租税を嚴格に比例せしむるは正當確實にして容易に適用せらるゝ唯一の規則なりと云ふべく又選舉團體に對し節約と國事の善良なる管理を鼓吹するものなり。

租税の單一と複數——租税は單一を可とするか複數を可とするか。

先づ吾人を誘惑するものは單一税なり今假に一國人民の所得を一年三百億法なりとし國家縣市町村が郵便電信及び官有業による歳入以外に年四十八億法を要するとせば人民の各に對し其の所得の一六パーセントを課すれば所得三百億法に對する歳入四十八億法の割合と同一となりて正當なり然らば吾人は單一税により複數税をとらざるべからざる多種多様の形式を省くことを得るなり種々の考察をなす時は如此單純なる方法によるを妨げらる能はざるなり第一吾人は一國人民全體の所得幾何なりやを正確に知ること能はず況んや各個人の所得を知ることとは極めて困難なり多數の人は自己の所得すら之をよく知る能はざるなり人民の所得を確むるには二の方法あるのみ一は人民の所得の届出を信するか他は官吏又代表委員の評價する所に從ひ獨斷的に課税するかにありこの二方法は共に多くの誤謬に陥らしむ人民の各は良心の程度を異にし稅務官吏及び其の補助者は或る場合には欺かれ又自己の感情或は愛情により動かさるることあればなり以上の誤謬は單一税制度に於て誤謬の程度を高むべきは自然の數と云ふべく不正義と云ふ方面より觀察するときはその結果通常の租税につきて生ずるよりも極めて多くある人民は其の所得の一部又は殆ど其の全部を奪はるることあるべし。

單一税に於し第二に考慮すべきことは無見識の人あるが爲め顯著ならざるものにして課税し得べきものを一の形式の下に集むること極めて困難なり佛人三千九百萬人中強制的の壓迫を受けるも其の所得財産所得賃銀又は給料の一六パーセントを正確に納付するものは其の一小部分に過ぎざるべし。

租税は總て之を負擔する者の一部が良心に於て缺くる所あると租税を割當て又はこれを發見する者に錯誤を生ずることあり得べきを以てある程度迄の不公平は免るる能はざるものとす單一税は何等の均重を有せざるを以て租税中に於て最も不公なるものなり反之複數租税制度にありては種々の租税相互矯正するを以て假令誤謬を生ずることあるも同一人又は同一階級のものに落つることなくしてある程度迄誤謬は相殺せられ消失するなり。

されば納税者に利益あると等しく課税するものにも利益あるを以て古代の國家に於ても近代國家にありても大陸の國家に於ても米國に於ても亦貴族政治をとるものによりても民衆政治を維持するものによりても複數租税制度を採用し今日行はるる所なり國費の著しく減少せらるるに至らざる限りは單一税採用は幼稚なる空想なりと思はる。

租税の基本としての資本及び所得——租税の基礎として立法者が資本又は所得の孰れをとるべきかにつきては多くの論争を見たるなり前章に於て述べたる説明の結果によれば所得は一般の租税に對し資本よりは租税の基本として其の範圍遙に廣く又公平なるものなり。

一國の人民中選舉の結果又は職務上國事の監督に參與し責任を有する者の多くは資本を有せざるか又は有するとするも僅少なり租税が資本のみに又は主として資本に課せらるるに至れば其の結果恐らくは過半數の國民は毫も租税を納付せず國費を全く分擔せざるか又は分擔すると

するも誠に僅少部分を分擔するに過ぎざるべしかくして數百萬の選舉人市町村會議員、縣會議員、代議士、元老議員、各種の官公吏は資本を有せず又有するとしても僅少に過ぎずして國事に干與し自己は何等負擔せずして過失を敢てするに至るを見るならんこれ等の人は總て自己の行爲による責任を避け自己の命じたる國家の嚮出と愚行より生せしめたる損害の賠償をなさずして國費を濫費し公務の處理を誤るに至るべし如此法制は常識に反し一國の不變的にして恒久なる利益を顧ざるものなり。

論者或は言はん所得又は資本を有せざる者は事業の不振、利潤及び貨銀の低落により國家の誤れる監督の結果を間接に受くべしと然れ共この反動たるや極めて緩慢不正確にして其の影響を受けざるべからざる人に對しても充分なる感動を與ふることなきなり課税の通常の基礎として所得を採るべく資本をとるべからずとする他の理由は一國に於て所得を組織する財源の全體は資本所有者より生ずる單純なる所得に比し遙に大なりとなすなり佛國人の各種所得の全體は三百億法を下ることなし佛國の資本の財は二千二百億法以上を評價する能はずこの資本財より生ずる所得は八十億法に過ぎずさて佛國の歳出即ち國の豫算、縣の豫算、市町村の豫算は（郵便電信による収入を除く）約四八億法に達する佛國は各種所得三百億法に對し國家、縣、市町村が徴收する金額は平均すれば所得の一六パーセントを表すなり然るにこの金額四八億法を資本の所得より生ずる八十億法より徴收せざるべからざるものとせば土地所有者各種の公債の所有者

の所得八十億法より徴收することとなりこの所得の半以上は沒收せざるべからざることとなりなり虚飾詐欺あるが爲めこれを實行すること困難にして國家は決して此種の租税を徴收すること能はざるなり國家の努力が其の効果を擧ぐる能はざるは兎も角とし資本家に恐怖の念を抱かしめ資本家の内地を所有せずして有價證券を有する者は外國に逃走するに至るべし不動産を有する資本家即ち固定資本を有するものは徴税を免るる能はずして財政上の打撃に耐ゆるとするも資本家は落膽し世人は節約及び社會進歩の神經系統なる資本の形式を中止するに至るべくこの制度を採用するときは數年の後には國民は廢類し回々教徒の國に於けるが如くなるべし。

又所得を斥けて先に資本に課税すべしとなす論者は極めて有福なる生活をなし而も社會に負ふ所大なる多數の人々を免税するものなることを充分注意せざりしなり既得財産なきも職業より著しき所得を生ずる醫師、辯護士、技術家、教師、音樂家、或る種の商人仲立商、問屋業者、高等の官公吏等多くの給與により有福なる報酬を受くる一團の人々は毫も租税を支拂はざることとなるなり一般的に言へば其の地位最も羨望せらるべき人の中には一年一萬法又は二萬法を得るものも少からず又ある者は四萬法又は五萬法を得べく他の者は十萬法又は二十萬法を得べし第一流の内科醫又は外科醫第一流の藝術家特に音樂家俳優の如きは其の年收三四十萬乃至五十萬法に達すべく百萬法を得る者も一二人はあるべし資本に對し課税することは以上述べたる大名の如き生活をなす者を免税するに等しき結果となるなり佛國に入り來れる外國人は其の數

百十萬を下らざるべく其の中の數千人は世界に於て富裕なる階級に屬するものなるが佛國に於て資本を有せざるも其の所得を我國に於て消費するものなりと云ふべし。

資本課税に對する他の重大なる困難は賣買又は分配の場合を除き總てと云ふ能はざるも多くの資本は其區別と評價極めて困難なり寶玉又は美術品に課税するが爲め住居に立ち入るが如きは兒戲に等しく又煩雜に堪へず又貯藏器物、工業用具、田畑の農耕具等は評價極めて困難なり不動産の大部分につきても亦同じ賣價を推定すること難く吾人は其の所得を知るにあらざれば賣價の近似觀念を得る能はず而して資本を公平に正確に評價することの困難は立法者をして多くの租税を所得によらしむるに至れり。

然れ共今日は尙總ての國に於て資本に對し直接大なる課税をなせるものありこの中には相続税、贈與税ありて佛國に於ては一九一〇年以來著しく増加して一年四億二千萬法乃至四億五千萬法に至り動産有價證券不動産に課する移轉税は約二億六千萬法に達し印紙税の多くは無名會社の株券債券及び外國債の發行に當り其の資本に對する二歩の割合を以て徴收せられ資本に對し直接徴收せらるる租税は近來著しく増加し佛國に於ては國家に對し約十億法收入を與ふるなり。

且種々の資本は例へば地租、窓戶税、動産税、營業税の一部有價證券の所得に對する課税として所得を免ることあり而して有價證券の所得に對する課税の如きは一九〇九年には一億二百

五十萬法なりき。

佛國に於ては資本に課税すること甚だ廣し現存の資本全體を嚴格にして組織的課税によらしめんとする國例へば亞米利加合衆國の(行政上の區別)ビル、及びコントに於て見るが如く一般的租税を資本に求めんとするは繁雜不公平にして實行し難し近來これが整理計畫の試験中なり。

要するに所得は一般的にして廣く容易に租税の基礎となすことを得之に反し資本を租税の基礎とするときは狹溢にして逃亡的となり人民の多數階級を租税の外に置くに至らしむれば大國に於ては資本よりも寧ろ所得が課税の重要な基礎として用ひらるべきものなり。

租税の歸着——租税は常に之を納付する人の負擔となるものにあらず故に砂糖商人又はコーヒー商人が國庫に對し砂糖につきては一キログラムに對し二十七サンチムを、コーヒーにつきては一法三十六サンチムを支拂ふとするも、一般にこの負擔をなすものは商人にあらざるなり極めて稀なる例外を除き通常之が負擔をなすものは買手即ち商人が單に前拂したるに過ぎざる税金を納付する消費者なり同じく運送會社、鐵道會社に對し料金税として課せられたる通行税は會社が國庫に支拂ふとするも通常その大部分は旅客が納付するものなり商人に對する營業税も亦多くの場合消費者が納付するものにして消費者は商人の一般費増加せられざりしならばそれだけ多くの支拂をなす必要なきなり國庫に對する納税者が國庫の知らず又は狙はざる納

税を反射して負擔せしむることを租税の歸着と云ふ。

租税の歸着の場合には極めて其作用微妙なるものとす個人が總ての反射の後に租税を負擔すべきやを豫め識別することは往々困難なり例へば租税は家屋建築に用ひらるる材料に對するものなりや或は家屋の賃料が負擔するものなりやを究むるに世人は往々この租税の負擔者を持主なりと論じたり多くの場合然るべきも常に然りとは云ふ能はず國家隆盛となり人口増加し其の結果新らしき家屋の需要を生ずるときは家屋税は結局其の家屋を建築したる資本家の負擔に歸せられずして借家人に歸せらるべし各種租税の歸着は一國が繁榮なるや否やにより異なるものとす隆盛なる場合に在りては生産者は其事業又は生産に課せられたる租税の負擔を容易に消費者に移すことを得べし隆盛ならざる場合には生産者は完全に反射せしむること能はずして自ら其の租税の一部を負擔せざるべからざるなり。

租税の歸着と社會の各階級を通じての反對負擔につき生ずる困難なる問題と云ふべきは新税を起すことの大なる不便の存すること及び一國が慣れ又人民が多年其の負擔に堪へ來り社會全體に適應せる舊税につき毫も熟考する所なくして新税を代らしめんとすることなり。

租税の改革は減税によるを可とし新税に代らしむる方法をとることによりては其の効果を擧げ得ること少し換言すれば推積の價值少き舊税による増加額を減少し又は廢止して繁榮時に於ける租税増加額の方法によるべきなり見識あり賢明なる政府は繁榮時代の増加額に於て容易に

一國の租税財政制度を除々に改良する方法を發見し得べし。

直接税、其の長短——複數租税は二大部門に類別せらるる直接税及び間接税これなり直接税は人身又は富の所有或は享樂に對する臺帳により確定せらるる人頭税、地租窓戶税、動産税の如し而して我國に於ては營業税も亦直接税中に入れらるるものとす

間接税は事實、行爲、消費ありたる際に徴收せらるるものとす登録税、印紙税、交通税、ある種の商品例へば砂糖、烟草、酒精、コーヒー等に對する課税の如し。

學者二種の租税の利害につき多く論議を闘したり二者各自專屬的賛成論者を有す直接税は要するに最も公平なるものなり然れ共之を適當に割り當つること不可能なり最も正確明瞭にして變動少き礎を有する直接税たる地租にありても全く正當にして平等なる割當を爲すことは殆ど困難なるか如し佛國のある縣に於ては他の縣に於けるよりは二倍の課税をせられ同一縣内にありてもある市町村は他の近接市町村に比し其の課税半額に過ぎざるものあり同一市町村内にありてもある土地の所有者は他の土地の所有者より其の收入につき三倍以上の租税を支拂へるは公知の事實なり土地臺帳は佛國全體即ち土地の記載及び評價状態に關するものは十九世紀の初頭に於て約二億法の費用を要し佛國全體に對しては約三十年を要したるものにして一八〇〇年以來五六回に亘り地租の負擔最も過重なりと看做されたる縣に對しては之を減少したるものなりと雖も佛國の地租の割當は當を得ざるものとして世に知らるる世人は常に地租の均等即ち地租

を最も平等ならしむる行政上の新事業を要求したりと雖も兩院はこの事業を解決することの殆ど困難なるよりも前に莫大の費用を要する理由の下にこの要求を退けたりこの地租を均等ならしむる事業は無限に延期せらるべきものにあらず然れ共幻想に陥るべからず總ての所得に對し明に同一の割前を要求する地租の確立なるものは不可能なり農業は工業に代らんとする傾向を有し従て工業の移動性に加擔し科學の進歩は屢々土地價格の等級を變し貨物の價格は絶へず變動する現代に於ては過去四五年間に於て正確なりし土地の所得の類別をなさんと信することにつきては氣輕に念頭に置かざるべからず類別の事業は何時にても開始せらるるものとすべきなりこの限りなき無效果の事業をなさんとするは恰もベネローブ（テレマーク物語に出て來る婦人にしてテレマークの母なり）の有する麻織物の如き幻影に過ぎざるべし。

地租につきて眞理なりとせらるる所は動産税、家屋の賃貸價格に對する課税につきて見るも其の理相同じ大都市に於ては大多數の家屋は賃貸せらるるものなれば住民をして賃貸借を強制的に登記せしむるときは賃貸價格を計算すること容易なり然れ共地方の小都市に於ては多くの家屋は其の所有者によりて住居せられ常に賃貸の目的物となるものにあざれば賃貸價格の評價は多く專斷的ならざるを得ず苟も稅務官吏又は戰時租稅調査委員が偏頗と憎惡を有するとせば殆ど大差なき二の家屋の内一方には他に對する割合の二倍の課税をなし又少く共半額位の課税をなすことも容易ならん選舉制度をとる近代社會にありては小村に至る迄競争は憎惡により行

はるゝこと多きを以て理論に於て正當なる直接税が實行に於て公平を去ること如何に大なるかを認むべし。

營業税即ち商工業者の豫測する利潤に對する課税は比較的正確なる基礎により割當てられたるものなりとするも職業の多きこと使用人の多數地方的重要な程度はこれに對し大なる非難を生ぜしなり同一人が經營せる二種の事業中孰れの物質的條件が利潤に對し實際上の影響を與ふるものなりやを考慮することは實に極めて困難なるものとす。

小工場を有する者が大工場を有するものより大なる利潤を得る場合あり完全にして公平なる直接税を定めんとする時は常に二の大なる障害に遭遇せざるべからず第一は近代社會は不安定にして往時に於ては見る能はざりし非常なる速度を以て變化せらるる點にして第二は人間の誤り易きと即ち課税評價人は判斷を誤ること多く自己の感情及び愛情によりて動かさるること多き點なり。

各種の所得に對し課税する直接税の外に多くの國家は一般所得税を制定すこの租税も亦通常稅務官吏により検査せられ納稅者の申告に基き課税せらるるものなり人は其の良心の程度同一ならず亦その所得を同一に使用するものにあらず又生涯平等の資源を有するものにあらず甲は浪費者にして乙は貯蓄家なるを以て一般所得税は納稅者の異なるに従ひ正確ならしむる事を得ざるものとす或る者は他の者よりは多くの隱匿方法を發見することありて弊害は殆ど除却する

こと能はざるなり吾人は稅務官吏の調査を綿密にし嚴格になすによりてのみこの弊を緩和し得るに過ぎずされば一般所得稅は所得を隱匿し惡辣なるよりも正直なる者に對して多くを負擔せしめ苛酷なるものなりとの非難あるなり。

畢竟直接稅は如何なるものなりとするも其の理論に於て見るが如き實益を現すこと甚だ遠きものと云ふべく極めて中庸を得たる稅率を定むる場合を除きては直接稅は實施し難く堪へ難き煩瑣を免れざるものとす於茲割當の誤謬は一種の諦めと忍耐によりて維持せらるるなり然れ共吾人が直接稅により國家資源の總額又は大部分を要求せんと主張するも此の種の租稅は大なる不正義なくしては國家に大なる所得を與ふること能はざるものなることは忽ちにして了解せらる直接稅の他の大なる弊害は極めて小なる納稅者より徵收することの困難なる點にあり其の日暮しの生活を營み貯金の習慣なきものは納稅額は最少のものなりとするも國家又は都市に對し殆ど確實に納付すること能はざるなり佛國に於ては通常都會の人民に對し人稅又は動產稅を免除し入市稅に反射せしめて消費者より徵收する理由は之が爲めなり又プロシアに於ては階級稅と稱する勞働者及び有產階級に對し課したる人稅の一部分を廢止したるも同じ理由によれるものとす。

小納稅者に對し直接稅を課するときは多くの職員と無用の書類を必要とし嚴格と訴追と差押とを頻繁に行はざるべからざるに至る。

されば凡ての國家に於て直接稅は租稅制度の一種として考ふるに過ぎず。

間接稅、其の長短——遍く行はるる見解によれば間接稅は納稅者の財産に毫も關係を有することなく中等の富を有する者も大なる富を有する人と等しく其の頭數によりて徵收せらるるもなりとせらる然れ共この觀念は誤れり。

所謂間接稅中に登録稅及び印紙稅の大部分を入るるは誤れりされば相續稅及び贈與稅は一九一〇年の増稅後は四億二千萬法乃至四億五千萬法を生ずべかりしは明に納稅者の富と密接なる關係を有す即ち相續せらるるものは毫も租稅を納付することなく僅少の財産を相續したるものは僅少の租稅を納付せしなり土地及び有價證券の生前移轉稅は一九〇九年には國家に對し二億五千八百萬法を與へしが之も亦財產及び餘裕の程度と密接なる關係を有せり何となれば資本又は土地を有せざる者は土地又は有價證券の買主又は賣主にもあらず又極めて僅少の財産を獲得したるものは僅少の租稅を國庫に維持するに過ぎざればなり貸借稅、保險稅、株券、又は債券に對する印紙稅、小切手、領收證、商業證券に對する印紙稅も亦常に然りとすべからずとするも納稅者の財産と通常關係を有す有價證券の所得稅を含まざる登録印紙稅が一九〇九年には九億三千六百法の收入を國家に生じたること及びこの總額が一九一〇年には一億三千萬法以上に増加し且この年に非常なる増加額を表したることに想到するも約一億法の登録稅及び印紙稅は個人の地位と密接なる關係を有するものなることを認め得べし。

間接税の名稱を有するものの中にありて最も正確なる他の租税例へば八百萬法を與ふる鐵道旅客に對する交通税、特別車馬税、急行貨車税につきても同一なりとすこれ溫泉地海水浴場に別荘を有し屢々頻繁に旅行する國民の富裕階級者に特に課税せらるるなり。

間接税として租税の第一類別に屬し移轉及び轉置に對し課せらるるものは富に對し充分なる感受性を有する關係に立つものなりこの意味に於て間接税は直接税に近似し概して簡易と善意を以て納付せらるるものとす。

吾人が佛國の租税制度を注意して吟味するときには四十五億法より四十六億法（國家及び市町村の公有財産より生じたるもの並に郵便電信の如き産業より得たる收入を控除す）の租税に對し少く共二十五億法は納税者の財産と密接なる關係を有し財産又は少く共主要なる所得を有する法人に對し均等に課税せらるるものなりさて大所得と中所得は國民の全所得の半に達すること遠きを以て租税の所得に對する割合は佛國の現制度に於ては毫も破らるる所なき徴候を有するものとす。

殘額二十億法又は二十一億法は貨物に對する課税により供給せらるるものなりと云ふを適切とす一は間接税を徴收する官廳により國內に課税せられ他は國境の税關及び入市税の名の下に都市に入るとき課税せらるる。

貨物に對する課税は立法者の例より見れば一國の住民をして其の出費に比例して分擔せしめ

んとする希望を表すものなりこの希望が完全に達せらるるが如くに消費に對する課税を確立することを得るならば租税制度は公平に接近すること大なり間接税と移轉及び事業に對する租税を納付すること少き守銭奴と節約家を除けば一般人は其の所得の大部分を費消し課税を出費に比例せしむるが如くなすものなれば凡て所得に對する比例が大なる間隔を有することはなかるべきなり。

然れども消費税を例外なく凡べての消費に對し課すること能はざる所以は多くの調査と徴收費とを要する綿密なる事業なるがためなり吾人は廣く使用せられ其の生産を確むること容易にして課税の確立に適當せる種類の貨物を選択せざるべからず凡べての國に於いて酒、砂糖、コーヒー、煙草、石油、時には往々、鹽、ステアリン及び税關に對する外國製造品の大部分は國庫が消費税を課するに適應せる商品なり吾人は通常貨物の除外例を設くることを注意すべく生活に全然必要な小麥、麥粉、パンの如きを除外すべきは道德上の義務たると同時に政治上の義務なり。

消費税は商業に對し大なる干渉を爲し徴收費を高むるが如きことなからしむるためこれを少數の貨物に集中せざるべからず消費税は多くの場合貨物の量を考慮するに止り質に思ひ至らざる缺點ありされば酒一ヘクトリットルコーヒー一キログラムに對しては租税の率は同一ならずとするも殆ど差異なし此の酒又はコーヒーの何れが品質優劣なりやにつきては考へざるなりこ

は租税が簡單を欲するが爲めにして然らざれば多くの複雑と困難を伴ひ之が實施難きが故なり。

以上は貨物に對する課税の不便なる點なれ共富裕階級は直接税及び移轉税を支拂ふがため資本を有せざる人を害することなきの事實により補はるものとす資本なき人は費消する時にあらざれば支拂はざるに資本家は資本、所得、消費に對し同時に支拂ふものなり。

貨物に對する課税は官吏及び商人階級の者に對し形式と束縛に服せしむる弊ありされ共一般公衆は多くの困難を感ずることなく調査を用ひずして少しづ、最も適宜の時期換言すれば商品を買ひ求むる際に支拂ふことを得る利益あるなり多くの國に於て世人は間接税に慣れ直接税に於けるが如き申告の必要なく又は不平を生ずること少し。

間接税は其の徴收の容易なる外、國民生活の大部分をなす好景氣の時代に於ては所得は單り取引と消費の發達に伴ひ自然に増加する收入を得しむる利益あり消費税の自然増加の正確なることは半世紀以來政府の支出莫大なるに拘はず之を支持し來らしめたるにより明なり。

又間接税は誇大なる批評の目的となり入市税、都市に入り來る商品に對し課税することは最も大なる攻撃を受けしなり然れ共間接税に下したる批難は凡て價値なし間接税が納税者の所得に對し正確に比例せざることは疑なし況んや人頭税即ち住民の頭數に一致するものにあらざるなり普通の勞働者の家庭に比すれば客人も屢々來り多量の牛肉、挽肉魚肉を食ひ多くの葡萄酒

洋酒を飲用する家庭につきて見れば其處には少からざる入市税ありて明に其の生活狀態と交互の關係を有す換言すれば納税者の資産に近接するなり部屋の廣さ階段廊下を含む多くの區劃に具ふる温度光度等に比例する燃料燈料に對する課税につきても又同じ自家用馬車の所有者又は辻馬車に賦課する株税につきても亦同じ入市税につき全く批評の價値ある部分は大都市に入る酒類に對し極めて苛酷なる課税をなす點にあり佛國の大都市の小室殊に巴里に於ける五百法以下のものに對して動産税又賃借税を課税せざることを記憶せば入市税及び間接消費税の不公平なることはある種直接税の小納税者を免税するにより矯正し補償せらるべきものなることに想到すべし一九〇〇年以來巴里に於ける如く都市に入り來る酒類の入市税を三分の二に減少し或は全く廢止したることにより入市税は緩和せられしなりされば租税の二大類別なる直接税及び間接税は各其の瑕疵と弊害を有す言はば兩者は互に矯正せらるべきなり國家は兩者の一を缺く能はず國家收入の二大部分の一を廢止せしめんとするが如き改革案は國庫を貧弱ならしむると同時に課税を專斷的不公平ならしむに終らん巨額の歳出を要する國家に於ては非難せらるることあるべき多くの租税をも保存せざるべからざること明瞭なりこれ現今多くの文化國殊にヨーロッパ大陸の諸國に於て見る所にして佛國に於て特に然りとす。

眞の租税改革は好景氣時代に租税が國家に與ふる増加額を用ゆるを得しむる嚴格なる節約制度に立脚すべきものとす吾人はこの資源により最惡の租税を緩和し又は廢止すべくこの最惡の

租税に代ふるに經驗が選擇すべからざるものとして示したる他の租税を用ひることを避けざるべからず如何なる場合に於ても爲政者の守るべき原則は何等の例外を認むることなく凡ての人民をして其の所得に應じて出來得る限り公費を分擔せしめ之を回避する能はざらしむるものとなすにあり。

第三章 豫算——公債

豫算の定義——豫算の編成と提出——豫算の款項と豫算の特質——追補定額と臨時定額、歳入豫算と財源の評価、歳出と歳入は凡て年度豫算に含まるべきものなりや、歳出の年度議決、ある國に於ては此規則に對する例外あり、豫算に對する兩院の研究、豫算が有せざるべからざる主要特質——豫算及び公債の膨脹——償却義務

豫算の定義——國家は其の日暮しの生活により收入を受くるに從ひ金庫に収め出費の必要あれば無秩序に之を爲し財源に流入するものなきに至れば支拂を中絶して國務を停止するが如きこと能はざるなりかくの如き行動は個人に於ても實行し難き所なれ共國家につきて見るも同一なり國家が一定の官廳を維持し規則的一般的なる事業と臨時の事業及び切迫せる事業を遂行し歳入の徴收と歳出の實行を正確にし濫費と浪費を避け嚴格なる検査をなし施政宜しきを得るが

ためには最も緻密にして注意深しと看做さるる個人よりも更に大なる秩序注意、嚴格、正確を用ひざるべからずこの目的を達するがために文明國が採用したる手續を豫算と云ふ。

豫算は確定的なる期間に於ける歳入及び歳出の豫見の状態なり實現すべき歳入と實行すべき歳出とを評價比較せる一の表なり多數の文明國に於ては豫算の適用せらるゝ一定期間は一年なり往時或る種の國殊に多くの小國に於て豫算は二ヶ年連續的に適用せらるゝものとして議決せられたり今日に於ては豫算は各一年毎に行はるゝものとす種々の公債、政府、兩院は會計年度の開始に先ち其の年度の歳入及び歳出につき精細に考慮すべきものとせらる。

豫算の編成と提出——所謂會計年度の開始前數ヶ月に兩院に對し豫算案を提出すべきものは政府即ち各省大臣なり豫算案を編製し提出する注意を負擔するものは各省大臣にして兩院或は兩院の代表者にあらず各省大臣は實に恒久的なる各行政政府の首腦者にして各種政務につきても亦國家が獲得すべき各種の資源の數字につきても正確に考慮し得る知識を有するものなり多くの國に於て各省大臣をして議會及び主權者に對し國務の管理につき責を負はしむるが爲めには豫算編製の重要な職能が各省大臣の手中にあることを拒み或は其の權限を減少する能はざるものとす四百人、五百人、六百人、又は七百人よりなる兩院が各省大臣の有する豫算編製權を代行するとせば政治上の混亂を生じ財政上の責任は數百人に分散せられ其の責任は最早や存在せざるが如く考へらるゝに至らん。

豫算は各省大臣により包括的に提出せられずして細目に分たる例へば佛の國會に對し一九一〇年の豫算表たる歳出四一八五・三二八二、四八二法歳入四一八・五八三、七五〇法の總額を一括して議決せしむること能はざるなり議會をして豫算を明に知得せし其の内容を審査したる上議決することを得しむる爲め之に對して歳費の細別表分科表を提出す

細別表は先づ各省に屬する科に分たれ次に同一省内のものは各節に分たれ各節は款項に分たれ議會が個別的に議決權を有するものはこの款項につきてなり各款項に對し議決せられたる支出を定額と云ふ。

今茲に一九一〇年の佛國の豫算の一例を採れば次の如し先づ大藏省の歳出豫算につき見るに五部に分たれ第一は公債より生じたる歳出にして各三十八の款項に分たれ第二部は五の款項よりなり大公權の歳費に關す即ち共和國大統領及び兩院の歳費これなり第三部は二十二の款項より成り大藏省の中央行政及び主要なる官吏の一般的歳費に關し第四部は四十二の款項を下らず財産管理、徵稅、租稅及び國家の歳入の開發に要する一般費用にして第五部は別個に六款項を有するに過ぎずして償還返還小單位の切捨獎勵金等に關すされば單に大藏省の豫算のみにて五部に分たれ百十三の款項を有し此の各款項につき兩院は別個の議決權を行使するものとす次に各省の分につきて述べれば司法省は三十の款項を外務省は三十六の款項を内務省は九十二の款項を、陸軍省、海軍省、殖民省、文部省、學藝省、商工省、農務省、土木省の各省は二十

三十乃至百八十九の歳出款項を有す。

豫算の款項及び豫算の性質——款項の利益二あり各款項は唯一にして同一の支出を含むものなるを以て豫算の調査及び討議は容易なり且豫算表には大藏大臣が全體の調査をなし作成したる一般理由書の外に各費途の註解及び本年度の款項が前年度に與へられたるものと異なる數額を要求したる説明をも記載せらる。

豫算の款項は尙第二の利益を有す世人の知る如く議會は各款項に對し別個の議決權を有すものにして各款項に對し議決したる定額は他に振り向くること能はざるなり年度の終り即ち會計年度末に一定の使途に振りあてられたる定額の全部を費消せざりしとするも政府は各省大臣が議決額以上を費消せんと欲し之を支辨するため他の豊當なる款項の支出を以て決算の不足額を先取する權利を有せざるものとす政府に於て供給潤澤に過ぐるものなりと判斷する款項の歳費の一部を先取りし歳費不充分なりと判定する他の款項に振當てんとする方法は費目流用と呼ばれ豫算法制の上嚴格に非難せらるれば各省大臣は特に款項に割當てられたる定額を株守せざるべからずこれ學者のスペシアリテプゼテール *spéciale budgetaire* と稱するものなり款項の歳費多きに過ぎ定額の全部費消せられざりし時は其の差額は學術語に従へば定額取消に歸す換言すれば會計年度末に於て支出豫算は取消され其の割合丈け減少せらるゝなり。

嚴格なる豫算款項の特殊性制度は政治上又行政上より見て各省大臣の專斷を制し濫費を避け

しむ然れ共之を極度に支持するは不可なり若し之を極端に行ふ時は他の弊害に陥らん各省大臣は其の責任の下に一定の自由を有すべく若し之を複雑にして伸縮力なき範圍に閉鎖するに於ては世人の求むる調和を得ること能はずして行政するに極めて困難なるべし豫算に過多の款項を含ましむるは不可なり例へ各省用の紙類又はインキ、石炭又は薪、燈料等に對し一の款項を設くるが如しこは綿密に過ぎ政府をして變化し得べき狀況に對し毫も創意をなさしめざるに至る。

追補定額と臨時定額——豫算議決權は會計年度前になさるるものなれば豫見する能はざる事件例へば最も重大なる場合と云ふ能はざるも洪水饑饉が軍隊の食料を騰貴せしむる時はある款項につきて始めより定められたる歳費が明に不足を生ずることあり國務を中止すること能はざるを以て之が補給をなさざるべからずこの場合に新たなる經費を要求するなり單に歳費の追補が既に豫算に計上せられたる款項の下に關する場合例へば軍隊の食糧に充て又は軍馬買入に要する總額の増加の如き場合にありては追補定額と云ひその科目が最初の豫算に計上せられず款項に何等の關係を有せざる場合例へば地震、洪水、又はコレラ病の流行による被害者を救済する爲め百萬法を分配すると云ふか如く此の種救済に要する金額が最初の豫算表に記載せられざりしものを臨時定額と云ふ。

以上述べたる追補定額及び臨時定額は豫算に對し大なる危険をなすものとすこれ等の定額多

大となるときは著しく歳費の數字を變更して豫測以上に増加し屢々歳入に超過せしむることありされば追補定額、臨時定額は全く廢止することを期する能はざるも出來得る限りこれを避けて制限せざるべからざるなり。

多くの法制は兩院に對し追補定額及び臨時定額の特別議決を要求せり議會は一ヶ年を通じて開會せらるゝせのにあらざれば豫め少數の款項を指定し全く避くべからざる緊急の歳費に關しては政府が議會の閉會中追補定額を適用することを得せしめ單に之を報告せしむるに止め議會の召集をなさざるなり。

歳入豫算と資源の評価——歳入豫算は歳出豫算と形影相伴ふ歳出を先に議決すべきものとせらるる所以は國家が其の負擔する政務を行ふに當り國庫に必要缺くべからざるものとする金額にあらざればこれか納税額を要求すること不當なるを以てなり歳入豫算は歳出豫算程浩瀚ならざるも各別個の資源換言すれば公産及び各種租税の各部門より生産せらるるものを包含して政府はそれにつき所得の評価をなすものとせらるる租税は毎年議定することなく又現行の租税につき重ねて議決するものにあらず繁雜に過ぎ紛議を生ずること多ければなり直接税に對しては別個的に議決せられ他の租税に對しては收獲數字の各個につき詳細に記入せらるると雖も一括して議決するものとす。

財源の評価は財政實行上非常に困難なるものの一に屬す豫見する能はざる不事の出來事即ち

不作商業上の恐慌收獲の良好なると例外的好景氣とは租税の收入を前年より少からしめ又は多からしむ而してこれ世人の減少額又は増加額と稱するものなり政府は一般的の規則として財源の評価につき極めて慎重にして周到ならざるべからず而して收獲の蓋然數を其の以上よりも寧ろ以下に見積らざるべからず實に豫算の評価以上の増加額あるときは國家は豫備金増加につき計算せざりしを以て利益する所甚だ大なり通常豫算には前年中に徴收せられたる租税總額を次年度の收税の見込額として掲ぐ人口及び國富の増加は恐慌時を除きては年々收税を少しづつ増加するものなれば次年度の歳入の見込として前年度得たる歳入を豫算に掲ぐることは増加額を生ぜしむる上に於て眞面目なる機會を與ふるものなりとす。

歳入豫算及び歳出豫算は少く其均衡を表さざるべからず換言すれば見込歳出總額は少く其見込歳入總額により償はれざるべからず常に豫見すべからざる出來事を考慮し置かざるべからざるを以て編製當を得たる豫算は歳入を歳出に超過せしむる必要すらあるなり然らざれば違算を生じために苦しむことあるべし。

凡ての歳出及び歳入は年度豫算中に包含せられざるべからざるものなりや——豫算は總ての歳出及び歳入を包含せざるべからざるかと云ふにかくの如き状態にあることは極めて望まじきことなり國家生活に於ては全く例外的なる稀有の場合を除きては豫算は單一にして其の年度の總ての歳入及び歳出を包含せざるべからざるものとす或る國にありては二個の豫算を有す一は

經常費目にして他は臨時費目なり第一種のもは公産租税の如き恒久的財源により第二種のもは借入れの方法によりて維持せんとするなりこれ不完全なる方法にして濫費に導き易し茲に於て除々に巨額の豫算に對し永久的性質を有する浪費者の如き歳出を掲げ國家經濟の通常の歳費をも借財によりて支拂はんとするなり大土木事業の遂行をも臨時豫算によるを以て正當なりと主張する者あるに至る然れ共國家は常に土木事業の遂行すべきもの、港灣の改修すべきもの、補助金を下附すべき鐵道等を有するものなれば常に泰然として忍耐と見識とを具へ通常豫算によりて以上の事業を完成すべく臨時豫算は二三年間繼續する大戦争の場合にあらざれば用ゆべからざるものとす。

臨時豫算は財政の弛緩を表示し歳出を膨大ならしめ通常國家財政の混亂と曖昧を生ずるを常とす。

歳出の年度議定、或る國に於ける例外規定——一國の歳出は凡て毎年議定せざるべからざるや。原則としては積極的に解すべきも實際上或る國家はこれが例外を認む英國に於ては皇室費公債の年賦償金の利子、大法官、外交其の他特に重要な事務に要する歳費を含める固定基金と稱する豫算の一部分ありて豫算の年度議定より除外せらる然れ共豫算に掲げられ單に其の參考とせらるるに過ぎずして其の總額は約十億法なり獨逸に於ても約十五年前七年間連續せる戰爭に對する豫算の法規を議決せしめて以て其の結果國民の代表者は其の總額につき年度議決權

により減額する能はざるなりこの例外的規定は明に永久的性質を有するものにして國家の生存を危ふするにあらざれば中止又は減少する能はざるが如きある種の歳出につきては議會の牽制を避けしむるを以て利益ありとなす觀察に基けるものなり。

豫算法規により總ての歳出を毎年議定すべきものなりとする國家にありては凡ての公權力即ち議會も大臣も等しく國家の必要に對し中央委員會に報告するによりて問題の國務を毎年氣輕く片附くること能はざるなり之が爲め反動的弊害は國家財政の優良なる管理に對して反對の濫用あるのみならず凡ての國家組織に對しても亦弊害あるものとす。

議會による豫算の審査——議會は大體審査したる後にあらざれば豫算を議定せず審査に對しては二方法ありて其の一を選択することを得佛國にありては各院は三十名乃至四十名の委員よりなる豫算委員會を組織す（一九一一年の豫算に於ては四十四名）この委員會は政府の提案に對し慎重なる調査をなす又必要なりと考ふるときは或る程度の變更を加ふ他の國にありては豫算委員を選任せず委員會集會と稱するものに於て豫算の豫備的調査及び細目の研究をなすこは非公式の秘密なる集會にして其の内容を公にし官報を以て報告することなく議員は總て列席することを得るも實際討議事項に關し特別の能力を有するものにあらざるを以て列席せざるなりこの委員會集會は又單に準備的のものにして決定は臨時的の性質を有するに止り本會議會に列席したる兩院の討議及び承認を必要とするものなり英國に行はるる豫算委員會は我國のものに

比し實行上困難なれ共自由にして重大なる弊害を除却せるものとす。

豫算委員會の一般的傾向は各省大臣の職分を侵し委員會が恰も各省大臣に代り各省大臣を委員に變するが如き觀あり即ち責任を轉嫁し寧ろ之を抑壓し無秩序に終らしめんとす。

下院は豫算の先議權を有し上院又は元老院は下院が先議權を行へる後に調査するものとす兩院の意見齟齬し前者は款項の定額を減少又は廢止せんとし後者は之を増加し又は前年度の定額を維持せんとすることありこの兩院間に於ける意見の相異は最も困難なる憲法上の問題を生ず經濟上の立脚點より一院を他院の下位に置く合理的基礎は次の如し。

國家も個人に於て見るが如く連續的に遂行すべき經濟を有せるものにして造營物の大部分は永久性を有するものにあらざることは何人と雖も争ふ能はざるを以て兩院間に歸結し得ざる異なる見解ある場合に於ては單純に事物の現狀を維持せんとする下院の意見を以て優れるものとせざるべからず即ち一院は豫算に新たなる定額を掲ぐべしとなす場合に他の院が之に反對する時は豫算に新定額を掲ぐべからず之に反し兩院の中一院が前年の豫算に掲げられたる定額を削減せんとし他の院は之を維持せんとする場合には定額は前年存したる通りに維持せらるべきなりこの簡單にして最も公平なる規則を外にしては兩院間頻繁にして限りなき齟齬及び一院の他の院に對する取消權を救濟する方法は他になかるべきなり。

豫算の重要な特質——豫算の重要な特質は簡單誠實明瞭なるにありこの豫算が會計年度

の終りに於て歳出が歳入に超過する計算を見る時は之を不足と名づけ公債の力を借らざるべからず不足大ならざる場合に於ては浮動公債と名づくる短期の公債方法により之を補足することを得不足莫大なれば歳出を法外大ならしめたと同じく公然公債の契約をなまざるべからざるに至る。

今茲には國債につき論ぜざるべしこれにつきては簡單に前に説明せり公債は實に例外の場合を除きては國家にとりて有害なるものなり國家が公債を起す場合には赤面することなくして公然なし得るものならざるべからずかくの如くして始めて政府及び國家は自己の地位を知り得るなり毎日の如く俗に國庫の資源と稱せらるる銀行大會社より秘密裡に小額借人の契約をなす程國家に對し結局大なる損害を與へ財政上に暗影を投じ濫費に導くものはあらざるべし統治宜しきを得たる國家は暗々裡に締結せらるるこの種の契約に對しては凡て之を避けざるべからず例へば一週間にして期間滿了するが如き十又は二十の匿れたる小負債をなすことは公然大公債を起すに如かざるなり。

匿れたる多くの小負債を有せる國家は常に八釜しく催促を受くる借財を負ひ一度恐慌來れば恰も戰爭状態にある個人の地位にさも似たり。

豫算の膨張と公債——多くの近代國家は其の豫算を無限に膨張せんとす軍備が其の膨張を助成したるものなるは明なれ共單にこれのみが唯一の原因なりと云ふべからず土木事業は往々過

大に行はれ急激に増加し絶へず選舉依頼人を満足せしむる新しき地位の創造處理方法の不當なる増加等は豫想以上に豫算の總額を増加せり佛國の豫算は一世紀の初め三十餘年に十億法に上り三十四年より六十六年位迄二十億を超へざりしが一九〇五年には三十六億二千三百萬法に一九一〇年には四十一億八千五百萬法に達し縣市町村の歳費及び臨時歳出費及び特別會計に屬せしめたる各種の行政上の費用を除外して四十五億法に上らんとす不景氣が豫算を膨張せしむことあるは疑なく營造物も亦昔時に比し一般に増加し其の組織優良となれり然れ共立法者の過誤誘惑不注意に歳出の濫費を大ならしむるに與りて力あるものなり。

公債は著しく増加せり佛國の公債資金の如きこれを評價するときは三百三十億乃至四十億以下になす能はざるなり其の中約三百六十億法は永久國債又は消却公債を成し四十億五千萬法は浮動公債に對する年賦償還金として國庫債務の基金を三十五億法は終身年金の資本をなすされば約三百四十億法は佛國の公債の總額なり正當なる統計家の計算によれば佛國全體の富は二百億法なりと評價せられ公債が佛國の富に對する比は略々一に對する六・五步にして實に巨額なり佛國よりも六百萬多くの人口を有する英國の公債は百九十億法に達せず一億三千萬人の多くの人口を有する該國の公債は約三百四十億法なり獨逸帝國及び獨逸聯邦全體は佛國の人口より六割多くの人口を有するも二百四十億法の公債を有するに過ぎずして國家の官有財産より消却せらる北米合衆國は聯邦及び聯都を組織せる國家特有の公債を併せ其の人口九千三百萬人

なるも僅に三十億法に過ぎずオーストリー・ハンガリーの公債は百五十億乃至百六十億法なりとす。

近代國家を救済したる二大事件なかりせば近代國家は誘惑により今尙其の債務を履行すること能はざりしならん二大事件の一は一八五一年に於けるオーストリー及びカリフォルニアの貴金屬發見と一八八五年より一八九〇年に至るツランスバールの金鑛發見にして二は海陸に蒸汽機關を應用し交通の完成により大なる交易をなし得るに至りたることは是なり二事件の前者は貨幣を潤澤にし公債の實際の負擔を減少し第二の事件は急速に富の生産を増加せりかくの如くにして國家の莫大なる歳出は人民の一般的資源の開發に一致するに至れり。

然れ共本世紀の前半よりも寧ろ後半に特色を與へたる以上二事件は再び生ずること能はざるなり人類の歴史ありてより一八五〇年より一九一〇年に至る時代程富の發達に有利なりし時代は又あらざりしなり吾人は其の進歩の緩慢なる時期に遭遇することあるべし國費及び公債が一八五〇年より今日に至る迄の如く漸へず増加するとするも國家は其の憂ふべき結果即ち大產業及び世界的經濟の改革の大時期に於て國家が利用したる莫大の資源を補ふかため歳費と國債の膨脹に反對すること能はざるなり人民及び政府は稍々人類の歴史に於て例外的なりし時代の繁榮により眩惑せられたるなり。

償却義務——歳出及び公債の上進せんとする波は之を阻止し公債資金は之が償還により減少

するに努めざるべからず豫算の通常資源即ち凡ての國費が支拂せられたる後に任意處分し得べき官有財産の收入及び租税の收入の一部により償還を行ふ時は之を償却と云ふ國債は償却せざるべからずこれ見識ある愛國者の義務なり北米合衆國は既に一八六五年より一八八七年に亘り絶へず償却をなし聯邦公債の資金百三十億法を八十億法以下に減少したり英國は一八七〇年より一九九年に至る間に二十億法以上の償却をなしたり一八九九年より一九〇二年に亘りツランスバールの戦役は殆ど六十億法の戦費を要したるか約三分の一は臨時の收税によりて供せられしなりこの戦役にはかく巨額の費用を要したるも平和の時に償却を實行せしため戦後に於ては十九世紀の終りに有したる公債よりも少き公債を有するに至りしなり吾商工業の競争者たる英米は我國よりも極めて少き公債を有するにも拘はらず常に之を償却せんとし又他の競争者たる獨逸は僅少の公債を有するに過ぎざるなり佛國は現在三百三十億法乃至三百四十億法の公債の負擔により永 苦めり況んや四百億の公債を有するに至らば佛國は恰も一本の腕を身體に束縛せらるるがため自由なる他の一本の腕を有するに過ぎずこれ恰も體格良好にして四肢自由なるに拘らず一本の腕を以て闘はんとする人に似たるものと云ふべし。

結 論

吾人は出來得る限り明瞭簡單に主要なる經濟的現象及び經濟的現象の觀察より生ずる方則につき述べたり。

社會體は其の組織機能營養方法分配方法を具有す而して人體に組織機能營養方法分配方法循環方法が必要なると同じく人性及び事物の性質に於てもこれを必要として離るべからざる關係を有するものなり一方に於ては精神的の觀念により他方に於ては數理的觀念に従ひこの自然的組織に代ゆるに人爲的專斷的組織を以てせんとするは社會に對する害惡と苦痛とに備へんがための考案に外ならず。

予輩が既に述べたるが如く社會は亦凡ての環境及び條件に優良に順應せんとする容易さを有す吾人が社會の進化を支配する自然の方則を除却することを欲せざる時には社會は其れ自體に繼續的進化の萌芽を有するものなり。

進歩を支配するものは二大原力たる自由と責任なり經濟上の大進歩を實現し社會を除々に其の原始的貧困より現代の一般富裕状態に達せしむるものは吾人の自由と人格的責任なり。

資本につきて云へば之を生せしめ結合せしめ社會の進歩を養ふ父として其幸福なる職能を充たさしめ又勞働に關しては狹溢にして空想的なる範圍に固定せしむることなく社會の必要に應じて之が分配をなさしめ所有權及び相續を尊重し之を害するものに對しては保護を與ふべく又種種異なる利害に對しては充分討議せしめ契約の自由を認め行爲の結果を奪ふが如きことなからしむべしこれ經濟學の教ゆる所なり

結局有史以來のみに止まらず單に十九世紀の初頭より見たる人類全體の物質的精神的運命に

實現せられたる改良は自己の頭腦内に於ける種々の組合せにより以て社會の自然的秩序に代へんとする社會主義者の單純なる約束よりは優れるものなりとす現世には不幸多し又永久にこれあるは疑の余地なしこの不幸を緩和救濟し其の永續を妨げ勇者の意氣をも阻喪せしめざるものは正に怜悯なる慈善のなすべき領域なり然れ共この不幸たるや古代及び現今吾人の外にあるアフリカ及びアジアのある文明國のそれに比すれば云ふに足らざるなり。

資本貸銀富の分配を支配する方則も避け難きものなると同時に善なりこれ等の方則も漸次人類の標準を向上せしむるものとす。

世人は常に社會問題を論ずる習慣を有す茲に所謂社會問題とは近世の勞働者の地位を良好にし安全ならしめ尊重せんとする勞働者の強烈なる熱望なり若しこの理想に對する熱望より卑しき妬嫉心を除くとせば經濟方則は之を除々に實現することに反するものにあらず。

經濟方則は各種類の改善に對し既に大なる貢獻をなしたり猶之が遵守宜しきを得は寄與する所更に大なるべし。

資本の撒布各種企業及び貸銀制度の自然的に自由なる無數の組合せ及び保險等に於て經濟方則は人類に對し國家社會主義が國庫の開發及び自然の抑制に用ゐるものよりも遙に優れる手段を提供するものとす。

經濟方則の研究は道德上の觀察點より非難を受くべきものにあらずして進歩は全く個人の長

512
112

終